このたびは三菱車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、Mitsubishi Multi Entertainment System（三菱マルチエンターテイメントシステム）の正しい取り扱いについて説明しています。
万一、取り扱いを誤りますと事故や故障の原因となりますので、ご使用前に必ずお読みください。
※以降「本機」と記載します。

■ナビゲーションシステムについて

ハイブリッドナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位するGPS、ジャイロセンサーと車速センサーを使って車の移動量を検出する自律航法などによって自車の現在地を地図の上に表示しながら、目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。
本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までのルートを自動的に設定し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道で自動ルート計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。
ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

本機内のデータ消去について

お車をお譲りになるとき、または廃棄される場合には以下の内容を消去することをおすすめいたします。詳しくは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

■お客様のプライバシー保護のために‥

・本機に保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）。

■著作権保護のために‥

・本機に保存された画像データ／音楽データなど（その他録音データ）。
本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、お車を譲渡（有償および無償）いたしますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

●取扱説明書は車の中に保管してください。
●車両本体の取り扱い要領については、別冊の取扱説明書をご覧ください。
●お車をゆずられるときは、取扱説明書を車につけておいてください。
●装備仕様の変更などにより、取扱説明書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので、あらかじめご了承ください。
●ご不明な点は三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

本書の構成

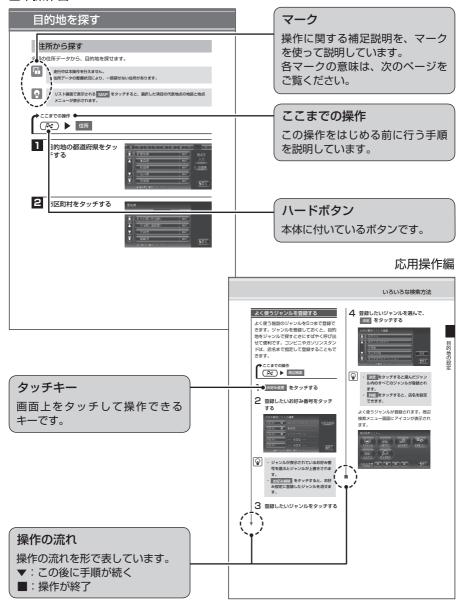
本書は、基本的な使いかたを説明している「基本操作編」と、より詳しい使いかたを説明している「応用操作編」で構成されています。仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。

はじめに

基本操作編

応用操作編

本書の見かた

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。

マークの意味

用語説明

よく使う用語や分かりにくい用語の意味を説明しています。

お知らせ

操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいことを説明しています。

アドバイス

本機を使いこなすための補足説明です。

警告

注意

お願い

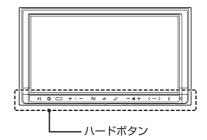
警告・注意・お願い

安全のために必ず守っていただきたいことや、お車や本体のために気を付けていただきたいことを説明しています。

※各マークの色は基本操作編と応用操作編で異なります。

ハードボタンについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下のように表記しています。

例： を押す

タッチキーについて

本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作をするときは、本書では以下のように表記しています。

例： 住所 をタッチする

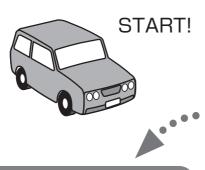
本機のご紹介

ドライブを楽しもう

音楽と映像を楽しもう

本機のナビゲーションシステムで、ドライブがもっと楽しくなります。

① ドライブに出発！ 目的地を設定しよう！

いろいろな方法で目的地を探すことができ、設定もかんたんです。
ナビゲーションによるドライブを、もっとわくわくさせる地図コミュニティサイト「チズルとススム」に対応しています。（P.382）

② わかりやすいルート案内で 分かれ道でも安心！

分かれ道では、音声案内のほかにイラスト表示など、目で見て確認できます。（P.72）

③ サービスエリアで休憩！ 無理なく運転

高速道路でサービスエリア／パーキングエリアに近づくと、施設情報が表示されます。
サービスエリア内にガソリンスタンドがあるかどうかも一目でわかります。（P.81）

④ 周辺検索で レストランを探そう！

フランス料理やイタリア料理など、お好みのレストランを現在地周辺から探せます。（P.146）

⑤ 自宅へ帰ろう！

レストランに立ち寄っても、他の施設に寄り道しても、ワンタッチで自宅へのコースを設定できます。（P.54）

ドライブを楽しもう

音楽と映像を楽しもう

本機で、高品質の音と映像を楽しみましょう。

ラジオのスポーツニュースを聞いたり･･･ （P.89）

ご自分で編集したMP3の曲を聴いたり･･･ （P.103）

DVDも鑑賞できます （P.97）

●そのほかにも･･･

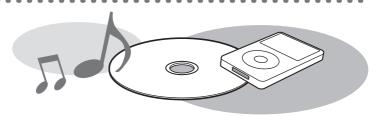
お気に入りのCDなら
ミュージックキャッチャーに録音して
いつでも聴けます（P.109）

地上デジタルテレビが
観られます（P.93）

iPodと接続すれば、
お気に入りの曲やビデオを
いつでも楽しめます（P.115）

SDカードに音楽データや
登録地データを入れて、
いつでもご利用になれます（P.312）

お願い

上記操作は、停車している状況を前提にしています。
・走行中は、必ずシートベルトを装着してください。
・運転中にiPodの操作はお止めください。
・運転中にディスクやSDカードをセットするのはお止めください。

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用の前に必ずお読みいただきたい注意事項などを説明しています。

絵表示について

本取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、さまざまな絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この絵表示の記載事項を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。
注意	この絵表示の記載事項を守らないと、人が障害を負ったり、物的損害が発生するおそれがあります。

■絵表示の例

絵表示の記号には、それぞれ意味があります。絵表示の意味をご理解いただき、安全に正しくお使いください。

	この記号は、注意（警告を含む）をしなければならない内容です。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。
	この記号は、禁止（やってはいけないこと）する内容です。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	この記号は、必ず行っていただきたい内容です。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前に下記のご注意を含めて本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本取扱説明書をお読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

運転時の警告

走行中は運転者による操作をしない

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

走行中、運転者はナビゲーションの地図を見ない

走行中は音声案内を参考として、実際の交通規則に従ってください。

走行中、運転者は本機の画像を注視しない

前方不注意となり、交通事故の原因となります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる

本機は、安全のため、パーキングブレーキを引いた状態で停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

ナビゲーションによるルート誘導・音声案内時は、実際の交通規則に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規則に反する場合があり、交通事故の原因となります。

本機の扱い上の警告

本機の分解、改造をしない

本機の機構は精密なため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解、回転部分への注油は、やめてください。
事故や火災、感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する

規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ず三菱自動車販売会社に相談してください。

万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止する

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
必ず三菱自動車販売会社に相談してください。

⚠ 注意

本機の取り付け・取り付けの変更は、安全のため、必ず三菱自動車販売会社に依頼する

専門技術と経験が必要です。

本機を車載用として以外は使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

可動部などに手や指を挟まれないよう注意する

液晶パネル開閉時に手や指を入れると、けがの原因になることがありますので、差し込まないでください。

ディスク挿入口に異物を入れない

火災や感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電源を切るときは、音量を最小にする

電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

お使いになる前に

ナビゲーションについて

お願い

- バッテリー（補機用）あがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態またはパワーユニットを起動させた状態で行ってください。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。

お知らせ

- お車をご購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで5分～ 15分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで2分～ 3分程度かかることがあります。
- GPS情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にもGPSアンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 提供されるVICS情報は、最新のものではない場合もあります。提供されるVICS情報は、あくまで参考情報としてご利用ください。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっても、計算できない場合があります。
- 本機の近くで携帯電話などの電気的ノイズを発生する機器を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる機器を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

オーディオ・ビジュアルについて

本機で使えるオーディオ・ビジュアルメディア

本機でお使いいただけるオーディオ・ビジュアルメディアは以下のとおりです。
本機へのセット方法は各メディア説明の参照先をご覧ください。

● DVDビデオ

市販されているDVDです。
本機へのセット方法は、**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧ください。本機でDVDビデオをお楽しみいただくには、**「DVDを観る」（P.217）**をご覧ください。

● DVD-VR

ご家庭で録画した映像を保存したDVDです。
本機へのセット方法は、**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧ください。本機でDVD-VRをお楽しみいただくには、**「DVDを観る」（P.217）**をご覧ください。

● CD

市販されているCDです。
本機へのセット方法は、**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧ください。本機でCDをお楽しみいただくには、
「CD・MP3・WMAの音楽を聴く」（P.231）をご覧ください。

● MP3／ WMAディスク

MP3／ WMA形式の音楽データをCD-R/RWやDVD-R/RWに保存したものです。
本機へのセット方法は、**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧ください。本機でMP3／ WMAディスクをお楽しみいただくには、
「CD・MP3・WMAの音楽を聴く」（P.231）をご覧ください。

● SDカード

SDカードにMP3／ WMA形式の音楽データを保存して音楽を聴けます。
本機へのセット方法は、**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧ください。
本機でSDカード内の音楽をお楽しみいただくには、
「CD・MP3・WMAの音楽を聴く」（P.231）をご覧ください。

● USBメモリー

USBメモリーにMP3／ WMA形式の音楽データを保存して音楽を聴けます。
本機でUSBメモリー内の音楽をお楽しみいただくには、「USBメモリーのオーディオを聴く」（P.251）をご覧ください。

DVD/CD取り扱い上のご注意

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。
- ディスクは、表面に傷や指紋をつけないように扱ってください。
- セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- 新しいディスクには、周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクを使用すると、動作しなかったり、音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

目次

はじめに

基本操作編

応用操作編

早わかり一覧

目的地を探したいとき

[ボタン] を押す

▶この画面からできる操作

1 電話番号から探す …… P.142

2 住所から探す …… P.55

3 目的地の名称を入力して探す …… P.58

4 施設のジャンルから探す …… P.142

5 本機に登録した地点から探す …… P.59

6 TVや雑誌で紹介された施設を探す …… P.144

▶▶ TV·雑誌 をタッチしてできる操作

番組・雑誌の名称から探す …… P.144

施設のジャンルから探す …… P.145

現在地や目的地の周辺にある施設から探す …… P.145

交通情報などを確認したいとき

[ボタン] を押す

▶この画面からできる操作

※1 別売の三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機接続時のみ

※2 別売の三菱自動車純正 ETC車載器接続時のみ

各種設定を変えたいとき

[ナビ/情報] を押し、各種設定 をタッチする

▶この画面からできる操作

1 ナビゲーションの設定をする …………………… P.264
2 オーディオの設定をする ………………………… P.290
3 ミュージックキャッチャーの録音設定をする … P.243
4 モニターの画質を調整する …………… P.293、P.294
5 メニューのデザインを変える …………………… P.295
6 SDカードのデータの取り込み／書き出しをする… P.312
7 本機起動時に表示するオープニング画面を変える… P.297
8 昼画面と夜画面を切り替える …………………… P.293

ナビゲーションの設定を変えたいとき

を押し、各種設定 ▶ ナビ設定 をタッチする

▶この画面からできる操作

※1　別売の三菱自動車純正 ETC車載器接続時のみ。画面のアイコンは VICS/ETC と表示されます。

地図画面からナビゲーションの機能を呼び出すには

地図画面で NAVI を押す

目的地を設定していないとき

NAVI	カスタム	周辺検索	地点登録		自宅
	1	2	3		4

目的地を設定しているとき

NAVI	カスタム	周辺検索	地点登録	ルート	経路情報
	1	2	3	5	6

▶この画面からできる操作

1 よく使う機能を簡単に呼び出す …………………… P.285
2 現在地や目的地の周辺にある施設を探す ……… P.146
3 現在表示している地点を本機に登録する ………… P.60
4 自宅を目的地として設定する ………………………… P.54

※1　経由地を設定したルートを走行中に表示されます。

目的地を見つけたら・・・

目的地を探す

▶この画面からできる操作

1. 表示している地点を目的地に設定する ……………… P.65
2. 計算条件の異なる複数のルートを表示する …… P.168
3. ルートの計算条件を変更する ……………………… P.170
4. 表示している地点を本機に登録する※1 ……………… P.60
5. 表示している地点を経由地に設定する ………… P.175
6. 地点の位置を調整する ……………………………… P.177
7. 地点の位置情報をQRコードで表示する ………… P.164
8. 周辺の駐車場情報を表示する …………………… P.149

※1　登録リストに登録されている地点にカーソルを合わせているときは、 登録地情報 が表示され、地点情報の表示、編集、削除ができます。

音と映像を楽しみたいとき

[♪] を押す

▶この画面からできる操作

1 FMラジオ、AMラジオを聴く …………………… P.201

2 DVDを観る／ CD、MP3、WMAディスクを聴く …………………………………… P.217、P.231

3 ミュージックキャッチャーを使う ……………… P.241

4 地上デジタル放送（ワンセグ）を観る※1 ……… P.207

5 SDカード内の音楽を聴く ……………………… P.231

6 USBメモリーの音楽を聴く※2 …………………… P.251

iPodの音楽を聴く※3／ iPodビデオを観る※3…… P.255

7 接続したVTR機器を再生する※4 ………………… P.306

8 オーディオ・ビジュアルをOFFにする …………… P.84

※1　別売の地上デジタル放送チューナー接続時はアイコンの表示が変わります。
※2　別売のUSBメモリー接続時のみ
※3　別売のiPod接続時のみ
※4　別売のVTR機器接続時のみ

本体を操作しよう

各部の名称とはたらき

操作パネル

本機の操作パネルのボタン名称やはたらきについて説明しています。

モニター兼タッチパネル

画面が表示されます。画面をタッチすることで、タッチパネルとして機能します。(P.119)

＜ — ＞ P.CH ／ TRACK

オーディオ・ビジュアル機能で、プリセットチャンネルやトラック／チャプターを選択できます。長く押し続けることで、早送り、早戻しができます。

OPEN ／ TILT

モニターを開閉したり、モニターの角度を調節できます。(P.41)

盗難防止ランプ

盗難防止設定を「する」に設定している場合にランプを点滅させて、盗難を抑止します。(P.284)

− ＋

オーディオ・ビジュアル機能の音量を調節できます。(P.85)

AV

オーディオのソース選択メニューを表示します。(P.85)
長く押し続けると、時計を表示したり画面を消すメニューを表示できます。(P.40)

現在地

現在地の地図画面を表示できます。(P.44)

本体

本体のボタンやメディア挿入口について説明しています。本機の操作パネルを開くと確認できます。

⏏ イジェクトボタン

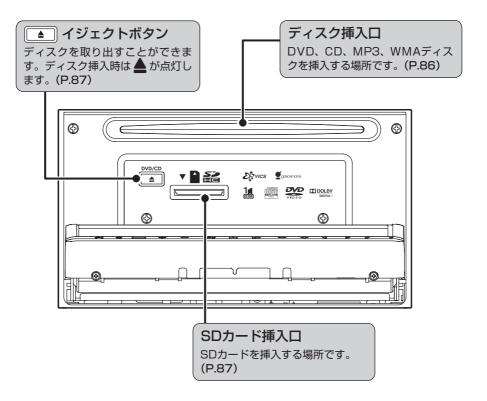
ディスクを取り出すことができます。ディスク挿入時は ⏏ が点灯します。（P.87）

ディスク挿入口

DVD、CD、MP3、WMAディスクを挿入する場所です。（P.86）

SDカード挿入口

SDカードを挿入する場所です。（P.87）

注意

- SDD（Silicon Disk Drive）内蔵部
  本機の故障、誤作動または不具合によりSDDに保存されなかったり、保存されたデータが消失する場合があります。あらかじめご了承ください。
- DVD/CDプレーヤー部
  - 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。ディスクが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
  - ディスクをイジェクトした状態のままで走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

操作パネルの使いかた

電源を入れる

エンジンスイッチまたはパワースイッチを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。

1 エンジンをかける、またはパワーユニットを起動する

本機に電源が入ります。
オープニング画面が表示された後、現在地地図画面が表示されます。

- エンジンスイッチまたはパワースイッチを「ACC」から「OFF」にすると、本機の電源が切れます。
- 盗難防止機能を設定すると、暗証番号入力画面が表示される場合があります。（P.287）

画面の表示を消す

画面を非表示にします。

1 ♪ を2秒以上押す

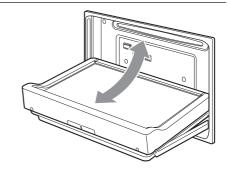
2 画面消し をタッチする

- この画面で 時計画面表示 をタッチすると、画面に時計が表示されます。
- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - ♪ 、 、 、 、 のいずれかを押す
- 画面が消えた状態、または時計が表示された状態でエンジンを切るまたはパワースイッチをLOCKにしても、次にエンジンをかけたときまたはパワーユニットを起動させたときには通常画面が表示されます。

時計画面表示

操作パネルを開閉する

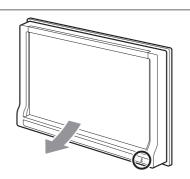
1 操作パネルの を押す

操作パネルが開きます。
操作パネルを閉じるには、もう一度 を押します。
しばらく開けた状態にしていると、操作パネルは自動的に閉じます。

- 操作パネルが開いた状態では、タッチパネルは操作できません。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルの角度を、見やすい角度に調整できます。調整できる角度は0～ 30°の範囲です。

1 操作パネルの を押し続ける

「ピピッ」と音がして操作パネルが開き始めます。

2 操作パネルがお好みの角度になったら、 から指を離す

操作パネルが止まります。

ナビゲーションを使ってみよう

地図画面の見かた

現在地の地図画面

本機に電源が入ると、現在地地図画面が表示されます。
また、［▲］を押しても表示されます。

方位マーク

現在の地図の向きです。タッチするごとに地図の向きが切り替わります。（P.49）

VIEWキー

タッチすると、地図の表示方法を選択できます。（P.77）

NAVI操作キー

タッチすると、ナビゲーションコントロールバーを表示できます。（P.46）

※1

GPS

GPSの測位状態が表示されます。

- 4つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を三次元で測位しています。
- 3つ以上のGPS衛星から電波を受信し、現在地を二次元で測位しています。
- GPS衛星から電波を受信できません。

オートアンテナアイコン

オートアンテナでラジオ受信中に表示されます。

消音（MUTE）時には MUTE と表示されます。

10:00 現在時刻または日付

GPS信号をもとに表示されています。

100m スケール表示

現在表示している地図の縮尺が表示されます。
地図表示の大きさは、変えられます。(P.48)

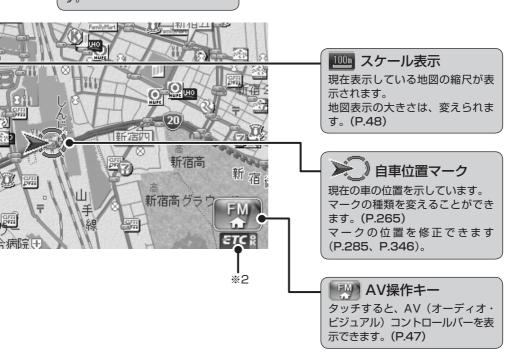
自車位置マーク

現在の車の位置を示しています。
マークの種類を変えることができます。(P.265)
マークの位置を修正できます(P.285、P.346)。

※2

FM AV操作キー

タッチすると、AV（オーディオ・ビジュアル）コントロールバーを表示できます。(P.47)

- 現在地地図画面が表示されている状態で [▲] を押すと、現在地の地名などが表示されます。

※1 別売の三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機接続時は、FM VICS情報またはビーコンVICS情報の提供時間が表示されます（未接続時は、FM VICS情報提供時間のみ表示されます）。

※2 別売の三菱自動車純正 ETC車載器接続時に表示されます。

ナビゲーションコントロールバーの使いかた

地図画面では、ナビゲーション機能をすばやく呼び出せるナビゲーションコントロールバーを表示できます。

ここまでの操作

NAVI操作キー

ルート未設定時

ルート設定時

この画面からできる操作

AVコントロールバーの使いかた

地図画面では、オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せるAVコントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ・ビジュアルの種類によって異なります。

ここまでの操作

AV操作キー

使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

- 再度NAVI操作キーまたはAV操作キーをタッチすると、コントロールバーが消えます。コントロールバーの項目をタッチしないまま10秒が経過すると、コントロールバーが自動的に消えるように設定できます。(P.284)

地図を拡大／縮小する

1画面地図表示および2画面地図表示の左地図を、拡大または縮小して表示します。10mスケールの詳細な市街地図から、256kmスケールの日本全国地図まで、16段階に拡大／縮小して表示されます。

- 道路拡張などで道幅が変わった道路については、実際の道路が表示された地図と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示しない場合があります。

ここまでの操作

［＋］（拡大）または［－］（縮小）

地図が拡大／縮小されます。

通常地図50m画面

市街地図50m画面

- 市街地図の表示中に、車が市街地図の収録エリア外に出たときは、同じスケールの通常地図で表示されます。
- 市街地図の表示中に、市街地図と通常地図の境界付近を走行中の場合には、市街地図収録エリア外の部分がグレーの背景で表示されます。このような状態が続く場合には、［－］でスケールを切り替えて通常地図にしてください。
- 2画面地図表示の右地図を拡大または縮小するには、右地図をタッチしてから操作を行ってください。
- ［＋］または［－］を押し続けると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図50mスケールと通常地図50mスケールの間、および10m表示／256km表示では、細かい調整表示はできません。

●地図尺度について

本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（16段階）

市街地図：10m、25m、50m
通常地図：50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、
16km、32km、64km、128km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（15段階）

10m、25m、50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、8km、
16km、32km、64km、128km、256km

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

ここまでの操作

地図画面の または N 100m

進行方向上向き

北方向上向き

タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

- 立体地図では、地図の向きを変えられません。2画面地図表示の右地図の向きを変えるには、右地図をタッチしてから操作を行ってください。

地図をスクロールする

地図を好きな方向に動かせます。（スクロール）

• 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。

平面地図のスクロール

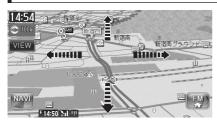
ここまでの操作

見たい方向の画面の端をタッチする

地図上を移動できます。

立体地図のスクロール

ここまでの操作

見たい方向の画面の端をタッチする

、 で向きを調整します

- 地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。
- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
- 決定 をタッチすると、地点メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。(P.66)
- スクロール中は画面上部に地名やマップコード、緯度・経度が表示されます。この表示は消すこともできます。(P.265)
  また、スクロール先の地名表示は、スケールにより表示内容が変わります。
  市街地図収録エリアの10m〜500mスケール: 市区町村名+町名+丁目名
  それ以外のスケール: 都道府県名+市区町村名
- ＋Q Q－ を押し、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠く離れた場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻るには、▲ を押すか、戻る をタッチします。

ナビゲーションを使ってみよう

VICS情報画面の見かた

VICS情報とは、NHK-FMなどのFM文字多重放送を受信して表示される、交通などの情報です。詳しくは、「FM VICS情報を利用する」(P.185)をご覧ください。

VICS情報が表示された地図画面

文字表示

すべてのスケールで表示します。(地域によっては、文字情報は発信されない場合があります。)

駐車場表示

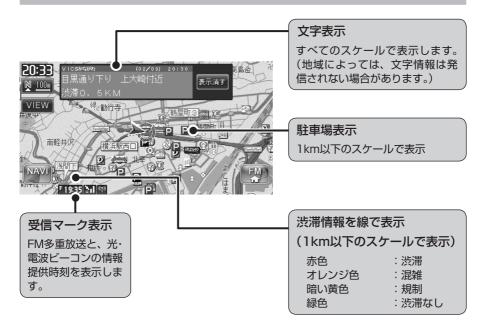
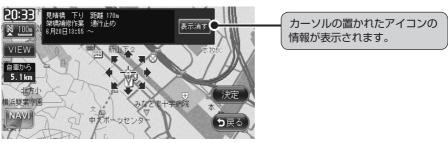
1km以下のスケールで表示

受信マーク表示

FM多重放送と、光・電波ビーコンの情報提供時刻を表示します。

渋滞情報を線で表示

(1km以下のスケールで表示)

赤色	:渋滞
オレンジ色	:混雑
暗い黄色	:規制
緑色	:渋滞なし

地図をスクロールしてカーソルをVICS情報のランドマークに合わせると、VICSアイコン情報が表示されます。

- VICS情報画面で表示されるマークについては、「VICS情報のランドマーク」(P.137)をご覧ください。

自宅を登録する

地図から登録する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。ここでは、自宅の車庫にお車があることを前提とした自宅の登録方法を説明しています。自宅の車庫に車を停車してから操作を行ってください。

• 走行中は、本操作を行えません。

ここまでの操作

1 自宅へ戻る をタッチする

2 はい をタッチする

3 地図から をタッチする

4 決定 をタッチする

- 表示された場所が、実際の自宅の場所とずれている場合は、地図をスクロールして自宅地点を調整してください。地図のスクロール方法は、「地図をスクロールする」(P.50)をご覧ください。

5 はい をタッチする

自宅が登録されます。
計算条件画面が表示されるので、 戻る をタッチします。

自宅に帰るには

自宅を登録しておくと、自宅をすぐに探し出せます。

ここまででの操作

 ▶ 自宅へ戻る またはナビゲーションコントロールバーの 自宅

1 計算条件を設定し、計算 をタッチする

自宅までのルートが設定され、ルート案内を開始します。

- 計算条件の詳細については「ルートの優先路・計算条件を変える」(P.170)をご覧ください。

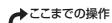
目的地を探す

住所から探す

全国の住所データから、目的地を探せます。

- 走行中は、本操作を行えません。
- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

- リスト画面で表示される MAP をタッチすると、選択した項目の代表地点の地図と地点メニューが表示されます。

ここまでの操作

1 目的地の都道府県をタッチする

2 市区町村をタッチする

3 丁目、大字をタッチする

4 番地、号をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 番地入力 をタッチすると、番地、号を入力できます。
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると目的地と地点メニューが表示されます。

「目的地を設定したら・・・」（P.65）をご覧ください。

地名から探す

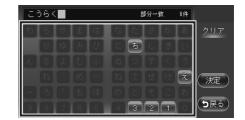
都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

• 走行中は、本操作を行えません。

ここまでの操作

▶ 住所 ▶ 地名を入力

1 地名を入力して 決定 をタッチする

地名の途中まででも検索できます。

2 目的の地名を選択してタッチする

3 番地、号をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

「目的地を設定したら・・・」(P.65）をご覧ください。

施設の名称から探す

施設の名前が完全にわからなくても、名前の一部で探せます。

- 走行中は、本操作を行えません。
- 施設の名前の一部からでも目的地を探せますが、省略した名前では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 施設の名前として入力した文字数が少ないと、対象となる施設が膨大な数になるため、名前に対して完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

ここまでの操作

 ▶

1 施設の名前を入力し、決定 をタッチする

入力した施設名の候補が4件以下になると、決定 をタッチしなくても自動的に手順2に進みます。

2 施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 個別に詳細情報を持っている施設の右側には、情報 が表示されます。情報 をタッチすると、施設情報が表示されます。（P.163）
- 施設に専用駐車場がある場合、P という表示とともに専用駐車場が施設リストに表示されます。専用駐車場を目的地に設定できます。

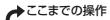
「目的地を設定したら・・・」（P.65）をご覧ください。

登録リストから探す

登録リスト…本機に登録したよく行く場所の一覧のこと。本機の登録リストには、400件まで地点を登録することができます。

- 走行中は、本操作を行えません。

- 登録リストへの登録方法については、「登録リストに登録する」(P.60)をご覧ください。

ここまででの操作

▶ 登録リスト

1 グループをタッチする

- 登録リストにグループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 登録地をタッチする

- 愛称が登録されている登録地には が表示されます。

「目的地を設定したら・・・」（P.65）をご覧ください。

ナビゲーションを使ってみよう

登録リストとは

よく行く地点を400件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。ここでは、登録リストの編集方法を説明しています。

- 本機の登録リストに登録した地点を450件までSDカードに書き出せます。詳しくは、「登録地点を書き出す」(P.316)をご覧ください。
- 目的地として設定した地点は、自動的に本機に登録されます。自動的に登録しないように設定することもできます。詳しくは、「計算時に地点登録」(P.284)をご覧ください。

登録リストに登録する

1 登録したい地点を探す

地点の探しかたについて詳しくは、**「目的地の設定」**(P.139)をご覧ください。

- 現在地を登録する場合は、ナビゲーションコントロールバーの 地点登録 をタッチします。

2 地点登録 をタッチする

3 決定 をタッチする

地点が登録リストに登録されます。
この画面から、登録した地点を目的地に設定できます。

- 登録リストに登録した地点を編集できます。詳しくは、「登録地点の情報を編集する」(P.160)をご覧ください。
- 登録リストに登録した地点にグループを設定できます。詳しくは、「登録リストのグループを設定する」(P.61)をご覧ください。
- 登録リストに登録した地点を消せます。詳しくは、「リストから地点を削除する」(P.161)をご覧ください。

登録リストのグループを設定する

ここまでの操作

  登録リスト

1 編集 をタッチする

すでにグループが作成され、新たにグループを追加したい場合は、いずれかのグループを選択してから 編集 をタッチし、手順2に進んでください。

2 グループ編集 をタッチする

3 グループをタッチする

4 グループに所属させたい登録地を選択し、 決定 をタッチする

選択した地点がグループに所属して設定されます。

- アイコン選択 をタッチすると、アイコンを選択して登録地を絞り込めます。

お気に入りから探す

よく使う登録地をお気に入り地点として登録しておくと、すばやく呼び出せます。
走行中も操作できますが、安全には十分注意してください。

お気に入り…登録リストの中から選択した、特によく行く地点の一覧のこと。

• お気に入りの登録方法については、「お気に入りに登録する」(P.63)をご覧ください。

ここまでの操作

 ▶ お気に入り

1 お気に入り地点をタッチする

ルートを設定するための計算条件画面が表示されます。
計算 をタッチすると、目的地までのルートが設定されます。

お気に入りとは

登録リストから、特によく使う地点を選択してお気に入り地点として登録できます。
登録した地点は、目的地を探すときにすばやく呼び出せます。お気に入りには、4つまで地点を登録できます。

お気に入りに登録する

• 走行中は、本操作を行えません。

• お気に入りに登録した地点を消したい場合は、他の地点をお気に入りに登録して上書きするか、お気に入り選択画面で選択されている地点のチェックを外して再度登録してください。

ここまでの操作

 ▶ お気に入り

1 お気に入り地点を編集 をタッチする

2 登録したいリストをタッチする

3 お気に入りに登録したい地点を選択して、 決定 をタッチする

登録地がお気に入りに登録されます。

• すでにお気に入りに登録されている登録地には、♥1 ～ ♥4 が表示されます。

ナビゲーションを使ってみよう

その他の便利な探しかた

目的地を探すには、P.55～ P.63で紹介した方法の他にも、以下のようなさまざまな方法があります。それぞれの操作方法は、各説明のページをご覧ください。

●電話番号から探す……………………………………………………………… P.142
●目的地の施設のジャンルから探す……………………………………………… P.142
●キーワードを入力して探す……………………………………………………… P.143
●よく使うジャンルを登録して探す……………………………………………… P.148
●TV番組や雑誌で紹介されたお店などから探す ……………………………… P.144
●現在地や目的地の周辺にある施設から探す…………………………………… P.149
●行ったことのある地点から探す………………………………………………… P.153
●ハイウェイの道路名や入り口・出口から探す………………………………… P.153
●目的地の緯度・経度を入力して探す…………………………………………… P.156
●目的地の郵便番号を入力して探す……………………………………………… P.156
●マップコードを利用して探す…………………………………………………… P.157

ルート案内を開始する

目的地を設定したら・・・

目的地を探した後は、ルートを設定します。
目的地を探す方法については、**「目的地を探す」**（P.55）をご覧ください。

ルート計算……目的地までの道のり（ルート）や時間を設定すること。高速道路を優先したり、渋滞を避けるなど、さまざまな計算方法があります。
地点メニュー…目的地を設定したあとに表示される画面のこと。地点メニュー画面からルート案内を開始したり、ルート計算の条件を変更することができます。

警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となる恐れがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

1 地点メニュー画面で ここに行く をタッチする

車をルートに沿って走らせると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。

- 走行中は、表示される項目が異なります。
- 画面右下にあらかじめ設定された計算条件が表示されます。ルート案内の条件を変更する場合は、「設定したルートを変更する」（P.166）をご覧ください。

地点メニュー画面について

地点メニュー画面は、ルート設定時とルート未設定時で表示されるタッチキーが異なります。
それぞれの画面とタッチキーの表示は以下のとおりです。

ルート未設定時

ルート設定時

ここに行く	現在の条件でルート計算する…… P.65
複数計算	計算条件を変えて、最大で8つのルートを計算する …… P.168
計算条件	ルート案内の計算条件を変更する…… P.170
地点登録	表示している地点を登録リストに登録する…… P.60
登録地情報	登録リストに登録されている地点にカーソルを合わせているときに表示され、地点情報の表示、編集、削除をする
経由地追加	表示中の地点を経由地として追加する…… P.175
位置調整	地点の位置を調整する…… P.177
コード	地点の位置情報をQRコードで表示する …… P.164
P	周辺の駐車場情報を表示する…… P.149

ルート案内の条件を変更する

ルート案内時に優先して使用する道路を、一般道路と有料道路から選択できます。

1 地点メニューで 計算条件 をタッチする

2 有料優先 または 一般優先 をタッチして、計算 をタッチする

優先させる道路が設定されルート案内が開始されます。その他の設定項目については、P.170をご覧ください。

注意

- **スマートICには、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。また、社会実験として期間限定で開設されているスマートICもあります。ご利用の際はご注意ください。**

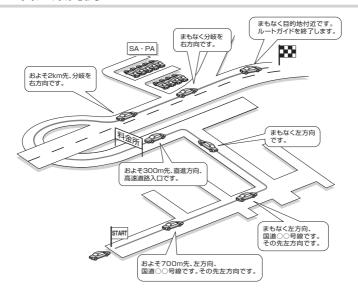
その他の詳細な設定方法

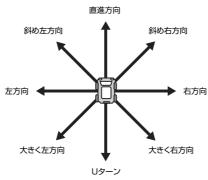
目的地までのルート案内には、P.65～ P.67で紹介した方法の他にも、以下のようなさまざまな方法や設定があります。それぞれの操作方法は、各説明のページをご覧ください。

●渋滞を避けてルートを設定する…… P.167
●複数のルートから最適なものを選択する…… P.168
●複数の出発時刻から、かかる時間と距離を比較する…… P.169
●目的地までの途中に、経由地を追加する…… P.175
●目的地までのルートを確認する…… P.179

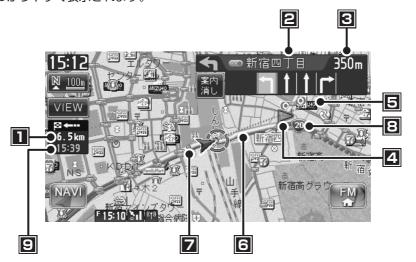
ルート案内中の音声案内

案内地点が近づくと、音声で案内されます。初めて行く場所でも安心して運転に集中できます。

運転中の音声案内例

進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、図のとおり8方向で案内されます。

ルート案内中の地図画面の見かた

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなど、さまざまな情報がわかりやすく表示されます。

1 自車位置から目的地までのルート距離

ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。

2 次の案内地点情報※1

矢印は、次の案内方面を示しています。高速・有料道路を走行する場合は、入口や出口の名称と料金が表示されます。

3 次の案内地点までの距離

4 音声案内地点

音声で案内される地点です。色によって、内容が異なります。

- （青）　通常道路での右左折を案内します。
- （紫）　細街路（幅5.5m以下の道路）での右左折を案内します。
- （緑）　走行レーンを案内します。

5 目的地方向表示

目的地までの方向を直線で示しています。

6 誘導ルート

目的地までの走行道路です。このルートに従って走行してください。
初期設定の経路色：黄色（一般道路）または水色（有料道路）

7 軌跡

車が走行した軌跡が軌跡マークで表示されます。軌跡は表示しないように設定することもできます。詳しくは**「走行軌跡の設定をする」（P.270）**をご覧ください。

8 国道番号または県道番号

9 到着予想時刻※2

目的地までの到着予想時刻が表示されます。24時間以上かかる場合は、黄色で表示されます。

※1　次の案内地点情報は、入口や出口までの距離が近いときや、案内すべき交差点が付近にある場合には表示されない場合があります。

※2　**「到着予想渋滞考慮」（P.273）**が「しない」に設定されていると、到着予想時刻は**「到着予想速度設定」（P.274）**で定めた平均速度で計算され、渋滞情報は考慮されません。

警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となる恐れがあります。
- **実際の交通規制に従って走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

ルート案内中の案内表示

交差点の手前で出る案内表示

交差点の約700m手前にさしかかると、レーンガイドと方面看板が表示されます。

案内消し をタッチすると、表示案内が消えます。

レーンガイドと方面看板案内は、表示する／しないの設定を切り替えられます。詳しくは「ルート案内画面の設定をする」（P.273）をご覧ください。

●レーンガイド

●方面看板案内

●レーンガイド＋方面看板案内

交差点直前で出る案内表示

交差点の約300m手前にさしかかると、交差点の案内が表示されます。交差点の案内の種類は、「拡大」、「オートスケール」、「地図」から選択できます。
各画面とも、 拡大消し または イラスト消し をタッチすると、通常の画面に戻ります。
交差点表示の設定方法については、**「ルート案内画面の設定をする」（P.273）**をご覧ください。

• 一部の交差点では、実際の景色を模したイラストが表示されます。

●「拡大」

交差点や都市高速道路入口の約300m手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点によっては、実際の交差点に差し掛かったときのイラストが表示される場合があります。

交差点の手前

都市高速道路の手前

立体交差点の手前

複雑交差点の手前

● 「オートスケール」

交差点の約300m手前で100mスケールに、約140m手前で50mスケールに変わり、表示案内されます。
一部のものを除き、「拡大」表示にあるような拡大イラストは表示されません。

100mスケール

50mスケール

サイドワイド機能について

進行方向上向きで地図を表示していると、約300m手前で曲がる方向を広く表示させるように地図が左右に移動します。方面看板が表示されているときの左折案内では、地図は移動しません。

● 「地図」

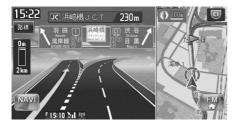
表示されている地図のまま表示案内します。
一部のものを除き、「拡大」表示にあるような拡大イラストは表示されません。

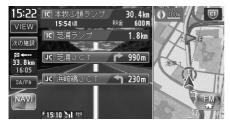
高速道路での案内表示

●都市高速道路の入口

入口の名称と通行車線が表示されます。

●高速道路の分岐点

分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

●高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

関係者以外立ち入り禁止区間での案内表示

ルートの入口に関係者以外立ち入り禁止区間がある場合、その区間の入口にアイコンが表示されます。

また、ルート案内開始時と禁止区間接近時は、以下のような音声案内でお知らせします。

●ルート案内開始時

『目的地へのルートガイドを始めます。およそ、1km先、右方向です。関係者以外立ち入り禁止区間を含むルートです。目的地には10:00頃到着の予定です。』

- 上記音声案内の下線がある箇所は、ルート誘導の内容によって異なります。

●禁止区間接近時

『この先、関係者以外立ち入り禁止区間です。現地の指示に従ってください。』

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が5.5m以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

- 走行中は安全のため、細街路は表示されません。ただし、200mおよび100mスケールで停止中、細街路走行中（50mスケールでは、細街路以外の道路走行中も表示されます）は細街路を表示します。200mスケールで表示されるのは一部の細街路のみです。細街路表示は、地図のスクロール中は消えます。

警告

- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅3.3〜5.5mの一般道路が紫色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路を含みますので、必ず実際の交通規制や道路標識などに従って走行してください。**

地図の表示方法を変える

地図表示の種類

地図をいろいろな表示方法に設定できます。

ここまでの操作

地図画面の VIEW

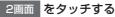
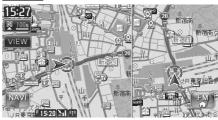
1画面	画面を分割しないで表示する	P.78
2画面	画面を左右に分割して表示する	P.78
2D地図	地図を平面で表示する	P.78
3D地図	地図を立体的に表示する	P.78
シティ	ルート案内中にシティモード画面に切り替える	P.79
ハイウェイ	高速道路およびハイウェイモード対象の有料道路を走行中に、ハイウェイモード画面に切り替える	P.80
一方通行	一方通行の道に矢印を表示する	P.82
VIEW設定	地図表示に関する設定メニュー画面を表示する	P.271

地図を分割して表示する

ここまでの操作

地図画面の VIEW

1画面 をタッチする

2画面 をタッチする

- 2画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます(P.48、P.49)。
  - 割り込み表示は、左地図に表示されます。
  - スクロール操作は左地図で行います。

地図を立体的に表示する

ここまでの操作

地図画面の VIEW

2D地図 をタッチする

3D地図 をタッチする

- 2画面表示の右地図の表示を変えるには、右地図にタッチしてから 2D地図 または 3D地図 をタッチしてください。
- 3D地図では、視点の角度を調整できます。(P.272)また、空に星座を表示できます。(P.267)

シティモード・ハイウェイモードで表示する

高速道路や有料道路の情報、一般道路の案内地点情報など、ルート案内中にさまざまな便利な情報を表示できます。

- 各情報は走行道路にあわせて自動的に表示するよう設定することもできます。詳しくは、「走行中の地図の設定をする」(P.271)をご覧ください。

シティモードの表示について

ルート案内中に一般道路を走行すると、1～ 3つ先の案内地点の情報、目的地の情報が表示されます。これをシティモードと呼びます。

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にシティモードに切り替わります。
  - シティモード自動切替(P.271)が「する」に設定されている
  - 目的地が設定されている
  - 一般道路を走行している
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ここまでの操作

地図画面の VIEW

シティ をタッチする

- 前の案内 、 次の案内 をタッチすると、前または次の案内地点の情報が表示されます。 戻る をタッチすると、現在地の表示に戻ります。
- 都市高速道路の入口約300m手前では、都市高速道路入口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 右地図は常に進行方向を上に表示されます。右地図のスケールを変えたり(P.48)、平面や立体で表示できます。(P.78)

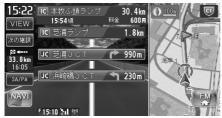
ハイウェイモードの表示について

高速道路および一部の有料道路を走行中に、インターチェンジ、ランプ、ジャンクション、SA ／ PA、出口までの合計料金といった情報を表示させるモードをハイウェイモードと呼びます。

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的にハイウェイモードに切り替わります。
    - ハイウェイモード自動切替（P.271）が「する」に設定されている
    - 目的地が設定されている
    - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

ここまでの操作

地図画面の VIEW

ハイウェイ をタッチする

- 渋滞状況が色で表示されます。（赤:渋滞、オレンジ:混雑、緑:渋滞なし）
- 前の施設 、 次の施設 をタッチすると、前または次の施設が表示されます。 戻る をタッチすると、現在地の表示に戻ります。
- 施設の名前をタッチすると、施設の種類に応じてさまざまな情報が表示されます。サービスエリアやパーキングエリアをタッチするとサービスエリア・パーキングエリア図、ジャンクションをタッチすると分岐図が表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。
- 右地図は常に進行方向を上に表示されます。右地図のスケールを変えたり（P.48）、平面や立体で表示できます。（P.78）
- VICSの規制アイコンは、最大8個まで表示されます。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、出口までの料金は表示されません。
- オートリルート（P.273）すると、ハイウェイモードは一時的に解除されます。
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC割引などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金に従ってお支払いください。
- SA/PA をタッチすると、出口までのルート上のサービスエリア・パーキングエリアのみの一覧が表示されます。

●サービスエリア・パーキングエリア図

サービスエリアやパーキングエリアの施設情報です。以下の場合に表示されます。

- サービスエリアやパーキングエリアの2km手前になると自動的に表示されます。
- ハイウェイモード画面でサービスエリアやパーキングエリアの名前をタッチすると、表示されます。

サービスエリア・パーキングエリア図に表示されるマークについては、サービスエリア・パーキングエリアの施設マーク一覧（P.136）をご覧ください。

- サービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路への出入りが可能なETC専用のインターチェンジを「スマートインターチェンジ（スマートIC）」と呼びます。サービスエリア・パーキングエリア図に スマートIC が表示されていれば、スマートICが設置されています。
- スマートICをご利用の際は、以下をご注意ください。
  - ETC車載器を搭載していない車両は、スマートICを通行できません。
  - スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所もあります。営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約があります。

●分岐図

ジャンクションまたは高速道路／有料道路の出口の2km手前にさしかかると、分岐図が自動的に表示されます。分岐図が表示されるのは、目的地が設定されている場合のみです。

- 分岐図はあくまでもイメージであり、実際の形状とは異なる場合があります。

●ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。支払が発生する場合は、同時に料金が音声で案内されます。

- ETCレーン図は、誘導画面の種類(P.273)を「拡大」に設定している場合に表示されます。
- ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあります。必ず実際の表示に従って走行してください。
- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETC車載器接続時は、料金表示されますが、音声案内は行われません。
- ETCレーン図は、ETC車載器未接続時にも表示されます。

一方通行を表示する

ここまでの操作

地図画面の VIEW

一方通行 をタッチする

- 一方通行 をタッチするごとにオン／オフの状態が切り替わります。オンにすると地図上に一方通行情報が表示されます。
- 一方通行情報は50m以下のスケールで表示されます。

オーディオ・ビジュアルを使ってみよう

オーディオをON/OFFする

オーディオをオフにした時もナビゲーションの音声案内は出力されます。

ONにする

1 ［♪］を押す、または［Off］をタッチする

オフにする前に使っていたオーディオ機能がオンになります。

OFFにする

1 ［♪］を押す

2 ソース選択画面で オーディオOFF をタッチする

地図画面が表示され、AV操作キーの表示が［Off］になります。

オーディオを切り替える

本機では、ラジオ、地上デジタル放送、DVDなど、視聴したいソースを選んでお楽しみいただけます。

ソース…本機でお使いいただける音源・映像源のこと。

1 ♪ を押す

2 お好みのソースをタッチする

選択したソースをお楽しみいただけます。
以降の操作について詳しくは、各ソースのページをご覧ください。

音量を調整する

1 ◀＋ または －◀ を押す

＋：音量が大きくなります。
－：音量が小さくなります。

- ◀＋ または －◀ を押し続けると、連続して音量が変化します。
- ナビゲーションの音声案内の音量調整については、「音量を調整する」(P.276)をご覧ください。

メディアの出し入れ

CD、MP3／ WMAディスク、DVD、SDカード内のMP3／ WMAデータをお楽しみいただくには、ディスクまたはSDカードを本機にセットします。

メディア…本機で使用する、DVDやCD、SDカードのこと。

DVDやCD

- ディスクの記録面（光沢のある面）に触れないでください。

■入れかた

1 を押す

操作パネルが開きます。

2 ディスクを挿入口に差し込む

ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生が始まります。

- ▲マークが点灯しているときは、すでにディスクがセットされています。セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。
- ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして差し込んでください。

■取り出しかた

1 [ ] を押す

操作パネルが開きます。

2 本体の [▲] を押してディスクを取り出す

- ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

3 [ ] を押す

操作パネルが閉まります。

SDカード

- SDカードの端子面に触れないでください。

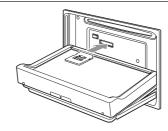
■入れかた

1 [ ] を押す

操作パネルが開きます。

2 SDカードのラベル面を上にして挿入口に差し込む

SDカードが止まるまで、奥にしっかりと差し込んでください。

3 を押す

操作パネルが閉まります。

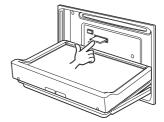
- SDカードが正しく差し込まれていないと操作パネルを閉じることはできません。正しく差し込まれていれば、を押さなくても、操作パネルは自動的に閉じます。

■取り出しかた

1 を押す

操作パネルが開きます。

2 SDカードを押してSDカードを取り出す

SDカードが少し飛び出します。

- SDカードを取り出すときは、指でSDカードをしっかりつまんでください。SDカードが飛び出す恐れがあります。
- SDカードが正しくセットされていない（少し飛び出した状態）と、操作パネルは閉まりません。必ずSDカードを取り出してから手順3を行ってください。

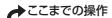
3 を押す

操作パネルが閉まります。

ラジオを聴く

AMラジオ、FMラジオを受信します。

ここまでの操作

 ▶

FM/AM

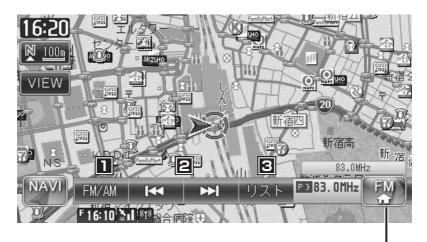
ラジオが受信され、AV操作キーの表示が「FM」または「AM」に変わります。

- AMラジオとFMラジオを切り替えるには、「AM/FMを切り替える」(P.92)をご覧ください。

ラジオの操作画面について

ラジオの画面

ここまでの操作

  FM/AM

AVコントロールバーの表示／非表示

- 地図画面では、AV操作キーに「FM」または「AM」と表示されます。

この画面からできる操作

こんなときは…

ラジオの操作

AM/FMを切り替える

1 FM/AM をタッチする

AMラジオとFMラジオが切り替わります。

自動で放送局を選ぶ

1 ⏮ または ⏭ をタッチし続ける

2 「ピッピッ」と音がしたら、キーから指を離す

放送局が受信されます。

- リスト をタッチして表示される画面の ⏮ ⏭ からも、同様の操作ができます。

手動で放送局を選ぶ

1 ⏮ または ⏭ をタッチする

タッチするごとに、周波数が切り替わります。

- リスト をタッチして表示される画面の ⏮ ⏭ からも、同様の操作ができます。

テレビを観る

はじめて使うときは

はじめて地上デジタル放送（ワンセグ）を観るときは、 ワンセグ をタッチすると以下の画面が表示され、受信できる放送局を探して記憶する「オートストア」を開始します。

はい をタッチすると地上デジタル放送が受信されます。オートストアが終了するまでしばらくお待ちください。

テレビを観る

ここまでの操作

  ワンセグ

地上デジタル放送（ワンセグ）のテレビを受信します。

警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

- 地上デジタル放送受信中に音量を調節した場合、他のソース（ラジオ、DVDなどの音源・映像源）に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で観られます。
- 地上デジタル放送受信時に（主に弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

地上デジタル放送（ワンセグ）の画面

ここまでの操作

 ▶ ワンセグ

画面のキーに触れないまま5秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

地上デジタル放送を受信中に地図表示に切り替えると、以下のような画面が表示されます。

AVコントロールバーの表示／非表示

- 地図画面では、AV操作キーに「1SEG」と表示されます。

この画面からできる操作

こんなときは…

自動で放送局を選ぶ

1 リスト をタッチする

2 ⏮ または ⏭ をタッチし続ける

3 「ピッピッ」と音がしたら、指を離す

放送局が受信されます。

手動で放送局を選ぶ

1 リスト をタッチする

2 ⏮ または ⏭ をタッチし、観たいチャンネルに合わせる

番組案内を見る

番組案内には、チャンネル番号、放送局名、放送時間、番組のジャンル、番組名などが表示されます。現在受信中の番組案内だけでなく、次の番組案内も表示されます。

- 走行中は、本操作を行えません。

1 番組案内 をタッチする

番組案内画面が表示されます。

DVDを再生する

ここでは、DVDビデオを再生する方法を例として説明しています。

警告

- **運転者がDVDの映像を観るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみDVDの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

- 本機では市販のDVDビデオ、ご家庭で映像を保存されたDVD-VRを再生できます。DVD-VRを再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

ここまでの操作

DVDをセットする

本機にセットされたDVDが再生されます。

- すでに本機にセットされたDVDを再生するには ♪ ▶ DVD/CD をタッチします。

DVDの操作画面について

• 市販のDVD(DVDビデオ)とご家庭で録画されたDVD(DVD-VR)の画面は異なります。

市販のDVD（DVDビデオ）の画面

ここまでの操作

DVDをセットする　または ♪ ▶ DVD/CD

画面のキーに触れないまま5秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

DVDを再生中に地図表示に切り替えると、以下のような画面が表示されます。

• 地図画面では、AV操作キーに「DVD」と表示されます。

この画面からできる操作

1 字幕言語、音声言語、アングルを切り替える …… P.223

2 画面サイズを切り替える …… P.222

3 リピート再生、スキャン再生をするための機能メニューやDVDの初期設定画面を表示する …… P.221、P.224

4 タイトルやチャプターを選択する …… P.219

5 一時停止、停止、スロー再生をする …… P.102

6 メニュー操作画面を表示する …… P.219

7 DVDメニューを表示する …… P.219

8 再生中のチャプター・タイトルを含むメニューを表示する …… P.219

こんなときは…

繰り返して観たり、先頭部分だけ再生したい …… P.221

DVDにセットされている画面サイズで再生したい …… P.225

メニュー／音声／字幕に使う言語を選びたい …… P.226

子供に見せたくないDVDのときは …… P.227

再生時間などをいつも表示させたい …… P.230

ご家庭で録画したDVD（DVD-VR）の画面

ここまでの操作

DVDをセットする　または　[♪] ▶ DVD/CD

画面のキーに触れないまま5秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

DVDを再生中に地図表示に切り替えると、以下のような画面が表示されます。

• 地図画面では、AV操作キーに「DVD VR」と表示されます。

この画面からできる操作

1 字幕言語、音声言語を切り替える …… P.223

2 タイトル名（またはプレイリスト名）、録画年月日を表示する

3 画面サイズを切り替える …… P.222

4 リピート再生、スキャン再生や状態表示設定をするための機能メニューを表示する …… P.221、P.230

5 タイトルリストを表示する …… P.220

6 一時停止、停止、スロー再生をする …… P.102

7 プレイリスト表示のON/OFFを切り替える …… P.220

こんなときは…

自宅で作ったプレイリストから再生したい…… P.220

繰り返して観たり、先頭部分だけ再生したい…… P.221

再生時間などをいつも表示させたい…… P.230

音声／字幕に使う言語を選びたい…… P.223

DVD再生の操作

- DVD ビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。 メニュー操作 をタッチして、DVDメニューの操作キーから操作を行ってください。

一時停止する

1 ▶/❚❚ をタッチする

- 一時停止中に ▶/❚❚ をタッチし続けると、再生が停止します。
- 一時停止中に交通情報を聴くと、一時停止が解除され、再生が始まります。

再生を停止する

1 ▶/❚❚ をタッチし続ける

- 停止中に ▶/❚❚ をタッチすると、再生が始まります。
- 停止中に ▶/❚❚ をタッチし続けると、再生が完全に停止します。次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

早送り／早戻しする

1 ＞ （早送り）または ＜ （早戻し）を押し続ける

- ＞ 、 ＜ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生を一時停止して、 ＞ を押し続ける

- ＞ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「1/4」と表示されます。

CD・MP3・WMAの音楽を聴く

CD、MP3、WMA形式の音楽データを保存したディスク、SDカード、USBメモリーを再生する方法を説明しています。

ディスクを再生する

ここまでの操作

ディスクをセットする　または ♪ ▶ DVD/CD

本機にセットされたCD、MP3、WMAディスクが再生されます。

- 本機に録音されていないCDをセットすると、自動的に録音が始まる場合があります。詳しくは、「ミュージックキャッチャーを使う」(P.241)をご覧ください。

SDカード・USBメモリーを再生する

ここまでの操作

SDカード：SDカードをセットする ▶ ♪ ▶ メモリーカード

USBメモリー：USBメモリーを接続する ▶ ♪ ▶ USB/iPod

SDカード／USBメモリー内のMP3／WMA音楽データが再生されます。

オーディオ・ビジュアルを使ってみよう

CD・MP3・WMAの操作画面について

CDの画面

ここまでの操作

CDをセットする　または ▶

AVコントロールバーの表示／非表示

• 地図画面のAV操作キーには、「CD」と表示されます。

この画面からできる操作

1 リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューや初期設定画面を表示する ………………………… P.239、P.240
2 トラックリストを表示する ……………………………………………… P.237
3 トラックを録音する ……………………………………………………… P.244
4 再生中のトラックの番号を表示する

こんなときは…

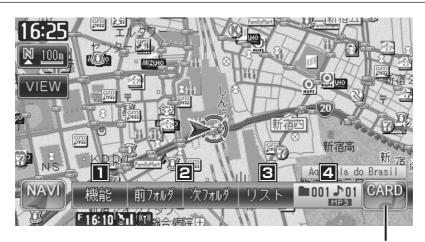
聴きたい曲を簡単に探したい…………………………………………… P.237
繰り返して聴いたり、ランダムに再生したい………………………… P.239
再生中の曲のトラック名やアルバム名を表示したい……………… P.240

MP3・WMAの画面

ここまでの操作

ディスク ：MP3／WMAディスクをセットする　または ♪ ▶ DVD/CD

SDカード ：SDカードをセットする ▶ ♪ ▶ メモリーカード

USBメモリー ：USBメモリーを接続する ▶ ♪ ▶ USB/iPod

AVコントロールバーの表示／非表示

- 地図画面のAV操作キーは、以下のように表示されます。
  MP3 ／ WMA ディスク再生時：「CD」または「DVD」
  SD カード再生時：「CARD」
  USB メモリー再生時：「USB」
- 録音中はSDカードの再生は行えません。録音中に メモリーカード をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか?」という確認画面が表示されます。

この画面からできる操作

1 リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューや初期設定画面を表示する …… P.239、P.240

2 再生するフォルダを切り替える …… P.108

3 フォルダリストを表示する …… P.237

4 再生中のフォルダ、トラックの番号を表示する

こんなときは…

聴きたい曲を簡単に探したい…… P.237

繰り返して聴いたり、ランダムに再生したい…… P.239

再生中の曲のトラック名やアルバム名を表示したい…… P.240

早送り／早戻しする

1 [>]（早送り）または [<]（早戻し）を押し続ける

・[>]、[<] から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 [<] または [>] を押す

・[<] を押すとトラックの先頭に戻り、さらに [<] を押すごとに前のトラックに移動します。
・[>] を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する

1 [前フォルダ] または [次フォルダ] をタッチする

・[前フォルダ]、[次フォルダ] をタッチするごとに、前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

ミュージックキャッチャーを使う

ミュージックキャッチャーとは

ミュージックキャッチャー（M.CATCHER）とは、CDのトラックを本機に録音し、再生する機能のことです。CDを本機にセットしなくても、ミュージックキャッチャーに録音してあれば、そのCDのトラックを聴けます。

録音する前にお読みください

録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。本機の故障や誤作動および不具合により録音に失敗した場合、録音内容および消失した録音データの補償については、ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。録音したデータは、いかなる記憶媒体にも転送できません。
ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）では、トラックとトラックの間に2～ 3秒の無音部をはさんで録音されます。

録音についてのご注意

■録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。

- 録音中にCDの音が飛んだ
- 傷があるなどCDの状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

■録音中の操作について

録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。

- トラックキーまたはリストからの選曲（ダイレクトトラック選択）
- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生

- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。

録音中に以下の操作を行うと、録音中のトラックが消えます。

- エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにする
  次回エンジンをかけるまたはパワーユニットを起動すると、前回録音していたトラックの先頭から録音が始まります。
- CDを取り出す
  自動録音時：
  録音速度によって録音状態が異なります。
  - 1倍速で録音する場合：同じCDを再び挿入すると、CDの1曲目から再生され、録音されていないトラックの再生が始まると同時に録音が始まります。
  - 2倍速で録音する場合：同じCDを再び挿入すると、録音されていないトラックの録音が始まります。

  手動録音時：
  曲が消えると同時に録音設定がキャンセルされます。同じCDを再び挿入するときは、録音設定を行ってください。詳しくは、**「手動録音の設定をする」**（P.244）をご覧ください。
  手動で録音を再開する場合は、録音メニューで録音の操作をします。詳しくは**「手動で録音する」**（P.244）をご覧ください。

録音する

ここまでの操作

CDを再生する

自動的に録音が始まります。

- CDの再生方法については、「CD･MP3･WMAの音楽を聴く」(P.103)をご覧ください。
- 初期状態では自動録音が設定されています。録音設定について詳しくは、「録音設定を変更する」(P.243)をご覧ください。
- 録音速度を変えることができます。詳しくは、「録音設定を変更する」(P.243)をご覧ください。
- 録音時は、画面左下 REC×1 または REC×2 が表示されます。

再生する

ここまでの操作

  M.CATCHER

ミュージックキャッチャー内のトラックが再生されます。

オーディオ・ビジュアルを使ってみよう

ミュージックキャッチャーの画面

ここまでの操作

 ▶

AVコントロールバーの表示／非表示

- 地図画面のAV操作キーには、「MCT」と表示されます。
- 録音中はミュージックキャッチャーの再生は行えません。録音中に M.CATCHER をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか?」という確認画面が表示されます。

この画面からできる操作

1. リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する ……… P.247
2. 再生するアルバムを切り替える ……… P.114
3. アルバムリストを表示する ……… P.245
4. 再生中のアルバム、トラックの番号を表示する

こんなときは…

録音のスピードを変えたい……… P.243
聴きたい曲を簡単に探したい……… P.245
お気に入りのアルバムだけを続けて聴きたい……… P.246
繰り返して聴いたり、ランダムに再生したい……… P.247
録音したアルバムの順序を変えたい……… P.249
不要なアルバムやトラックを削除したい……… P.249、P.250

ミュージックキャッチャーの操作

早送り／早戻しする

1 ［＞］（早送り）または［＜］（早戻し）を押し続ける

- ［＞］、［＜］から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 ［＜］または［＞］を押す

- ［＜］を押すとトラックの先頭に戻り、さらに［＜］を押すごとに前のトラックに移動します。
- ［＞］を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

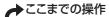
1 前アルバム または 次アルバム をタッチする

- 前アルバム 、次アルバム をタッチするごとに、前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

iPodを聴く／iPodビデオを観る

- 走行中は、iPod本体の操作は行わないでください。

- iPodを使用するには、iPodに付属のiPodケーブルを別売のUSB接続ケーブルに接続します。
- 接続できるiPodについては、P.256をご覧ください。

iPodを再生する

iPod内のトラックが再生されます。

iPodビデオを観る

- ファームウェアが2.0より古いiPod touchは、ビデオ再生に対応しておりません。
- 本機は安全のため、停車時のみiPodビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。
- iPodビデオを観るには、別売のUSB接続ケーブル、iPod接続用ケーブル（ビデオ用）、ビデオ入出力コードが必要です。

リストからお好みの項目をタッチすると、iPodビデオが再生されます。

iPodの操作画面について

iPodの画面

ここまでの操作

AVコントロールバーの表示／
非表示

- 本機とiPodを接続すると、iPodからは操作できません。
- iPodは、安全な場所に置いてご使用ください。
- 地図画面のAV操作キーには、「iPod」と表示されます。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

この画面からできる操作

1 リピート再生、シャッフル再生をしたり、コントロールバーをカスタマイズするための機能メニューを表示する ………… P.259、P.260

2 タッチした方法でトラックを選択する …………………………………… P.259

3 タッチした方法でトラックを選択する※1、※2 ……………………………… P.259

4 トラックリストを表示する※2 ……………………………………………… P.258

5 再生中のアルバム、トラック番号を表示する

※1　他の機能を割り付けることもできます。

※2　iPodビデオ再生中は表示されません。

お願い

- 万が一iPodが操作不能になってしまったときはiPodをリセットしてください。iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
- オーディオファイル再生中のiPodを本機に接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ対応iPodにおいてビデオ再生中に接続した場合は、iPodにより再生位置が異なることがあります。ビデオを観る場合、再度ビデオファイルを選択してください。

こんなときは…

聴きたい曲を簡単に探したい…………………………………………… P.258

繰り返して聴いたり、ランダムに再生したい………………………… P.260

条件を指定して聴きたい曲を探したい……………………………… P.259

iPod再生の操作

早送り／早戻しする

1 > （早送り）または < （早戻し）を押し続ける

・ > 、 < から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを選んで再生する

1 < または > を押す

チャプターの存在するトラックを再生している場合は、前または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

・ < を押すとトラックの先頭に戻り、さらに < を押すごとに前のトラックに移動します。
・ > を押すごとに次のトラックに移動します。

タッチパネルの
基本操作

文字パネルの操作

• 走行中は、文字パネルの操作を行えません。

文字を入力する

• 画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字をタッチする

2 続けて画面上の文字をタッチし、決定 または 確定 をタッチする

• 50音キーの並び順を左始まり、または右始まりに切り替えることができます。詳しくは、「その他の設定をする」(P.283)をご覧ください。

文字を変換する

• 施設名称検索などは、文字の変換は必要ありません。

1 文字を入力する

2 変換 をタッチする

3 変換された文字でよければ 確定 をタッチする

4 さらに文字変換する場合は、変換 をタッチする

5 変換候補をタッチし、決定 をタッチする

文字を消去する

1 ◀ 、▶ をタッチして、消したい文字にカーソルを移動する

2 クリア をタッチする

文字が1字消えます。

- クリア をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。

文字を挿入する

1 ◀ 、▶ をタッチして、挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動する

2 挿入する文字を入力する

文字が挿入されます。

文字の種類を切り替える

ひらがな・漢字、カナ、アルファベットといった文字の種類を切り替える方法を説明します。

- ミュージックキャッチャーのアルバム名編集など、編集時のみの機能です。

1 入力文字 をタッチする

2 入力したい文字の種類をタッチする

キーの表示が切り替わります。

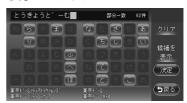
候補を表示する

入力した文字で始まる語句の候補をリスト表示させます。候補から文字を選ぶことで、変換を含む入力をすばやく行えます。

1 画面をタッチして文字入力する

2 候補を表示 をタッチする

3 候補リストから、目的の項目をタッチする

タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

- 表示される候補は、それまでに入力した語句や、県名・ブランド名などよく入力される語句、また有名施設の名称などです。
- 候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の地図と地点メニューが表示されます。

リストの操作

リストから項目を選ぶために、さまざまな便利な方法があります。

• 走行中は、リストの操作を行えません。

リストをスクロールする

リストの項目が多い場合、複数のページとして表示されます。

リストを1つ移動するには

1 [▲] をタッチして1つ前の項目を、[▼] をタッチして次の項目を表示する

リストのページを移動するには

1 [⏶] をタッチして前のページを、[⏷] をタッチして次のページを表示する

• [⏶] または [⏷] をタッチし続けると、連続してページが移動します。リストの最後と最初の項目の間には、境界線が表示されます。

タブを使って選ぶ

画面上部にひらがなのタブが表示されている場合は、タブをタッチすることで、語句の先頭の文字をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を絞り込む方法を説明しています。

1 [◀]、[▶] をタッチして、[と] をタッチする

「と」で始まる項目が表示されます。

• 「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」など五十音の行頭が表示される場合があります。「と」の場合は「た」をタッチしてリストから該当する項目を探してください。

項目を絞り込む

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。例えば 文字抽出 と エリア で絞り込みを行った場合、 文字抽出 で絞り込んだ項目に「東京都」がない場合は、 エリア で絞り込んだ項目の中に「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除したいときは、 戻る をタッチしてください。

エリア をタッチして絞り込む

リストの項目数が多い場合、エリアを指定して項目を絞り込めます。

1 エリア をタッチする

2 都道府県名を選択して、市区町村 をタッチする

- 5つまでの都道府県を選択できます。
- 市区町村名が不明の場合は、 決定 をタッチすると都道府県で項目が絞り込まれます。

3 市区町村名をタッチして、決定 をタッチする

項目が絞り込まれて表示されます。

- 再度 エリア をタッチして、エリアを絞り込むこともできます。その際に 解除 をタッチすると、エリア絞り込みで指定したエリアを解除できます。

ジャンル をタッチして絞り込む

リストの項目数が多い場合、ジャンルを指定して項目を絞り込めます。

1 ジャンル をタッチする

2 大分類のジャンルを選択して、中分類 をタッチする

- 決定 をタッチすると、選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。
- 大分類のジャンル内に中分類のジャンルが含まれていない場合は、選択した大分類のジャンルで絞り込まれて項目が表示されます。

3 中分類のジャンルを選択して、小分類 をタッチする

- 中分類のジャンル内に小分類のジャンルが含まれていない場合は、中分類のジャンルで絞り込まれて項目が表示されます。

4 小分類のジャンルを選択して、決定 をタッチする

項目が絞り込まれて表示されます。

- 再度 ジャンル をタッチして、ジャンルを絞り込めます。その際に 解除 をタッチすると、ジャンル絞り込みで指定したジャンルを解除できます。

文字抽出 をタッチして絞り込む

リストの項目数が多い場合、施設名に含まれる文字を指定して項目を絞り込めます。1文字でも絞り込めます。

1 文字抽出 をタッチする

2 施設名に含まれる文字をタッチして、決定 をタッチする

項目が絞り込まれて表示されます。

- 再度 文字抽出 をタッチして、文字を指定し絞り込めます。その際に クリア をタッチすると、抽出に指定した文字を消せます。

施設種別 をタッチして絞り込む

ハイウェイの施設リストで、施設種別 をタッチすると、インターチェンジ入口、サービスエリアといった施設の種別を絞り込めます。

1 施設種別 をタッチする

2 施設種別を選択して、決定 をタッチする

項目が絞り込まれて表示されます。

路線選択 をタッチして絞り込む

ハイウェイの施設リストで、路線選択 をタッチすると、新宿上り環状線方面、池袋線下り外環道方面といった路線を絞り込めます。

1 路線選択 をタッチする

2 路線名を選択して、決定 をタッチする

項目が絞り込まれて表示されます。

近隣県 をタッチして絞り込む

住所やハイウェイ施設から目的地を探すときに、近隣県 をタッチすると、現在地周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 近隣県 をタッチする

- 地名を入力 をタッチすると、地名を入力して目的地・地点を探せます。
- MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所が地図で表示されます。

2 絞り込みたい県をタッチする

リストの選択／解除をする

リストの項目に以下の画面のようなランプがついているものは、項目をタッチするごとに、選択／解除が切り替わります。

全選択をする

全選択 というキーが表示されている場合は、すべての項目を選択できます。

1 全選択 をタッチする

すべての項目が選択され、タッチキーが 選択解除 に変わります。

- 選択解除 をタッチすると、すべての選択を解除できます。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替え をタッチする

2 並べ替える方法をタッチする

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

日付順 ： 登録した日付の新しい順に表示します。

近い順 ： 現在地から近い順に表示します。

アイコン順 ： 登録地に設定されたアイコンごとに表示します。登録地が6以上ある場合は、アイコンのタブを表示します。

50音順 ： 50音順に表示します。50音のタブを表示します。

使用頻度順 ： よく使う順に表示します。

路線順 ： 選択した路線上で上りまたは下り順に表示します。（ハイウェイ検索のみ）

新着順 ： 番組放送日または雑誌発売日の新しい順に表示します。（TV・雑誌情報検索のみ）

リストの表示方法を変える

登録リストでは、リストの表示方法を変えられます。ここでは、例として、登録リストを愛称リストで表示する方法を説明しています。

1 リスト表示 をタッチする

2 愛称リスト をタッチする

リストが愛称リストで表示されます。

- 通常リスト をタッチすると、通常のリスト表示になります。

地図に表示される
マーク

地図ランドマーク一覧

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 都道府県庁
- 市役所・区役所
- 市区町村役場・刑務所・その他役所関係
- 官公署
- 裁判所
- 空港・民間飛行場
- ヘリポート
- フェリー乗り場
- 灯台
- 港
- インターチェンジ／ランプ
- スマートインターチェンジ
- サービスエリア
- パーキングエリア
- 料金所（高速・有料道）
- 信号機
- トンネル
- 関係者以外立入禁止区域
- 警察署
- 駐在所・交番
- 消防署
- 病院
- 大学
- 短期大学
- 高校・高専
- 中学校
- 小学校
- 幼稚園
- 保育園
- その他学校
- 郵便局
- 自衛隊
- 米軍
- 企業・法人・その他公的施設・工場・研究所など
- ホテル
- 公共宿泊施設
- デパートなど
- ショッピング街
- 衣料品店
- 駐車場
- 道の駅・旅の駅
- JA
- 城・城跡
- 寺院
- 神社
- 教会
- ゴルフ場
- ゴルフ練習場
- 遊園地
- テーマパーク
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- プール
- 観光遊覧船乗り場
- 健康ランド
- 展望台
- ボーリング場
- スタジアム・スポーツ施設
- 野球場
- テニスコート
- 乗馬
- ヨットハーバー・マリーナ
- 体育館
- モータースポーツ施設
- サイクルスポーツセンター
- 射撃場
- その他スポーツ施設
- キャンプ場
- スキー場
- 総合スポーツ公園
- 美術館
- 陵墓・博物館など・その他宗教施設
- 図書館
- ホール
- 牧場・観光牧場
- 競輪・競馬・競艇
- 主要都市
- 温泉
- 公園・庭園
- 史跡・名勝
- 霊園・墓地
- 海水浴場
- 山岳
- コスモ石油
- JOMO
- 出光
- エネオス
- エッソ石油
- 昭和シェル石油
- キグナス石油
- ゼネラル石油
- モービル石油
- その他ガソリンスタンド
- ファミリーマート
- ローソン
- セブンイレブン
- サークルK
- サンクス

ミニストップ
デイリーヤマザキ
セーブオン
セイコーマート
ポプラ
スリーエフ
am/pm
ヤマザキYショップ
ショップ99
その他コンビニエンスストア
ロイヤルホスト
デニーズ
すかいらーく
ガスト
ジョナサン
バーミヤン
藍屋
夢庵
CASA
リンガーハット
COCO'S
ジョイフル
その他ファミリーレストラン
オートバックス
スーパーオートバックス
イエローハット
コクピット
タイヤ館
オートテック
オートハローズ
オートアールズ
タイヤセレクト
ジェームス
タイヤランド
タイヤガーデン
タイヤマン
その他カー用品店
りそな銀行・埼玉りそな銀行
三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行
みずほ銀行
その他金融機関
三菱自動車
その他カーディーラー
エックスレンタカー
オリックスレンタカー
ニッポンレンタカー
マツダレンタカー
ジャパレン
日産レンタカー
バジェットレンタカー
ジャパンレンタカー
トヨタレンタリース
その他レンタカー
かっぱ寿司
すしおんど
スシロー
くら寿司
その他回転寿司
マクドナルド
モスバーガー
ケンタッキーフライドチキン
吉野家
ロッテリア
ファーストキッチン
ミスタードーナツ
CoCo壱番屋
小僧寿し
その他ファーストフード
西友
ジャスコ
ダイエー
イトーヨーカドー（堂）
丸井
高島屋
三越
パルコ
スーパー・商業施設など
ディスカウントストア
家電店
DIY
各種学校・専修学校
NTT
結婚式場
マンション

SA/PA図

スナックコーナー	キャッシュディスペンサー	ローソン
お土産コーナー	シャワー	セイコーマート
休憩所	ドッグラン	ポプラ
レストラン	セブンイレブン	モービル石油
ハイウェイ情報ターミナル	ファミリーマート	セーブオン
スマートインターチェンジ	サンクス	エネオス
インフォメーション	サークルK	キグナス石油
FAX	ミニストップ	ゼネラル石油
ポスト	デイリーヤマザキ	昭和シェル石油
障害者用トイレ	マクドナルド	出光
トイレ	ロッテリア	エッソ石油
宿泊・休憩施設	モスバーガー	コスモ石油
お風呂	吉野家	JOMO
コインランドリー	ミスタードーナツ	その他ガソリンスタンド

VICS受信画面

VICS情報とは、NHK-FMなどのFM文字多重放送を受信して表示される、交通などの情報です。
詳しくは、「FM VICS情報を利用する」（P.185）をご覧ください。

VICS情報の受信マーク

FM多重放送情報　光・電波ビーコン

VICS情報のランドマーク

事故	故障車	障害物・路上障害	工事
凍結	作業	通行止・閉鎖	片側交互通行
チェーン規制	進入禁止	駐車場・SA/PA 空車	駐車場・SA/PA 満車
駐車場・SA/PA 混雑	駐車場・SA/PA 不明	駐車場・SA/PA 閉鎖	対面通行
車線規制	その他の情報・規制	徐行	入口閉鎖
大型通行止め	入口制限	速度規制 10km/h	速度規制 20km/h
速度規制 30km/h	速度規制 40km/h	速度規制 50km/h	速度規制 60km/h
速度規制 70km/h	速度規制 80km/h		

目的地の設定

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

いろいろな検索方法

本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。

- **検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承の上、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。**

- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

目的地を設定すると、以下のような地点メニュー画面が表示されます。

ここに行く をタッチすると、目的地までのルートが設定され、ルート案内が開始されます。(P.65)

また、目的地までのルートの条件を変更することもできます。(P.165)

目的地メニューから探す

ここまでの操作

タッチキー	検索方法	参照ページ
電話	目的地の電話番号を入力して探す	P.142
住所	住所を入力して探す	P.55
名称	行きたい施設の名称を入力して探す	P.58
ジャンル	ジャンルを選択して施設を探す	P.142
登録リスト	本機に登録した地点から探す	P.59
TV･雑誌	TV番組や雑誌で紹介されたお店などを探す	P.144
周辺検索	自車位置や目的地などの周辺の施設を探す	P.146
その他	ハイウェイや緯度経度などから探す	P.152
お気に入り	よく行く地点から探す	P.62
自宅へ戻る	自宅を目的地として設定する	P.54
目的地解除	目的地を解除する	P.178

- 走行中は選択できる項目が限定されます。
- 目的地メニュー画面は、レイアウトや表示内容を変更することができます。詳しくは「スクリーンの設定をする」（P.295）をご覧ください。

電話番号から探す

- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- 電話帳に掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。
- 敷地が広大である場合や近くに道路がない場合など、位置が正確ではない施設の場合、警告音と共に「ピンポイントのデータではありません･･･」というメッセージが表示され、その後に地図が表示されます。このとき地図に示された位置はおおよその位置であり、正確な施設の位置とは異なります。ご注意ください。
- 電話番号で目的地・地点を探したときに、複数の施設が見つかる場合があります。この場合は、施設がリストで表示されるので、リストから目的の施設を選択してください。

ここまでの操作

  電話

1 目的地の電話番号を市外局番から入力する

2 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ジャンルから探す

「食べる･飲む」、「遊ぶ･見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

ここまでの操作

  ジャンル

1 ジャンルをタッチする

2 施設のジャンルをタッチする

選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。手順3に進んでください。

- 詳細 をタッチすると、さらにジャンルを選択できます。

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

キーワードを入力して探す

施設に関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

ここまでの操作

1 キーワードを入力して 決定 をタッチする

- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

2 目的のジャンルをタッチする

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探してみることをおすすめします。
- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

TV・雑誌の情報から探す

TV番組や雑誌で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV・雑誌の情報を更新するには、「**TV・雑誌情報の更新**」(P.324)をご覧ください。

- メディアで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組・雑誌は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

TV番組・雑誌の名前から探す

目的の施設がどのTV番組・雑誌などで紹介されたかが分かっている場合の探しかたです。

ここまでの操作

1 番組・雑誌名 をタッチする

2 目的の番組または雑誌名をタッチする

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 画面上部に、紹介された番組・雑誌名、放送日または発売日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。

ジャンルから探す

目的の施設を、ジャンルから検索します。ジャンルは、大きく分けて「食べる･飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

ここまでの操作

1 ジャンル をタッチする

2 目的のジャンルをタッチする

3 目的の詳細ジャンルをタッチする

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。

1 周辺検索 をタッチする

2 自車周辺 、 目的地周辺 または 表示先周辺 をタッチする

3 目的のジャンルをタッチする

自車周辺、目的地周辺または地図をスクロールした表示先周辺の施設が検索され、結果がリスト表示されます。

- 詳細 をタッチすると、詳細ジャンルリストから絞り込めます。

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

周辺検索メニューから探す

自車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。

ここまでの操作

▶ 周辺検索 またはナビゲーションコントロールバーの 周辺検索

タッチキー	検索方法	参照ページ
お好み一括	お好み最短リスト(P.147)に登録されているすべてのジャンルの施設を、自車周辺で一括して探す	P.148
お好み最短検索	お好み最短リスト（P.147）に登録されているジャンルの施設をジャンルごとに探す	P.148
自車周辺 目的地周辺 表示先周辺	自車、目的地、地図をスクロールさせた表示先周辺の施設をジャンルごとに探す	P.149
駐車場ニアピン	目的地に最も近い駐車場を探す	P.149
駐車場リレー検索	目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合、その周辺の他の駐車場を探す	P.150
ルートサイド	目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定する	P.151
検索アイコン消去 ※	検索アイコンの表示を地図上から消去する	—

※「検索アイコン」とは、周辺検索で検索した施設のアイコンの上に矢印が付いたものです。

- 目的地が設定されていない場合は、周辺検索メニューで選択できる項目は限定されます。
- 走行中は選択できる項目が限定されます。

よく使うジャンルを登録する

よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せて便利です。
コンビニやガソリンスタンドは、店名まで指定して登録することもできます。

1 お好み変更 をタッチする

お好み最短リストが表示されます。

2 登録したいお好み番号をタッチする

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。
- お好み削除 をタッチすると、お好み設定に登録したジャンルを削除できます。

3 登録したいジャンルをタッチする

4 登録したいジャンルを選択して 決定 をタッチする

- 決定 をタッチすると、選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。
- 詳細 をタッチすると、店名を設定できます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

よく使うジャンルから探す

「よく使うジャンル」として登録したジャンルで、現在地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

ここまでの操作

周辺検索

1 お好みのジャンルのアイコンをタッチする

2 施設をタッチする

3 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

よく使うジャンルを一括で探す

「お好み設定」に登録されたすべてのジャンルの施設を、現在地周辺10km以内の地域で1ジャンルにつき5件まで一括で探せます。

- 「お好み設定」にジャンルを登録するには、「よく使うジャンルを登録する」（P.147）をご覧ください。

ここまでの操作

周辺検索

1 お好み一括 をタッチする

2 行きたい施設のジャンルをタッチする

- ジャンルのキーをタッチすると、次の候補施設が表示されます。
- ガイド をタッチすると、施設の情報が表示されます。
- 地図は北方向上向きで表示されます。表示されている地図を拡大・縮小できますが、地図をスクロールしたり、向きを変えたりすることはできません。

3 施設の場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

現在地･目的地･地図表示位置周辺から探す

現在地・目的地・地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。

ここまでの操作

のいずれか

- 目的地を設定していない場合は、目的地周辺 は表示されません。

1 施設のジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする

- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

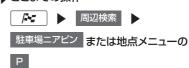
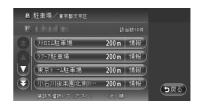
目的地周辺の駐車場を探す

目的地に最も近い駐車場を目的地として設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

ここまでの操作

または地点メニューの

P

1 行きたい駐車場をタッチする

- 駐車場の名前の横に駐車場までの距離が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 前の駐車場 、次の駐車場 をタッチすると候補の前／次の駐車場が表示されます。
- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。

別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）

ジャンル検索、お好み最短検索、駐車場ニアピンで、目的地として設定した駐車場が満車のときに、別の駐車場を探します。

- 以下の場合には、駐車場リレーは解除されます。
  - 目的地を解除または変更した場合
  - 他の駐車場 が表示されている状態で車のエンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにした場合
  - 一度目的地に近づいてから1km以上離れた場合
- 目的地周辺に他の駐車場がなく、駐車場ニアピンで検索した場合、この操作はできません。

1 目的地到着後、他の駐車場 をタッチする

周辺の駐車場が、地図上に10件まで表示されます。

2 行きたい駐車場を選択して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。
- 前の駐車場 をタッチすると前の駐車場、次の駐車場 をタッチすると次の駐車場が表示されます。
- 一度行った駐車場は、水色のアイコンから赤の横線のあるアイコンに変わって区別されます。目的地を解除するか、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにすると、アイコンの色区別は解除されます。

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

- 立寄地に近づくと、メロディなどの音声で案内されます。
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

ここまでの操作

▶ 周辺検索 ▶ ルートサイド

1 ジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする

- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 立寄地に設定 をタッチする

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

その他のメニューから探す

緯度・経度や郵便番号を入力して目的地を検索できます。

ここまでの操作

 ▶ その他

タッチキー	検索方法	参照ページ
履歴	過去に表示した地図の履歴から探す	P.153
ハイウェイ	サービスエリア、高速道路の入り口・出口などを探す	P.153、P.154、P.155
緯度･経度	目的地の緯度・経度を入力して探す	P.156
郵便番号	目的地の郵便番号を入力して探す	P.156
マップコード	目的地のマップコードを入力して探す	P.157
メモリーカードから	メモリーカード内の登録地を目的地に設定する	P.157
MYスポット	メモリーカード内のMYスポットを目的地に設定する	P.158
MYコース	メモリーカード内のMYコースを目的地へのコースとして設定する	P.158

- 走行中は、本操作を行えません。
- ハイウェイ から目的地検索を行うと、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整していただくようお願いいたします。

履歴から探す

今まで目的地として設定した地点の一覧から探します。

1 目的の地点をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 地点削除 をタッチすると、地点を選択して履歴から削除できます。
- 履歴は最大10件まで保存されます。

道路名から探す

ハイウェイの施設を、道路名や路線図から検索して探します。

1 道路別 をタッチする

2 道路の種類をタッチする

- 高速道路 をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が目的地候補として表示される場合があります。

3 路線をタッチする

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ハイウェイの最寄りの入り口から探す

現在地の近くにあるハイウェイの入り口を探します。

ここまでの操作

1 最寄の入り口 をタッチする

2 入り口をタッチする

- 入り口までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地周辺のハイウェイの出口を探す

目的地周辺にあるハイウェイの出口を探します。
目的地が設定されていないと、この操作はできません。

1 目的地周辺出口 をタッチする

2 施設をタッチする

- 出口までの距離が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ハイウェイの施設名から探す

ハイウェイの施設名を入力して探します。

1 名称 をタッチする

2 施設の名称を入力して 決定 をタッチする

3 施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

緯度･経度から探す

ここまでの操作

緯度･経度

1 北緯と東経を入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

郵便番号から探す

ここまでの操作

1 郵便番号を入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて郵便番号の入力画面に戻ります。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。マップコードは、出版物などで調べられます。

- マップコード……6～ 12桁の数字と＊で構成された、地点を表すコードのこと。6～ 10桁のコードを標準マップコード、12桁のコードを高精度マップコードと呼び、場所を表す精度が異なります。

ここまでの操作

1 マップコードを入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  ホームページ：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  電話：
  0566-61-4210（株式会社デンソー MCプロジェクト）

SDカードから探す

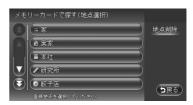
別売のSDカード（メモリーカード）に保存した登録地点から目的地を探します。

- SDカードに登録地がすでに保存されている必要があります。SDカードに地点を登録する方法については、「登録地点を書き出す」（P.316）をご覧ください。
- SDカードの操作について詳しくは、「SDカードを使う」（P.311）をご覧ください。

ここまでの操作

1 目的の登録地点が含まれているグループをタッチする

2 地点をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

MYスポットから探す

MYスポットから目的地を探します。

- MYスポット……クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」(http://chizu-route-susumu.jp) を利用して、SDカードに保存できるお好みのスポット(位置情報)のこと。

- あらかじめ、SDカードにMYスポットを保存しておく必要があります。MYスポットの保存方法、取り込み方法については、「MYスポットの取り込み/書き出し」(P.322)をご覧ください。
- SDカードの操作について詳しくは、「SDカードを使う」(P.311)をご覧ください。
- SDカードに保存できるMYスポットは、最大450件です。

ここまでの操作

▶ その他 ▶ MYスポット

1 目的のMYスポットをタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 地点削除 をタッチすると、SDカードからMYスポットを削除できます。リストから削除するMYスポットを選択して、決定 ▶ はい をタッチします。

MYコースから探す

MYコースを利用して、ルートを設定できます。

- MYコース……クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」(http://chizu-route-susumu.jp) を利用して、お好みのスポット(位置情報)を目的地、経由地に指定して作成するドライブコースのこと。作成したドライブコースは、SDカードに保存できます。

- あらかじめ、SDカードにMYコースを保存しておく必要があります。
- SDカードに保存するMYコースのファイルについて、詳しくは「MYコースを利用するには」(P.321)をご覧ください。
- MYコースで作成したルート、所要時間、渋滞情報は、Webの検索結果とは異なります。

ここまでの操作

1 目的のMYコースをタッチする

- ▲ または ▼ をタッチしてMYコースを選択し、コース表示 をタッチすると、コースの全体が表示されます。
- ダウンロード時のファイル名がMYコースの名前として扱われます。

2 決定 をタッチする

ルートを設定するための計算条件画面が表示されます。
計算 をタッチすると、目的地までのルートが設定されます。

登録リストを編集する

登録地点の情報を編集する

地点のデータを編集する

ここまでの操作

1 編集したいグループをタッチする

グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする

3 データ編集 をタッチする

4 編集したい登録地点をタッチする

5 編集したい項目をタッチして、登録地点の内容を編集する

アイコン･名称 ：

アイコン選択画面が表示されます。アイコンを選択して 決定 をタッチすると、名称入力画面が表示されます。自宅に設定したアイコンは変更できません。

グループ ：

グループ選択画面が表示されます。登録地を所属させるグループを選択して 決定 をタッチします。

電話番号 ：

電話番号入力画面が表示されます。電話番号を入力して、決定 をタッチします。

位置 ：

位置調整画面が表示されます。位置を調整して、決定 をタッチします。

愛称 ：

カナ入力画面が表示されます。愛称を入力して 決定 をタッチします。

音声選択 ：

車が登録地に近づいたときの音声案内の種類を設定します。音声選択画面から音声を選択して 決定 をタッチします。

グループの名称を編集する

ここまでの操作

 ▶ 登録リスト

1 いずれかのグループをタッチする

2 編集 をタッチする

3 グループ編集 をタッチする

4 名称変更 をタッチする

- グループ名をタッチすると、グループに所属させる登録地点を変更できます。

5 名称を変更するグループをタッチする

6 名称を入力して 決定 をタッチする

グループの名称が変更されます。

リストから地点を削除する

ここまでの操作

 ▶

1 グループをタッチする

グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする

3 地点削除 をタッチする

4 削除する地点を選択して 決定 をタッチする

- アイコン選択 をタッチすると、アイコンを選択して登録地点を絞り込めます。

5 はい をタッチする

選択した地点が登録リストから削除されます。

検索結果画面表示について

施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
ピンポイントで地点を検索できなかった場合に表示されます。正確な位置ではありませんので、施設位置をご確認の上、位置調整をしてください。

「施設入口地点を表示します。」
表示されている場所が施設の入口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するのには適さない場所に誘導される場合があります。

「経路誘導に最適な地点を表示します。」
目的地が（山の上など）誘導に適さない場所にある場合､車で行ける最適な地点を表示します。

目的地と誘導地点が離れている場合は、誘導地点が地図画面の中心に表示され、目的地は黄色の旗で表わされます。

専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。駐車場を選択した場合は、中心位置に駐車場地点が、目的地施設の地点に黄色の旗が表示されます。

施設情報について

情報 を利用する

目的地を探すときに表示される施設リスト画面に、情報 が表示されている施設には、住所や電話番号などの施設情報が登録されています。
情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。

▶

地図表示	施設の地図と地点メニューを表示する
コード	QRコードを表示する QRコードとは、携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコードのことです。 QRコードを利用して、施設地図情報やガイド情報を携帯電話で確認できます。 詳しくは、**「施設情報をQRコードで読み取る」**（P.164）をご覧ください。

前施設 次施設 、施設情報 を利用する

施設リスト画面から目的の施設をタッチした後に表示される地図画面に、前施設 次施設 、施設情報 が表示されることがあります。

前施設 次施設	施設リストの前後の施設を表示する
施設情報	登録されている施設の情報を表示する

施設情報をQRコードで読み取る

施設情報画面で コード をタッチすると、施設情報が含まれたQRコード（携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコード）が表示されます。
地図情報 または ガイド情報 をタッチして携帯電話でQRコードを読み取ると、施設情報の詳細を確認できます。

地図情報	施設の地図情報を携帯電話に表示する
ガイド情報	施設のガイド情報を携帯電話に表示する
縮小	QRコードを縮小表示する

ルートの設定と誘導

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内が始まりますので、ルート案内に従って走行してください。

設定したルートを変更する

設定したルートを、お好みの条件で計算しなおします。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの ルート

タッチキー	設定の内容	参照ページ
再計算	現在の計算条件で、ルートを再設定する	P.167
有料優先	有料道を優先して、ルートを再設定する	P.167
一般優先	一般道を優先して、ルートを再設定する	P.167
迂回計算	渋滞など、現在地から10km以内の避けたい場所を迂回するルートを設定する	P.167
複数計算	計算条件を変えて、最大８つのルートを表示する	P.168
計算条件	設定したルートの計算条件を変更する	P.170
ルート編集	経由地の追加や削除、目的地の位置を修正する	P.173
経由地削除	経由地を削除する※	P.177
出発時刻指定	出発予定時刻を含めた前後2時間の出発時刻から、ルートと到着予想時刻を比較する	P.169
ルート確認	設定したルート上を、画面上で移動しながら確認する 現在地から目的地までのルートを全体表示する	P.179
走行デモ	設定したルート上をデモ走行する	P.180
目的地解除	設定した目的地を解除する	P.178

※経由地を設定したルートを走行中に表示されます。

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

ルートを再設定する

計算条件を変えずに再設定する

設定したルートを同じ条件で再計算します。オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合に便利です。オートリルート機能については、**「ルート案内画面の設定をする」**（P.273）をご覧ください。

- 立寄地が設定されている場合、ルートを再設定すると、立寄地の設定は解除されます。

ここまでの操作

現在の条件でルートが再計算されます。

優先路を変更して再設定する

オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合、優先的に走行するルートを選んで、ルートを設定しなおせます。オートリルート設定については、**「ルート案内画面の設定をする」**（P.273）をご覧ください。

ここまでの操作

ルート ▶ 有料優先 または 一般優先

選択した道路を優先してルートを再計算します。

- 現在地の近くに有料道路がある場合に以下の画面が表示されます。現在走行中の道路をタッチしてください。

迂回ルートを再設定する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルート（現在地から10km）を再計算できます。

- 別売のVICS光/電波ビーコン受信機を接続している場合、あらかじめ渋滞考慮計算を適用しておくと、ビーコンからのVICS渋滞情報を考慮した迂回ルートが設定されます。渋滞考慮計算の設定については、「ルート案内画面の設定をする」（P.273）をご覧ください。

ここまでの操作

ルート ▶ 迂回計算

迂回するルートが再計算されます。

ルートの設定と誘導

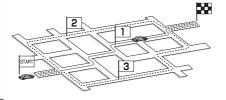
ルートを比較する

複数のルートを比較する

計算条件を変えて、最大で8つのルートを計算します。複数のルートの中からお好みのルートを選んで設定できます。
目的地の位置によっては、8つのルートを表示できない場合もあります。また、8つのルートの内容がすべて同じになる場合もあります。

- ルートに経由地を設定している場合は、複数ルートの計算はできません。
- 複数ルートには料金が表示されますが、一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路には対応していない場合があります。そのため、表示される料金は実際の料金と異なる場合があります。

8つのルート計算条件は、以下のとおりです。

1：有料道路、標準
2：一般道路、標準
3：有料道路、標準2（1の別ルート）
4：一般道路、標準2（2の別ルート）
5：有料道路、距離優先
6：一般道路、距離優先
7：有料道路、統計渋滞考慮
8：一般道路、統計渋滞考慮

ここまでの操作

ルート ▶ 複数計算 、
または地点メニューの 複数計算

1 希望のルートを選択してタッチし、決定 をタッチする

- 各ルートには、総走行距離と料金が表示されます。実際の料金が表示より高い可能性がある場合は、「¥○○以上」と表示されます。
- 地図では、複数のルートが色別に表示されます。ルートを選択すると、選択したルートが前面に表示されます。

2 案内開始 をタッチする

選択したルートが設定されます。

- 地図の拡大／縮小やスクロールでルートを確認できます。

出発時刻ごとのルートを比較する

出発日時を指定して、最適なルートを再計算します。

ここまでの操作

ルート ▶ 出発時刻指定

1 出発日時、時刻を入力し、 決定 をタッチする

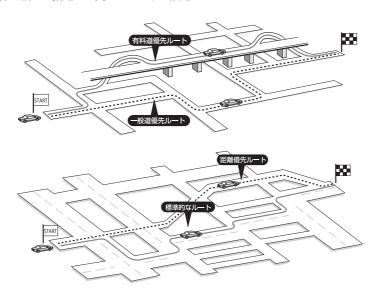
2 希望の出発時刻をタッチする

3 案内開始 をタッチする

ルートの設定と誘導

ルートの優先路・計算条件を変える

計算条件を変える

計算条件を細かく指定して変え、ルートを設定できます。

計算条件を選択し、 計算 をタッチすると、選択したルートが設定されます。

設定できる計算条件は以下のとおりです。

設定項目	設定の内容	設定値
優先路	有料道路と一般道路のどちらを優先するかを設定する	有料優先／一般優先
有料条件	［優先路］で 有料優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	標準：標準条件 距離優先：距離を優先 統計渋滞考慮：渋滞の統計データ※1を利用して計算
一般条件	［優先路］で 一般優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	
区間設定	経由地を設定した場合に、区間ごとに優先路を設定する	する／しない
スマートIC※2	利用できるスマートICを考慮してルート計算をする※3	利用する／利用しない
渋滞考慮※4	ビーコンVICSの渋滞情報を考慮してルート計算をする	する／しない

※1 渋滞の統計データとは、過去1年分のVICS情報を時間により分類し、統計処理したデータです（スマートICの営業時間や営業期間は統計処理されません）。
※2 スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。
※3 スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そうしたスマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート計算は行っていません。ご利用の際はご注意ください。
※4 渋滞情報を考慮するには、三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機が接続されている必要があります。

- 有料優先 を選択しても、有料道路を使わないルートが設定される場合があります。
- 一般優先 を選択しても、有料道路を使うルートが設定される場合があります。
- 道路状況によっては、計算条件を変えても同じルートが設定される場合があります。また、道路状況によっては設定どおりのルートが計算されない場合があります。
- 有料条件／一般条件で 統計渋滞考慮 を選択した場合の到着予想時刻は、統計渋滞考慮 以外を選択した場合の到着予想時間より遅くなることがあります。
- 現在地が有料道路上にある場合、または近くに有料道路がある場合は、一般道路と有料道路のどちらを走行しているかを確認する画面が表示されます。走行している道路のキーをタッチすると、その条件で計算されます。
- スマートICは、ETC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 計算条件画面でスマートICをオンの状態に設定した場合に、スマートICを含むルートの計算を行うと確認画面が表示されます。営業時間を確認して、 はい または いいえ を選択してください。

経由地ごとに優先路を設定する

経由地を設定した場合は、区間ごとに優先路を設定できます。経由地の設定については、「**経由地を追加する**」(P.175)をご覧ください。

1 ［区間設定］の する をタッチする

2 経由地ごとの優先路を設定する

3 決定 をタッチする

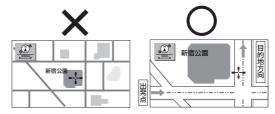
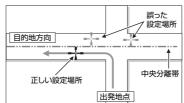
4 計算 をタッチする

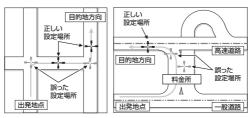
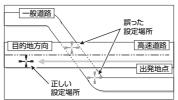
設定した条件でルートが再計算されます。

設定したルートを編集する

経由地の設定をする

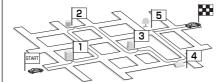
ルートの途中で寄り道をしたいときなど、ルートに経由地を5つまで設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地の位置を修正することもできます。
経由地を設定してルートを変える際には、以下のことにご注意ください。

1. 経由地を設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。
2. 施設を経由地として設定した場合、経由地までの道路が細街路のときは、施設近くの経路対象道路を通るルートが計算されます。

3. 上下線や一方通行路に経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。

4. 交差点やインターチェンジなどに経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。

ルートの設定と誘導

5. 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、経由地を設定しないでください。

- 設定した経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。
- ルート編集後に計算条件画面で 計算 をタッチせずに終了すると、設定済みのルートは計算されず、ルート案内は始まりません。

経由地を追加する

最大で5つまでの経由地を設定できます。

- 経由地を設定すると、複数ルートの計算や、出発時刻を指定しての計算はできません。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

- 地点メニューの 経由地追加 をタッチして、手順2に進んでも同様の操作です。

1 地点追加 をタッチする

1つめの経由地を設定するときは、手順3に進みます。

2つめ以降の経由地を設定する場合は、手順2に進みます。

2 追加したい箇所の ◀追加 をタッチする

3 経由地を探す

探し方は、目的地を探す方法と同様です。詳しくは「目的地の設定」(P.139)をご覧ください。

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地が追加され、新しいルートが設定されます。

経由地の順序を並べ替える

複数の経由地を設定した場合、経由地の順番を並べ替えられます。

1 地点並替 をタッチする

2 順序を変えたい地点をタッチする

3 地点を移動したい位置の ◀移動 をタッチする

4 戻る をタッチする

5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地の順番が変わり、新しいルートが設定されます。

目的地、経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を変えたり、調整できます。

ここまででの操作
ルート ▶ ルート編集

1 位置を調整したい地点をタッチする

2 位置調整 または 検索から変更 をタッチする

位置調整 ：

地図画面が表示され、スクロールして位置を修正します。

検索から変更 ：

目的地検索と同様の方法で、位置を修正できます。

3 選択した方法で位置を修正し、決定 をタッチする

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

目的地または経由地の位置が調整され、ルートが計算されます。

経由地を削除する

設定した経由地をルートから削除します。

ここまでの操作
ルート ▶ ルート編集

1 地点削除 をタッチする

2 削除したい地点を選択し、決定 をタッチする

- 複数の地点を選択できます。

3 はい をタッチする

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする

経由地が削除され、新しいルートが計算されます。

設定したルートを削除する

目的地を解除する

目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

1 確認画面で はい をタッチする

目的地が解除され、ルート誘導が中止されます。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認できます。

- 走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。
- 地図をスクロールした状態では、ルートの確認はできません。

ルートを表示する

地図上でルートを確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

ルート確認画面が表示されます。

自動後退 、 自動前進 ：

ルートを自動的に前進または後退させます。 解除 をタッチすると自動後退、自動前進が止まります。

後退 、 前進 ：

タッチしている間、ルートを前進または後退させます。

- 立体地図表示時は、自動的に平面地図に切り替わって表示されます。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。
- 自動前進または自動後退時に、地図の拡大／縮小はできますが、詳細に大きさは変えられません。

ルートの全体を確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

1 全ルート表示 をタッチする

現在地から目的地までの全ルートが表示されます。

この画面では、地図の拡大／縮小、スクロールができます。

ルートをデモ走行する

ここまでの操作

ルート ▶ 走行デモ

デモ走行が自動的に始まります。

- デモ走行中でも地図スクロールやメニューの操作を行えます。
- デモ中止 をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 再度 走行デモ をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。

ルート上の情報を確認する

目的地の地図を表示する

目的地の地図を表示できます。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 目的地表示 をタッチする

目的地の地図が表示されます。

- この画面から、目的地の変更や修正はできません。

次の案内地点を表示する

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 次の案内 をタッチする

現在地から次の案内地点までの地図と、案内地点の拡大地図が表示されます。

渋滞情報を表示する

渋滞のあるルートと現在地の距離により、表示される情報の種類が異なります。
現在地から2km以内：
渋滞の起点までの地図※、起点までの距離と渋滞距離、音声案内が案内されます。
現在地から2km ～ 10km以内：
音声でのみ案内されます。
現在地から10km以上先：
案内されません。

※渋滞の長さに応じて、地図の大きさが100m/200m/500m/1kmの4段階で自動的に切り替わって表示されます。

- ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合でも、渋滞情報は音声案内されます。
- 渋滞の距離が短い場合は、地図上に表示されていても音声案内がされないことがあります。
- VICS情報更新時は、現在地地図画面に戻ります。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 渋滞情報 をタッチする

現在地から渋滞の起点までの地図が表示され、音声でも案内されます。

- 画面上部に現在地から渋滞の起点までの距離と渋滞距離が表示されます。

ルートの設定と誘導

音声案内をもう一度聞く

1つ前の音声案内を、再度流します。

- ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合は、本操作を行えません。ナビゲーションの設定については、「音声案内の設定をする」（P.275）をご覧ください。
- 音声案内の対象となる地点を通過した後は、通過した地点に対する音声案内はされません。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 再音声 をタッチする

現在地地図画面が表示され、1つ前にされた音声案内が再度案内されます。

60km以内の誘導情報を確認する

60km以内にある、信号の有無、案内地点といったルート上の情報を確認できます。

- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 誘導情報 をタッチする

2 案内地点をタッチする

案内地点確認画面が表示されます。

- 以下の情報が表示されます。
  目的地までの距離／到着予想時間／全料金／有料道路施設の名前／自車位置から案内地点までの距離／交差点の名前／信号機の有無／案内区間の渋滞情報／案内区間の所要時間
- 、 は、以下の場合に表示されます。
  ルートが増加した車線を通る／ 5車線以上ある交差点／ 5差路以上ある交差点／ルートが狭角で右左折する案内地点
- ルートによっては、直近区間料金が表示される場合があります。

情報を利用する

FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信して、ドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報やSDD（Silicon Disk Drive）の情報、ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニューを見る

VICSを利用して、渋滞情報などの交通情報を確認できます。また、車のメンテナンスに関する情報をお知らせすることもできます。

ここまでの操作

タッチキー	情報の内容	参照ページ
FM VICS	FM VICSで受信した渋滞情報や所要時間、緊急情報などを表示する	P.187
ビーコン	光ビーコンや電波ビーコンから受信した交通情報などを表示する（別売のVICS光/電波ビーコン受信機接続時）	P.190
交通情報	交通情報（ラジオ）を受信する	P.192
SDD情報	本機のメモリー情報を表示する	P.193
メンテナンス	車のメンテナンスに関する情報をお知らせするための設定をする	P.194
ETC	ETCの履歴や情報を表示する（別売のETC車載器接続時）	P.197
VICS設定	VICSに関する設定メニュー画面を表示する	P.277
高速道交通情報 一般道交通情報	渋滞情報表示のON/OFFを切り替える	P.279

- 別売品について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

FM VICS情報を利用する

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
また、VICS画面、VICS情報のランドマーク、受信マークについては、**「VICS情報画面の見かた」**（P.52）、**「VICS受信画面」**（P.137）をあわせてご覧ください。

FM VICS情報について

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

- **表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。**

- VICS画面、VICS情報のランドマークおよび受信マークについては、「VICS情報画面の見かた」（P.52）、「VICS受信画面」（P.137）をご覧ください。

■FM VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。また詳しくは、「VICSシステムの問い合わせ先」(P.375)をご覧ください。

VICS情報	詳細
情報提供時間※1	FM多重、VICS光、電波ビーコンともに24時間
情報の種類	渋滞情報：渋滞区間を表示します。
	所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示します。
	交通障害情報：事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについてお知らせします。
	交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因についてお知らせします。
	駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報についてお知らせします。
情報画面の種類※2	文字情報※3(レベル1)
	図形情報(レベル2)
	地図情報(レベル3)

※1 メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります。
※2 画面例については、P.188をご覧ください。
※3 発信していない地域もあります。

FM VICS情報を見る

ここでは、文字情報で渋滞情報を表示させる手順を例として説明しています。NHK-FM受信時の操作です。

- 民放のFM文字多重放送局を受信しているときは、タッチキーが「見えるラジオ」や「アラジン」と表示され、FM VICS以外の情報を楽しめます。
- FM VICS情報を受信する放送局の設定については、「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにして、約1時間経過した場合、または新たにFM VICS情報を受信できない場合、VICS情報は消去されます。
- VICS情報を受信すると、『VICS情報を受信しました』とアナウンスされるよう設定することもできます。2回目以降のアナウンスは、『ポーン』という音でお知らせします。アナウンスを設定したい場合は、「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。

- VICS情報を非表示にすることもできます。詳しくは「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。

ここまでの操作

 ▶ FM VICS

1 見たい情報をタッチする

文字情報 ：

渋滞情報を表示する※

図形情報 ：

渋滞情報を図形表示で確認する

所要時間 ：

各地への所要時間を見る

緊急情報 ：

FM VICS情報から受信した緊急情報を見る

※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

2 見たい項目の番号をタッチする

FM VICS情報が表示されます。

FM VICS情報の種類

本機で表示できるFM VICS情報画面は、以下のとおりです。

文字情報

渋滞情報などが文字で表示されます。

図形情報

渋滞情報が図形で表示されます。

所要時間

各地への所要時間が表示されます。

緊急情報

緊急情報が表示されます。

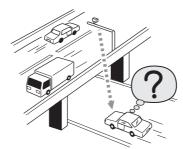
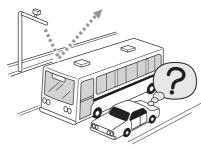
ビーコンVICS情報を利用する

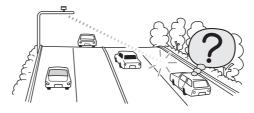
別売の三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機接続時に受信できる情報です。

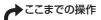
ビーコンVICS情報について

VICS光/電波ビーコン受信機から受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、「ビーコンVICS情報を見る」（P.190）からの手順で手動で表示させます。
ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。
ビーコン情報の受信については、以下の点にご注意ください。

■一般道路走行中には

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。

■高速道路走行中には

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。

ビーコンVICS情報を見る

ここでは、ビーコンVICS情報の文字情報を見る方法を例として説明しています。

1 見たい情報をタッチする

文字情報 ：
渋滞情報を表示する

図形情報 ：
渋滞情報を図形表示で確認する

所要時間 ：
各地の所要時間を見る

注意警戒 緊急情報 ：
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見る

2 見たい項目の番号をタッチする

ビーコンVICS情報が表示されます。

ビーコンVICS情報の種類

文字情報

渋滞情報などの文字情報が表示されます。

図形情報

渋滞情報が簡易な図形で表示されます。

所要時間

各地の所要時間が表示されます。

注意警戒情報

通行止めなどの注意警戒情報が表示されます。

緊急情報

警報発令などの緊急情報が表示されます。

ラジオの交通情報を受信する

ここまでの操作

[🔧i] ▶ 交通情報

交通情報を受信します。

AVコントロールバーから受信する周波数を選択するときは、 1620 または 1629 をタッチします。

- AV操作キーに、「TI」と表示されます。
- AVコントロールバーの 解除 をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

本機の情報を見る

ここまでの操作

[情報] ▶ SDD情報

SDD※情報（メモリー情報）画面が表示されます。

次頁 をタッチすると本機の製品情報が表示されます。

※Silicon Disk Driveの略
フラッシュメモリ（半導体メモリ）を利用してハードディスクと同じような機能をもつ装置の総称です。

SDD情報画面には、ナビゲーションアプリケーション（スクリーンデータ）のバージョン情報、オーディオアプリケーションのバージョン情報、TV・雑誌データの最終更新日、ミュージッククキャッチャーのメモリー使用率などが表示されます。

製品情報画面には、地図のバージョンアップに使用する確認コードなどが表示されます。

- 製品情報画面で コード をタッチすると、製品情報をバーコード表示します。
- 製品情報は、クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）で会員登録する際に必要となります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、 コード をタッチして表示される2次元バーコード（QRコード）を携帯電話に読み取ってご登録ください。コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、更新間隔設定／更新機能を設定できます。

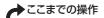
オイル関連	エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、ミッションオイル交換、ブレーキオイル交換
タイヤ関連	空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換
消耗品	ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー（補機用）、ブレーキパッド
点検・車検	車検※1、定期点検※1
免許証・保険	免許証更新、自動車保険更新
オリジナル1～3※1※2	

※1 日付とお知らせ設定のみを設定できます。
※2 任意の項目を設定できます。

• お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

メンテナンス時期を設定する方法について説明しています。
ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明しています。

ここまでの操作 ▶ メンテナンス

1 オイル関連 をタッチする

• オリジナル1 、 オリジナル2 、 オリジナル3 をタッチした場合は、手順3に進んでください。

2 エンジンオイル をタッチする

3 各項目を設定する

設定した年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにメッセージが表示されます。詳しくは、「**メンテナンス時期がお知らせされたら・・・**」（P.195）をご覧ください。

- 更新 をタッチすると、お知らせ日が設定した更新間隔で更新され、走行距離が0に戻ります。

設定できる項目は以下のとおりです。設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：

メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定できます。

更新間隔：

1ヶ月単位でお知らせする更新間隔を設定できます。

お知らせ日：

お知らせする日を設定できます。

お知らせ距離：

お知らせする走行距離を設定できます。計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

名称※：

メンテナンス項目の名前を設定できます。

※手順1で オリジナル1 、 オリジナル2 、 オリジナル3 を選択したときのみ表示されます。

■メンテナンス時期がお知らせされたら…

メンテナンス項目が設定され、メンテナンス時期に達すると、お知らせのメッセージが表示されます。

1 確認 をタッチする

- 後で見る をタッチすると、後からメンテナンス項目を確認できます。「お知らせ設定をする」（P.194）の手順1、2で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。 更新 をタッチすると、 ! は消えます。

2 項目をタッチする

次のメンテナンス時期を設定します。詳しくは、「**お知らせ設定をする**」（P.194）をご覧ください。

- お店へ行く をタッチすると、登録した販売店までのルートが設定されます。詳しくは、「販売店情報を登録する」（P.196）をご覧ください。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート案内できます。

ここまででの操作

 ▶ メンテナンス ▶ 販売店情報

1 販売店登録 をタッチする

三菱自動車販売会社のリストが表示されます。

2 販売店を選択してタッチする

3 決定 をタッチし、 はい をタッチする

4 販売店を設定する

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

- 販売店の名前や電話番号、担当者を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチして入力してください。

■販売店を登録したら

販売店情報を登録したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、 お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図と地点メニューが表示されます。
地点メニューの ここに行く をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。

ETC情報を利用する

本機能をご利用いただくには、三菱自動車純正ETC車載器（別売）、ETC接続ケーブル（別売）およびETCカードが必要です。
ただし、ETC車載器のモデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

- ETC利用料金や利用履歴については、次の内容においてもご確認をお願いいたします。
  ※ クレジット会社から発行される利用明細
  ※ ETCマイレージサービスのユーザー登録後に利用することのできる照会サービス

ETC情報とは

ETC情報とは、ETC車載器が受信する、ETCの料金情報や予告案内、警告情報です。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。
案内の画面表示時間を変えたり、音声案内をするかしないかの設定については、「ETCの設定をする」（P.281）をご覧ください。

■ETC情報の画面表示

ETC車載器からの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。

- 地図をスクロールするかいずれかのキーをタッチすると、ETC情報は消えます。

■予告案内／警告表示

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示されます。内容は以下のとおりです。

●予告案内

料金所に予告アンテナ／ ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ表示されます。

- **「ETCがご利用できません」**
- **「ETCがご利用可能です」**

●警告

- **「ETCカードを確認してください」**
  ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。
- **「ETCに異常が検出されました　販売店に連絡してください」**
  ETC車載器の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。
- **「ETCカードを挿入してください」**
  「ETCの設定をする」（P.281）のETCカードを入れ忘れ警告を「する」に設定した場合、本機起動時に表示されます。
- **「ETCユニットがセットアップされていません」**
  ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。

- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETCレーン図は、ETC車載器未接続時にも表示されます。

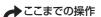
●料金案内

ETCゲート通過時のみ、音声で料金案内されます。料金所手前では料金案内されません。

ETC情報の履歴を見る

走行中に ETC をタッチしても、ETCメニューは表示されません。最後に課金されたETCの金額が再度音声で案内されます。

ここまでの操作

 ▶

1 履歴 または 最新利用履歴 をタッチする

ETC情報が表示されます。

- セットアップ情報 をタッチすると、ETC車載器のセットアップ情報が表示されます。

ETC履歴画面

最新利用履歴画面

- ETC情報の履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示され、算出できない場合があります。
- 走行中はETC料金の精算はできません。

ここまでの操作

 ▶ ETC ▶ 精算

1 精算したい履歴を選択して、決定 をタッチする

- 日+ をタッチするごとに1日分ずつの履歴が選択されます。
- 日− をタッチするごとに選択した履歴を1日分ずつ解除します。

2 ＋ 、− をタッチして、精算人数を入力する

1人あたりの支払い金額が表示されます。

3 ETC以外にかかった料金がある場合は、金額入力(¥0) をタッチする

4 金額を入力して、決定 をタッチする

1人あたりの金額が表示されます。

ラジオを聴く

本機では、ＦＭラジオ・ＡＭラジオを受信してお楽しみいただけます。
ラジオの基本的な操作方法については、P.89～ P.92をご覧ください。

よく聴く放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」（P.203）をご覧ください。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」､「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、AMラジオ、FMラジオともに、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで8つまでです。

- ホーム 、 お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストを登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

リスト

1 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

- 登録した放送局を聴くには、「選局する」（P.204）をご覧ください。

自動で登録する（オートストア）

ここまでの操作

リスト

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、 AS中止 をタッチします。
- 登録した放送局を聴くには、「選局する」（P.204）をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作

リスト

1 目的の放送局をタッチする

選択した放送局が受信されます。

- 操作パネルの ＜ または ＞ を押して、放送局を切り替えることもできます。
- AMラジオ、FMラジオを切り替えるには、「AM/FMを切り替える」(P.92) をご覧ください。

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。

- 走行中は本操作を行えません。
- 「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

ここまでの操作

リスト

1 名称を変えたい放送局をタッチする

2 設定 をタッチする

3 受信局編集 をタッチする

4 放送局名 をタッチする

5 放送局を入力し、決定 をタッチする

ラジオの設定を変更する

受信エリアを切り替える

• 走行中は本操作を行えません。

エリアを切り替える

受信エリアを正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 エリア選択 をタッチする

3 エリアをタッチする

放送局エリアが切り替わります。

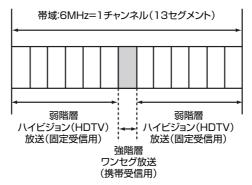
- ユーザータイトルを使用 をタッチすると、ご自分で登録した放送局名（P.204）を表示できます。
- 「お出かけ」モード選択時は、ユーザータイトルを使用 は表示されません。

オーディオ・ビジュアル編

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送（ワンセグ）のテレビをお楽しみいただけます。
テレビの基本的な操作方法については、P.93～ P.96をご覧ください。

ワンセグとは

地上デジタル放送はUHF帯域の電波を使っており、6MHzを1つのチャンネルとして割り当てられています。これを13のセグメントに分割して、画質により携帯受信向けの簡易動画放送（強階層）、固定受信向けのHDTV放送（弱階層）に分類しています。このうちのモバイル端末（携帯電話など）の強階層に割り当てられている「1つのセグメント」を使って放送を行うことから「ワンセグ放送」と呼ばれています。

フルセグの地上デジタル放送を観るには

本機では、ワンセグの地上デジタル放送のみをお楽しみいただけます。フルセグ（12セグ）の地上デジタル放送をお楽しみいただくには、別売の地上デジタル放送チューナーが必要です。本機でご利用いただける地上デジタル放送チューナーについては、販売店にお問い合わせください。

ワンセグマルチチャンネル放送について

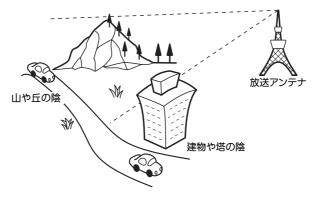
ワンセグに使用している1セグメントをさらに切り分けて、2つの別々の番組を視聴することができるサービスです。

	A 放送局	
	○○○ch	△△△ch
6 時	プロ野球中継	
7 時	プロ野球	ニュース
8 時	映画	

上記の例では、6時台は、○○○chと△△△chを使い、プロ野球を放送。7時台は○○○chではプロ野球、△△△chではニュースを放送。8時台は、○○○chと△△△chを使い映画を放送。上記の例では、○○○chをメインチャネル、△△△chをサブチャンネルと呼びます。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

- 車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

よく観る放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは**「放送局をリストに登録する」**（P.211）をご覧ください。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。

- ホーム 、 お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストを登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

リスト

1 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

- 登録した放送局を観るには、「選局する」（P.212）をご覧ください。

自動で登録する（オートストア）

ここまでの操作

リスト

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 登録した放送局を観るには、「選局する」（P.212）をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作

リスト

1 目的の放送局をタッチする

選択した放送局の番組が受信されます。

- 操作パネルの < または > を押して、放送局を切り替えることもできます。
- 映像画面をタッチして表示される放送局リストからも、同様の操作ができます。

メインチャンネル／サブチャンネルを選局する

メインチャンネルとサブチャンネルの切替

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合「マルチチャンネルインジケータ」が表示されます。

サブチャンネルが存在する場合に、[>]をタッチすると、サブチャンネルに切り替わります。
（サブチャンネル受信中に[<]をタッチすると、メインチャンネルに切り替わります）

- マルチチャンネルインジケータは、サブチャンネル受信中も表示されます。

地上デジタル放送の受信設定を変更する

複数音声放送、音声多重放送の音声の切り替えやエリアの設定など、地上デジタル放送（ワンセグ）に関する設定ができます。

• 走行中は本操作を行えません。

音声・エリアを切り替える

音声を切り替える

複数音声放送、音声多重放送で優先する音声を切り替えます。

ここまででの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 切り替えたい項目をタッチする

音声が切り替わります。

音声切替：

複数音声放送をご覧になる場合に優先する音声を、第１音声／第２音声から選択します。

MAIN/SUB切替：

音声多重放送をご覧になる場合に優先する音声を、MAIN（主音声）／ SUB（副音声）から選択します。

優先エリアを切り替える

県境などで自動で放送局を登録（オートストア）した場合、同じチャンネルに複数の放送局が重なってしまうことがあります。優先エリアを正しく設定することで、そのエリアのチャンネルが優先して登録されます。

• 優先エリアの初期設定値は東京です。東京以外の地域を優先エリアに設定した場合は、必ずその地域でオートストアを実行してください。
• 県境などでオートストアを実行した場合、エリア選択で優先された地域の放送局は、そのエリアの決められたプリセットチャンネルに登録されます。ただし、同時に検出された放送局が存在する場合は、未登録のプリセットチャンネルにそれぞれが割り振られます。
• 放送局が12局以上検出された場合は、13局目以降の放送局設定は破棄されます。

ここまでの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 [優先エリア] の 優先エリア選択 をタッチする

3 エリアをタッチする

優先エリアが切り替わります。

DVDを観る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。
DVDの基本的な操作方法については、P.97～ P.102をご覧ください。

本機で使えるDVD

再生できるディスク

- DVD VIDEO のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

DVDビデオの再生方法

タイトル·チャプター番号を入力して再生する

ここまでの操作

サーチ

1 タイトル番号またはチャプター番号を入力し、決定 をタッチする

チャプター ：

チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル ：

タイトル番号を入力するときにタッチします。

2 戻る をタッチする

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

メニューから再生する

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たい映像をすぐに再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

ここまでの操作

メニュー操作

- 「操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

1 トップメニュー または メニュー をタッチする

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

2 ▲、◀、▶、▼ をタッチして、選択したいメニューにカーソルを移動し、決定 をタッチする

選択したメニュー項目が再生されます。

- 10キー をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

DVD-VRの再生方法

DVD-VRのディスクでは、以下の方法で再生することができます。

- タイトルリストからタイトルを直接選択して再生する
- お手持ちのDVDレコーダーで作成したプレイリストから再生する

- プレイリスト…DVD映像の好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルのこと

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

リスト

1 観たいタイトルをタッチする

選択したタイトルが再生されます。

- 番号指定 をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

2 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する

1 プレイリスト をタッチする

プレイリストがONになります。

2 リスト をタッチする

プレイリストが表示されます。

3 観たい項目をタッチする

選択した項目が再生されます。

- 番号指定 をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

4 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

リピート・スキャン再生をする

1つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生したり、10秒間ずつ順に再生できます。

- DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生、スキャン再生を行えません。

リピート･スキャン再生をする

ここまでの操作

機能

1 目的の項目の CHAPTER または TITLE をタッチする

2 戻る をタッチする

選択した動作で再生が始まります。

- 通常再生に戻すには、手順1を操作して、CHAPTER または TITLE をタッチしてオフの状態にします。
- スキャン再生は、早送り／早戻ししたときに自動的に解除されます。

DVDを観る

画面サイズを切り替える

- 状態表示をオンに設定している場合は、画面サイズは常に「フルワイド」で表示されます。画面サイズを切り替える場合は、状態表示をオフに設定してください。（P.230）

ここまでの操作

画面切替

画面サイズを選択してタッチすると、選択したサイズで画面が表示され、通常の映像画面に戻ります。

設定項目	設定の内容
ノーマル	映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。
ワイド	映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。
フルワイド	映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。
シネマ	通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

字幕・音声・アングルを切り替える

DVDビデオの字幕言語・音声言語・アングルを切り替える

DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

ここまででの操作

モード

1 アングル 、字幕 、音声 のいずれかをタッチする

タッチするたびに字幕言語、音声言語、アングルの設定が切り替わります。

- 初期設定（P.224）で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させると、字幕を消せます。

2 戻る をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVD-VRの字幕表示・音声を切り替える

DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

ここまでの操作

モード

1 字幕 または 音声 をタッチする

タッチするたびに、字幕または音声の設定が切り替わります。

- 画面上部に、現在の設定が表示されます。
- タッチするごとに音声が以下のとおりに切り替わります。
- ストリーム1→ストリーム2→出力チャンネルLL→出力チャンネルRR→出力チャンネルLR→ストリーム1

2 戻る をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVDビデオの初期設定を変更する

- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生が始まりますが、設定内容によって再生が始まる位置が異なります。DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生が始まることもあります。
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生が始まります。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定

設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.225
メニュー言語	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.226
音声言語	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.226
字幕言語	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.226
パスワード	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.228
カントリーコード	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.229
パレンタルレベル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.229
状態表示	再生状態（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.230

モニターサイズを設定する

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ モニターサイズ設定

優先的に再生する画面サイズをタッチします。

設定項目	設定の内容
ワイド	映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。
パンスキャン	画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。
レターボックス	画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

言語を設定する

メニュー･音声･字幕言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。

- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 言語をタッチする

- 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。レベル1が最も制限が厳しいパレンタルレベルです。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4～8」の場合のみ、再生できます。
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1～3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

- 初期設定は「パレンタルレベルOFF」です。
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

- 初めてパレンタルレベルの設定をする場合は、「パスワードを設定･変更する」（P.228）をご覧ください。

パスワードを設定･変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

- パスワードの初期設定は「0000」です。

ここまでの操作

パスワード

1 パスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁）を入力して、 決定 をタッチする

入力されたパスワードは、「※※※※」と表示されます。

新規パスワード設定の場合は手順4に進みます。

2 パスワードの変更 をタッチする

3 新しいパスワードを入力して、 決定 をタッチする

4 もう一度同じパスワードを入力して、 決定 をタッチする

新しいパスワードが設定されます。

パスワードを消去する

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作

パスワード

1 パスワードを入力して、 決定 をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。

2 パスワードの消去 をタッチする

3 はい をタッチする

パスワードが消去されます。

パレンタルレベルを設定する

- パレンタルレベルを変えるときの警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ パレンタルレベル

1 パスワードを入力して、 決定 をタッチする

2 設定したいパレンタルレベルをタッチする

パレンタルレベルが設定されます。

- パレンタルレベルOFF をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです。カントリーコードについて詳しくは、「カントリーコード一覧」（P.377）をご覧ください。

- 初期状態では、「7480（JAPAN）」が設定されています。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ カントリーコード

1 DVDに記録してある国（または地域）のカントリーコードを入力して、 決定 をタッチする

カントリーコードが設定されます。

DVDを観る

常に再生状態を表示する

この設定は、DVD-VRでも行えます。

状態表示を設定する

DVDの再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

ここまでの操作

DVDビデオ ： 機能 ▶ 初期設定 ▶ 状態表示

DVD-VR ： 機能

1 常に状態を表示する （DVDビデオ）、または 状態表示 （DVD-VR）をタッチする

DVDビデオ

DVD-VR

再生状態の表示が設定されます。

- 再生状態の表示を解除する場合は、 常に状態を表示する または 状態表示 を再度タッチします。

再生状態表示画面

オーディオ・ビジュアル編

CD・MP3・WMAの音楽を聴く

本機では、CD、MP3／WMA形式の音楽データを保存したディスク、SDカード、USBメモリーをお楽しみいただけます。
CD、MP３、WMAの基本的な操作方法については、P.103～P.108をご覧ください。また、USBメモリーの操作方法については、P.251からの説明をご覧ください。

本機で使えるCD

再生できるディスク

- 音楽CD（COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT のついているディスク）
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
- コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※2 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

※3 再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

本機で使えるMP3・WMA

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、USBメモリーを再生することができます。

再生できるMP3・WMAファイル

- 記録メディア※1：
  CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、SDHCカード、USBメモリー
- 記録フォーマット：
  CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
  DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo
  SDカード／ USBメモリー：FAT16、FAT32
- パケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3／WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RWはマルチセッション未対応）

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
  MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  ※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps
  MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SDカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたはSDカード／ USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。

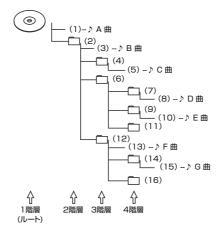
	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05	22.05/16	—
VBR※	48/44.1	48/44.1	44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

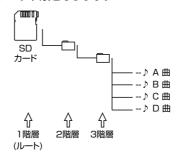
MP3・WMAの記録メディアについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：255（ルートを含む）
  ファイル：512
  トラック：1フォルダあたり255
- SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：500
  ファイル：4000
  トラック：1フォルダあたり99
- USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：500
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり255

ディスクのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1～4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。

- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

MP3／ WMAファイルを記録したSDカードのイメージは、下図のようになります。
SDカードでは3階層目にあるMP3／ WMA音楽ファイルのみが認識されます。曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の再生順序は、アルファベット順となります。

USBメモリーでは階層の指定はなく、MP3／ WMA音楽ファイルのみが認識されます。

- MP3／ WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- USBメモリーの場合､8階層（ルートディレクトリを含まない）までのMP3／ WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- SDカードの場合、3階層目にあるMP3／ WMAファイルの再生のみに対応しています。
- SDカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合､またはUSBメモリーで1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SDカード／ USBメモリーで1つのフォルダにMP3／ WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SDカード／ USBメモリーの各階層で認識可能なフォルダ数は最大500（2階層：アーティスト名フォルダ、3階層：アルバム名フォルダとも）になります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、SDカード、USBメモリーの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3／ WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）

いろいろな再生方法

- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition Service[SM]の情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition Service[SM]からタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- Gracenoteについて詳しくは、「Gracenote® Music Recognition Service[SM]について」(P.380)をご覧ください。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2～ 3秒の無音部が空いて再生されます。

フォルダ、トラックを選ぶ

タイトルリストから選択したり、番号を入力してフォルダやトラックを再生します。

- 本機では、CDを録音して再生できるミュージックキャッチャーという機能があります。初期状態では、CDを挿入すると、自動的に録音が始まるよう設定されています。

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

1 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

フォルダリスト

選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

聴きたいトラックを指定する場合、またはフォルダが設定されていない場合は、手順2に進んでください。

2 トラックをタッチする

トラックリスト

選択したトラックから再生がはじまります。

番号を入力して再生する

フォルダ番号やトラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。

ここまでの操作

リスト

1 フォルダリスト画面で 番号指定 をタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

フォルダ番号を指定しない場合は、手順3に進んでください。

2 フォルダ番号を入力して、決定 をタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

入力した番号を先頭にしたフォルダリストが表示されます。

3 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

トラックリストが表示され、選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

4 トラックリスト画面で 番号指定 をタッチする

5 トラック番号を入力して、決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

6 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作

機能

1 目的の項目をタッチする

CD表示画面

REPEAT：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

現在再生中のCDの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生します。

MP3／ WMA表示画面

REPEAT：

現在再生中のフォルダ全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

各フォルダの先頭トラックの出だし、または現在再生中のフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

全フォルダの全トラック、または現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

情報を表示する

トラック情報、CD-TEXT、TAG情報を表示する

再生中のトラック情報を表示する

再生中のトラックの情報を表示できます。

ここまでの操作
リスト

1 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

2 TAG情報 （MP3／WMA）または トラック情報 （CD）をタッチする

トラック情報画面が表示されます。

CD表示画面

MP3／WMA表示画面

CD-TEXT･TAG情報を優先して表示する

リスト画面以外のタイトル表示部にCD-TEXTやTAG情報を表示できます。
CDの場合：
CD-TEXTがある場合、優先的にCD-TEXTが表示されます。
MP3／WMA音楽データの場合：
TAG情報がある場合は、優先的にTAG情報が表示されます。
TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示されます。

ここまでの操作
機能

1 初期設定 をタッチする

2 CD-TEXTを優先して表示する （CD）または TAG情報を優先して表示する （MP3／WMA）をタッチする

CD-TEXTまたはTAG情報が優先して表示されます。

※画面はCDのものです。

- 優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

オーディオ・ビジュアル編

ミュージックキャッチャーを使う

本機では、CDを録音して再生できる、ミュージックキャッチャーをお楽しみいただけます。
ミュージックキャッチャーの基本的な操作方法については、P.109～ P.114をご覧ください。

ミュージックキャッチャーについて

ミュージックキャッチャーの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数	最大1000トラック（アルバムは最大200枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック） ※ただし、メモリー容量の範囲内のみ（*）
録音できる音源音楽	音楽CDのみ（**）
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10（高音質モード）に圧縮できます。

（*）メモリー容量については、**「本機の情報を見る」（P.193）**をご覧ください。

（**）録音できるCDについては、**「本機で使えるCD」（P.232）**をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを＜1世代まで＞と規制しております。

したがって、以下の操作を本機で行えません。

●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること

●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。

情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。

また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

- Gracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
  詳しくは、「アルバム情報の更新について」（P.313）をご覧ください。

録音設定を変更する

ミュージックキャッチャーにCDを録音するには、自動録音、手動録音の2つの方法があります。初期状態では、CDを挿入すると自動的に録音を開始する自動録音に設定されています。

• 録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音の設定を変更する

録音速度を変更する

1 録音設定 をタッチする

2 挿入と同時に録音:1倍速 または 挿入と同時に録音:2倍速 をタッチする

挿入と同時に録音:1倍速 ：

CD再生時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音:2倍速 ：

CD再生時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。

• 長時間録音 をタッチすると、長時間録音モード（LP）に設定されます。工場出荷時は、高音質モード（HQ）に設定されています。長時間録音モードは、高音質モードに比べ録音曲数は多くなりますが、音質は低くなります。
  高音質モードのビットレート：
  132kbps
  長時間録音モードのビットレート：
  66kbps
• 長時間録音モード（LP）で録音された曲を再生すると、アルバム／トラック番号の下に「LP」と表示されます。
• 録音可能なトラック数は、高音質モードで最大500トラック、長時間録音モードで最大1000トラックです。アルバム数、トラック数、録音可能容量（2G byte）のいずれかが超えた場合は録音できません。

手動録音の設定をする

CDを再生中に手動でミュージックキャッチャーに録音するよう設定できます。

手動録音に設定する

ここまでの操作

 ▶ 各種設定

1 録音設定 をタッチする

2 手動で録音 をタッチする

手動録音に設定されます。

手動で録音する

CDを再生中に、手動でミュージックキャッチャーに録音できます。

1 CD再生中に REC をタッチする

2 希望の録音モードをタッチする

録音が始まります。

全曲録音 ：

再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。確認画面で はい をタッチすると、アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生・録音が始まります。

現在の曲を録音 ：

再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、再生・録音が始まります。

曲を指定して録音 ：

録音したいトラックをリストから選択して録音できます。複数のトラックを選択できます。リストからトラックを選択して 決定 をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音が始まります。

1倍速で録音 ：

1倍速で録音します。

2倍速で録音 ：

2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

アルバム・トラックを選ぶ

リストから再生する

ミュージックキャッチャーのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

ここまでの操作

リスト

1 アルバム名をタッチする

アルバムリスト

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

2 トラックをタッチする

トラックリスト

選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

ここまでの操作

リスト

1 アーティスト検索 をタッチする

2 アーティスト名をタッチする

3 アルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。アルバムリストからアルバムを指定する方法とアーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 選択演奏 をタッチする

3 アルバム選択 または アーティスト選択 をタッチする

アルバム選択 ：

リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択 ：

リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

- すでに選択演奏が設定されているときは、選択演奏解除 が表示されます。選択演奏解除 をタッチすると、選択演奏を中止します。

4 アルバムまたはアーティスト名を選択して、決定 をタッチする

選択した項目が再生されます。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ここまでの操作

1 目的の項目をタッチする

選択した動作での再生が始まります。

REPEAT：

現在再生中のアルバム全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

各アルバムの先頭トラックの出だし、または現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

全アルバムの全トラック、または現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム・トラック情報を編集する

アルバムを編集する

アルバム情報を表示する

ミュージックキャッチャーで再生中のアルバム名とアーティスト名を表示できます。

ここまでの操作
リスト

1 アルバム情報 をタッチする

アルバム情報が表示されます。

アルバム情報を編集する

ここまでの操作
リスト

1 編集 をタッチする

2 情報編集 をタッチする

3 編集したいアルバムをタッチする

4 アルバム名 または アーティスト を タッチする

5 アルバム名またはアーティスト名を入力して、決定 をタッチする

アルバム情報が編集されます。

- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なアルバムを削除する

- 一度削除したアルバムは元に戻せません。

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 アルバム削除 をタッチする

3 削除したいアルバムを選択して、決定 をタッチする

- 複数のアルバムを選択できます。

4 はい をタッチする

選択したアルバムが削除されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 アルバム並替 をタッチする

3 順序を変えたいアルバムをタッチする

4 移動先の ◀移動 をタッチする

5 決定 をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。

アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

トラックを編集する

トラック情報を編集する

トラック名を編集できます。

ここまでの操作

リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

2 編集 をタッチする

3 情報編集 をタッチする

4 編集したいトラックをタッチする

5 トラック名 をタッチする

6 トラック名を入力して、 決定 をタッチする

トラック情報が編集されます。

- トラック名には全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なトラックを削除する

- 一度削除したトラックは元に戻せません。

ここまでの操作

リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

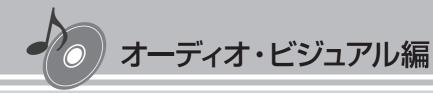
2 編集 をタッチする

3 トラック削除 をタッチする

4 削除したいトラックを選択して、決定 をタッチする

- 複数のトラックを選択できます。

5 はい をタッチする

選択したトラックが削除されます。

USBメモリーの オーディオを聴く

お手持ちのUSBメモリーと本機をつないで、MP3／WMAの音楽を聴くことができます。

USBメモリーの音楽を聴く

別売のUSB接続ケーブルにUSBメモリーを接続することにより、パソコンで編集したMP3／WMA形式の音楽データを本機で再生することができます。USBメモリーの接続方法について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

音楽データの保存方法について

USBメモリーには、MP3またはWMA形式の音楽ファイルを保存してください。
USBメモリー内の階層は、9階層（ルートを含む）までです。
アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

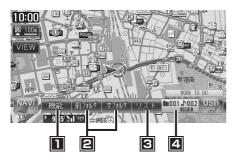
- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」（P.233）をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」（P.233）をご覧ください。

操作画面について

ここまでの操作

USBメモリーを接続する ▶ ▶

USB/iPod

- USB接続ケーブルにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

■この画面からできる操作

1 リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する ………… P.239
2 再生するフォルダを切り替える ………… P.108
3 フォルダリストを表示する ………… P.237
4 再生中のフォルダ、トラックの番号を表示する

USBメモリーのオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作

USBメモリーを接続する ▶ [♪]

1 [USB/iPod] をタッチする

USBメモリーのオーディオが再生されます。

早送り／早戻しする

1 [>]（早送り）または [<]（早戻し）を押し続ける

- [>]、[<] から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 [<] または [>] を押す

- [<] を押すとトラックの先頭に戻り、さらに [<] を押すごとに前のトラックに移動します。
- [>] を押すごとに次のトラックに移動します。

以降の操作はSDカードからの再生と同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

• フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する……P.237
• フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する……P.238
• リピート、スキャン、ランダム再生をする……P.239
• トラックの情報を表示する……P.240
• TAG情報を表示する……P.240

オーディオ・ビジュアル編

iPodを聴く／iPodビデオを観る

本機では、iPod（別売）を接続して、iPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。
iPodの基本的な操作方法については、P.115～P.118をご覧ください。

接続できるiPod

本機は第5世代iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchに対応しています。詳細は以下の表をご覧ください。iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。iPodを本機に接続するには、iPodに付属のiPodケーブルを、別売のUSB接続ケーブルに接続します。iPodビデオを観るには、別売のUSB接続ケーブル、iPod接続用ケーブル（ビデオ用）、ビデオ入出力コードが必要です。別売品について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1）	ビデオ再生可
iPod touch（第1世代※2，※3）	ビデオ再生不可
iPod touch（第2世代）	ビデオ再生可

※1　ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。
※2　ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。
※3　「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後はプレイリストとして再生できます。

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。

  リセット方法の例
  - iPodの場合：
    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  - iPod touchの場合：
    「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。
- 車のエンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗する恐れがあります。

トラックを選ぶ

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

リスト

1 トラックをタッチする

選択したトラックが再生されます。

トラック番号を入力して再生する

トラック番号を指定して、iPodのトラックを再生できます。

ここまでの操作

リスト

1 番号指定 をタッチする

2 トラック番号を入力して、決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

条件を指定して再生する

さまざまな条件からiPodのトラックを探して再生できます。

ここまでの操作
ミュージック

1 お好みの項目をタッチする

- 選択できる項目は以下のとおりです。
  プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

2 さらにお好みの項目をタッチする

※画面は アルバム をタッチした場合のものです。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

■コントロールバーをカスタマイズする

AVコントロールバーの中央にあるタッチキー（初期状態ではプレイリスト）に、他の機能を割り付けられます。

ここまでの操作
機能

1 機能の選択 をタッチする

- （ ）内には、現在の設定項目が表示されます。

2 割り付けたい機能をタッチする

選択した機能がコントロールバーに割り付けられます。

- 割り付けられる機能は以下のとおりです。
  プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

リピート・シャッフル再生をする

ここまでの操作

1 目的の項目をタッチする

iPodオーディオ画面

iPodビデオ画面

選択した動作での再生が始まります。

REPEAT：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SHUFFLE：

ALBUM をタッチすると、すべてのアルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK をタッチすると、再生中のアルバムのトラックをランダムに再生します。

- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

情報を表示する

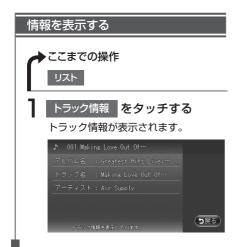
トラック情報を表示する

情報を表示する

ここまでの操作

リスト

1 トラック情報 をタッチする

トラック情報が表示されます。

iPodの接続方法を切り替える

接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USBのみ」または「USB＋VTR接続」から選択します。
工場出荷時は「USBのみ」に設定されています。

接続方法を切り替える

ここまでの操作

機能

1 接続方法 をタッチする

2 接続方法を選択してタッチする

USB接続 ：

iPodはミュージックモードのみの対応になります。iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB+VTR接続(アナログ音声) ：

VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用します。この設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。

- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。

設定編

各種設定

ナビゲーションに関するいろいろな操作、オーディオの音質、画面表示の色や画面などをお好みで設定することができます。

ナビゲーションの設定をする

ナビゲーションの設定は、設定メニューから行います。

ここまでの操作

タッチキー	設定内容	参照ページ
画面	ナビゲーション画面に関する設定を行う	P.265
アイコン	地図上に表示されるアイコンに関する設定を行う	P.268
軌跡設定	地図上に表示される軌跡（車の走行跡）に関する設定を行う	P.270
VIEW設定	ルート案内時の画面表示に関する設定を行う	P.271
誘導設定	ルート案内時の案内表示に関する設定を行う	P.273
音と音声	ルート案内時の音声案内に関する設定を行う	P.275
VICS VICS/ETC	VICS情報に関する設定と、別売のETC車載器接続時の設定を行う	P.277 P.281
その他	その他、便利な設定を行う	P.283
初期設定	iPodの接続方法についての設定を行う	P.288

ナビ画面の設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
昼画面／ 夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の市街地図／通常地図の表示色を選択する	市街地図：地図色1※～４ 通常地図：地図色1※～４	P.266
地図表示選択	地図画面に表示させる文字の大きさや文字の情報量を選択する	標準※／注記量少／ 大きな文字	P.266
一般道／ 有料道の経路色	一般道路および有料道路での誘導ルートの色を選択する	黄※（一般道）／緑／ オレンジ／紫／ 水色※（有料道）	—
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置（現在地）のマークを選択する	一番左のマーク※	—
マルチメーター表示	走行速度や平均速度などの表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.267
時刻／日付表示	時刻／日付の表示形式を選択する	12時間／ 24時間※／日付	—
3Dマップ星座表示	3D（立体）地図表示の空に星座や月を表示させる	する／しない※	P.267
スクロール位置情報表示	スクロール先の地図の住所や緯度・経度、マップコードの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—

地図の色を設定する

ここまでの操作

[設定アイコン] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 画面

1 ［昼画面の地図色］または［夜画面の地図色］の 市街 または 通常 をタッチする

2 変更したい地図色をタッチする

選択した地図色が左の画面に表示されます。

※画面例は昼画面の市街地図です。

地図に表示させる文字を設定する

1 表示選択 をタッチする

2 変更したい項目をタッチする

標準 ：

文字の大きさと情報量を標準に設定します。

注記量少 ：

文字の大きさを標準に、文字の情報量を少なく設定します。

大きな文字 ：

文字を大きく、文字の情報量を少なく設定します。

文字の表示方法が設定され、設定内容が左の地図に表示されます。

マルチメーター表示を設定する

地図画面に速度や走行距離などの情報を表示します。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 画面 ▶ 次頁

1 ［マルチメーター表示］の する をタッチする

地図画面にマルチメーターが表示されます。

- 以下の情報が表示されます。
  - Spd：走行速度
  - Avg：平均速度
  - Max：最高速度
  - Odo：走行距離
- 目的地を設定したり、ルートを取りやめると、表示された情報はリセットされます。

星座表示の設定をする

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 画面 ▶ 次頁

1 ［3Dマップ星座表示］の する をタッチする

3D地図の空に星座が表示されます。

- 昼画面でも星座が表示されます。

地図上のアイコンの設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
ランドマークの表示	地図上に表示されるランドマーク（施設を示すアイコン）の種類を選択する	初期設定では、以下を表示しないよう設定されています。 ・その他コンビニ ・ファーストフード店	P.269
検索アイコンの表示	周辺検索（P.146）で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
登録アイコン文字表示	登録アイコンに表示される名称の表示／非表示を切り替える	する※／しない	—

ランドマーク表示を設定する

1 表示選択 をタッチする

2 表示させたいジャンルをタッチする

選択したランドマークのアイコンが地図上に表示されます。

- 複数のジャンルを選択できます。
- 詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。

走行軌跡の設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
軌跡の表示	走行軌跡の表示／非表示を切り替える	する／しない※	—
軌跡の間隔	走行軌跡の間隔を設定する 走行軌跡のポイントは、1,000を超えると古いものから順に消去されます。軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。	50m ／ 100m ／ 200m※／ 500m	—
軌跡マーク	走行軌跡のマークを選択する	青※／赤／緑／黄／足跡	—
軌跡の消去	走行軌跡の記録を消去する 一度消した走行軌跡は再度表示できません。	—	—

走行中の地図の設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
ハイウェイモード自動切替	ハイウェイモードの自動表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.80
シティモード自動切替	シティモードの自動表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.79
左地図設定	1画面の地図、または2画面の左地図の表示方法を選択する	H-UP（進行方向を上向きに表示）／N-UP（北を上向きに表示）※	P.49
右地図設定	2画面の右地図の表示方法を選択する	H-UP（進行方向を上向きに表示）※／N-UP（北を上向きに表示）	P.49
一方通行表示	一方通行の表示をするかどうかを選択する	する※／しない	P.82
左地図角度調整	3D地図表示時に、1画面の地図、または2画面の左地図の角度を調整する	—	P.272
右地図角度調整	3D地図表示時に、2画面の右地図の角度を調整する	—	P.272

3D地図の角度を調整する

1 ［左地図角度調整］または［右地図角度調整］の 角度調整 をタッチする

- 2画面表示の右地図の角度を調整するには、右地図をタッチして 角度調整 をタッチします。

2 高 または 低 をタッチして角度を調整する

高 をタッチして視点を高くした場合

低 をタッチして視点を低くした場合

ルート案内画面の設定をする

ここまでの操作

[メニュー] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 誘導設定

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
誘導画面の種類	ルート案内中の交差点および都市高速道路入口での表示案内画面を選択する	拡大※／オートスケール／地図	P.72
オートリルート	ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する	する※／しない	—
方面看板表示	方面看板案内の表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.71
レーン表示	レーンガイドの表示／非表示を切り替える	する※／しない	P.71
AV画面での割込み(*)	オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える	する※／しない	—
到着予想渋滞考慮	到着予想時間の計算時、渋滞の統計データ(**)を考慮して計算するかしないかを選択する 「する」を設定すると次のようになります。 ・「到着予想速度設定」は考慮されません。 ・別売のVICS光/電波ビーコン受信機を接続している場合、ビーコン情報も考慮された到着予想時間が計算されます。	する※／しない	—
到着予想速度設定	到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する 「到着予想渋滞考慮」が「しない」に設定されている場合に有効となります。	高速道： 60～100km/h (80※) 有料道： 40～80km/h（60※） 一般道： 20～60km/h（30※）	P.274

(*)「する」を設定すると、オーディオ画面がOFFの状態でも、交差点案内は表示されます。

(**) 渋滞の統計データとは、過去の1年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

各種設定

到着予想速度を設定する

- 到着予想渋滞考慮を「する」に設定している場合、到着予想速度設定を変更することはできません。到着予想速度設定をする場合は、到着予想渋滞考慮を「しない」に設定してください。

1 速度設定 をタッチする

2 各設定の ▲ または ▼ をタッチして、速度を設定する

到着予想速度が設定されます。

- 高速：高速道路走行時の速度を60～100km/hに設定できます。
- 有料：有料道路走行時の速度を40～80km/hに設定できます。
- 一般：一般道路走行時の速度を20～60km/hに設定できます。

音声案内の設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声案内	音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択する 「しない」を選択した場合でも、目的地到着案内、渋滞・規制の交通案内は行います。	通常※／しない	—
音量設定	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する	レベル1～15 （レベル8※）	P.276
音声案内アイコン選択	登録リストの登録地に近づいたときの音声案内を設定する	鳴らす：音声案内をします。 オフ※：音声案内をしません。 選択：音声案内をするアイコンを指定します。	—
音声を鳴らす距離	音声案内を行うアイコンと自車位置の距離を設定する	200m※／400m／800m	—
案内時のアッテネート	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	する※／しない	—
操作音出力	ボタンやタッチキーを操作したときにビープ音を鳴らす	する※／しない	—
バラエティボイス	音声案内の声を選択する	通常音声※／英語	—

音量を調整する

• 走行速度が80km/hを超えると、高速走行時の音量設定で音声案内がされます。

ここまでの操作

1 音量設定 をタッチする

2 各設定の ▲ または ▼ をタッチして、音量を調整する

「この音量で設定します」と音声案内され、ナビゲーションの音量が設定されます。

VICS情報の設定をする

ここまでの操作

- VICS設定（ビーコン）画面は、別売のVICS光/電波ビーコン受信機接続時に表示されます。
- 別売のETC車載器を接続している場合は、VICS/ETC と表示されます。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
周波数設定	VICS情報やFM多重放送の受信放送局を設定する	自動追尾※／OFF	P.279
文字情報表示	受信したVICS文字情報の表示／非表示を切り替える	する／しない※	P.52
VICS情報更新の通知	VICS情報を更新したときに、音声でお知らせするかしないかを選択する	する／しない※	—
VICSアイコン情報表示	地図上にVICSアイコンの情報を表示するかしないかを選択する	する※／しない	P.52
VICS表示項目選択	表示するVICS情報の項目を選択する	一般道交通情報の表示※／高速道交通情報の表示※／渋滞なしの表示／駐車場情報の表示※／規制区間の表示	P.279
VICS割込み時間(*)	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	OFF ／ 5秒／ 10秒※／ 20秒／ 30秒	P.280
渋滞考慮計算(*)	VICS光・電波ビーコンからVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したルートを計算する	する／しない※	—

各種設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
渋滞考慮オートリルート（*）	VICS光・電波ビーコンからのVICS情報をもとに、渋滞箇所を考慮したオートリルートを行う	する※／しない	—

（*）別売のVICS光/電波ビーコン受信機接続時のみ設定できます。

FM周波数を設定する

ここまでの操作
[アイコン] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 周波数設定 をタッチする

2 放送局をタッチする

⏮ ⏭ ：
周波数が切り替わります。タッチし続けると、受信できる放送局を自動的に検出します。

自動追尾 ：
NHK-FMを受信中に、放送エリアから外れてしまった場合でも、そのエリアのNHK-FMを自動的に受信します。NHK-FM以外の放送局を受信すると、自動追尾 はOFFになります。

• FM VICS情報を放送している放送局には が表示されます。

VICS情報の表示項目を設定する

ここまでの操作
[アイコン] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS

1 表示項目選択 をタッチする

2 表示させたい項目にタッチする

表示させるVICS項目が設定されます。設定した内容は、ビーコンVICSにも適用されます。

VICS割り込み時間を設定する(ビーコン)

ここまでの操作

[ﾄi] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS ▶ 次頁

1 割込み時間設定 をタッチする

2 表示させたい時間をタッチする

ビーコンVICS情報の割り込み時間が設定されます。

ETCの設定をする

別売の三菱自動車純正 ETC車載器接続時の設定です。

- 別売のVICS光/電波ビーコン受信機が接続されている場合は、さらに 次頁 をタッチします。
- ETC設定画面は、 ▶ ETC ▶ ETC設定 をタッチしても表示されます。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声ガイド	ETC車載器からの音声ガイドを出力させるかどうかを選択する	する※／しない	—
カード入れ忘れ警告	ETC車載器にETCカードを入れ忘れたときに警告させるかどうかを選択する	する※／しない	—
本体ブザー音	ETC車載器本体のブザー音を鳴らすかどうかを選択する	鳴らす※／オフ	—
アイコン表示	地図上にETCアイコンの情報を表示させるかどうかを選択する	する※／しない	—
ETC割込み時間	ETC料金を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	5秒 ／ 10秒※ ／ 15秒 ／ 20秒 ／ 30秒	P.282

各種設定

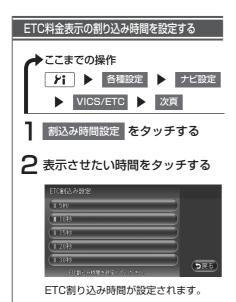
ETC料金表示の割り込み時間を設定する

ここまででの操作

[ﾂｰﾙ] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ VICS/ETC ▶ 次頁

1 割込み時間設定 をタッチする

2 表示させたい時間をタッチする

ETC割り込み時間が設定されます。

その他の設定をする

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
自宅編集	登録されている自宅の位置を編集する 編集方法は、目的地を探す場合と同様です。(P.139)	—	—
カスタムボタンの割付	よく使う機能を、8個までカスタムボタンに割り付ける 割り付けた機能は、ナビゲーションコントロールバーの カスタム から簡単に呼び出せます。	初期設定では以下の項目が割り付けられています。 ・音量設定 ・音声案内 ・VICS表示項目選択 ・文字情報表示 ・誘導画面の種類 ・検索アイコン表示	P.285

各種設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
登録地点編集	登録地点の編集、削除、グループ編集、お気に入り地点編集をする 地点編集 をタッチした後に、下記項目をタッチして編集してください。 ・データ編集 ・グループ編集 ・お気に入り地点編集 ・地点削除	— — — — —	— P.160 P.61 P.63 P.161
50音並び	文字入力画面での文字の並び方を左右どちらかに切り替える	左並び／右並び※	—
計算時に地点登録	目的地を設定すると同時に、目的地を地点登録するかどうかを選択する	する※／しない	—
自車位置の調整	自車位置を修正する	—	P.285
センサーの学習リセット	距離係数と3Dセンサーの学習記録を初期化（リセット）する	—	P.286
プログラムの更新	将来的に、SDカードによりプログラムのバージョンアップが必要なときに使用する	—	—
地図データ更新	本機の地図データがバージョンアップされた場合に、地図データを読み込んで最新の状態にする	—	P.286
カーソル表示	画面上で選択している項目をハイライト表示する	する／しない※	—
コントロールバー自動消し	ナビゲーションコントロールバー、AVコントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを選択する	する／しない※	—
盗難防止設定	エンジンをかけた後またはパワーユニットを起動させた後に暗証番号入力画面を表示させ、暗証番号を入力しないと本機を操作できないようにする	する／しない※／変更	P.287
盗難防止イルミ点滅	エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしたときに操作パネルのランプを点滅させて、盗難を抑制する	する／しない※	—
出荷状態に戻す	本機のデータや設定を初期状態に戻す	—	P.300

カスタムボタンの設定をする

1 ボタン割付 をタッチする

2 割り付けたいキーをタッチする

- すでに機能が割り付けられているキーを選択すると、機能が上書きされます。

3 割り付けたい機能をタッチする

選択した機能が割り付けられます。

- 設定系 または 情報系 をタッチすると、該当する機能を絞り込むことができます。

自車位置を調整する

1 自車位置設定 をタッチする

2 正しい自車位置に移動する

移動のしかたは、目的地を探す場合と同様です。詳しくは、「目的地の設定」（P.139）をご覧ください。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

4 ↶ または ↷ をタッチして車の向きを調整し、決定 をタッチする

自車位置が調整され、現在地画面に戻ります。

各種設定

センサーの学習記録を初期化する

タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります。
学習方法については、「自車位置がずれていたら」（P.346）、「3Dセンサーによる上下道路判定について」（P.346）をご覧ください。

1 リセット をタッチする

2 はい をタッチする

センサーの学習記録が初期化されます。

地図データを更新する

新しい地図データを読み込み、本機の地図データを最新の状態にします。

- 地図データが保存されたSDカードを本機にセットしてください。
- SDカードをセットする方法については、「メディアの出し入れ」（P.86）をご覧ください。

1 地図データの更新 をタッチする

2 認証コードを入力し、 決定 をタッチする

ナビアプリの更新が始まり、地図データが更新されます。

- 更新が終了するまで、電源を切らないでください。また、SDカードを取り出さないでください。

3 確認 をタッチする

本機が再起動します。

盗難防止用に暗証番号を設定する

- 本機を譲渡・転売されるときは、必ず暗証番号の設定を解除してからにしてください。
- 暗証番号は、GPSアンテナ接続時のみ設定できます。

ここまでの操作

1 ［盗難防止設定］の する をタッチする

2 注意事項を読み、確認 をタッチする

暗証番号入力画面が表示されます。

3 暗証番号を4桁入力し、決定 をタッチする

電話番号入力画面が表示されます。

4 電話番号を入力し、決定 をタッチする

メッセージが表示され、暗証番号と電話番号が保存されます。

お願い

- **暗証番号を3回間違えると一定時間入力できなくなります。設定した暗証番号は忘れないように、メモを取るなどして大切に保管しておいてください。**

- 暗証番号を変更する場合は、［盗難防止設定］の 変更 をタッチして暗証番号を入力してから、新しい暗証番号と電話番号を入力してください。
- 盗難防止設定を解除する場合は、［盗難防止設定］の しない をタッチして暗証番号を入力してください。

■暗証番号を忘れてしまった場合は…

暗証番号を忘れてしまった場合は、次のことを行ってください。

1 SDカードを入れ、コード発行 をタッチする

2 SDカードを取り出し、「暗証番号照会申込書」を添付してクラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送で送る

「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。
「暗証番号照会申込書」には、必ず暗証番号設定時に入力した電話番号をご記入ください。未記入、あるいは間違っている場合は、暗証番号のご通知はできません。

本人確認のため、「暗証番号照会申込書」には以下の事項を必ず記入してください。詳しくは、「暗証番号照会申込書」（P.383）をご覧ください。

- **暗証番号設定時に入力した電話番号**
- **自宅登録している場所（自宅住所や駐車場住所など）**
- **解除コードの送付先（お客様の氏名、住所、電話番号）**

初期設定をする

ナビゲーションを使用するために必要な設定をします。

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
VTR接続設定	VTRケーブルの接続方法を選択する	VTR機器接続※／iPod Video接続	P.308

OPTIONボタンの操作方法

[O]（OPTIONボタン）によく使う機能を割り付けられます。[O]を押すと、設定の変更や切り替えを即座に行うことができます。

OPTIONボタンに機能を割り付ける

1 **[O]を押し続ける**

はじめて操作するときは、[O]を短く押してもOPTIONボタン割付画面を表示できます。

2 **割り付けたい機能をタッチする**

選択した機能が[O]に割り付けられます。

OPTIONボタンを操作する

OPTIONボタンを操作して、割り付けた機能の設定や切り替えを行います。

1 **[O]を押す**

割り付けた機能の表示が切り替わります。

OPTIONボタンの機能は以下のとおりです。

目的地自宅設定：

自宅を目的地として設定します。(P.54)

地図表示タイプ切替：

地図の表示タイプを切り替えます。(P.77)

マルチメーター表示：

マルチメーター表示のON/OFFを切り替えます。(P.267)

軌跡表示：

軌跡の表示／非表示を切り替えます。(P.270)

オーディオの設定をする

音質を設定する

オーディオの音に関する設定を行います。

• オーディオOFF時には設定できません。オーディオをONにしてから操作を行ってください。

ここまでの操作

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音量バランス	前後左右の音量バランスを調整する	—	P.291
グラフィックEQ	あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する 音質効果メモリーを調整することもできます。	BASS.B ／ HIGH.B ／ ACOUSTIC ／ IMPACT ／ SMOOTH ／ FLAT※	P.291
	＜ユーザーカスタマイズ＞ 音質効果メモリーを作成して保存する	—	P.292
LOUDNESS	高音と低音を強調する	OFF※ ／ ON	—
車速連動音量	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する	OFF※ ／ LO ／ MID ／ HI	P.292

音量バランスを設定する

ここまでの操作

[ツール] ▶ 各種設定 ▶ オーディオ設定

1 画面中央の調整エリア内をタッチして、お好みのバランス／フェダーを調整する

音量のバランスが調整されます。

- ↑ 、← 、→ 、↓ をタッチしても、音量バランスを調整できます。
- 「L」または「R」と数値で示される「BALANCE」は、左右のバランスの設定です。「F」または「R」で示される「FADER」は前後のフェダーの設定です。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

ここまでの操作

[ツール] ▶ 各種設定 ▶ オーディオ設定

1 [グラフィックEQ]の 設定 をタッチする

2 お好みの音質をタッチする

BASS.B ：
重低音の増強

HIGH.B ：
中高域の増強

ACOUSTIC ：
中域（人の声）の増強

IMPACT ：
低域と高域の増強

SMOOTH ：
しっとりと落ち着いた感じ

FLAT ：
原音、EQをOFF

各種設定

お好みの音質効果を設定する

ここまでの操作

[ﾒi] ▶ 各種設定 ▶
オーディオ設定 ▶ 設定

1 USER 1、USER 2、USER 3 のいずれかをタッチする

2 調整する をタッチする

3 各キーをタッチして、音質効果メモリーの設定を調整する

- ▲ または ▼ をタッチして、低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整します。
- FLAT をタッチすると、それぞれの帯域の設定が「0」に戻ります。

4 戻る をタッチする

- 次回からは手順1で同じ設定を呼び出せます。

速度にあわせて音量を調整する

ここまでの操作

[ﾒi] ▶ 各種設定 ▶
オーディオ設定

1 ［車速連動音量］の ＋ または － をタッチして、音量を調整する

車速連動音量が設定されます。

- LO → MID → HI の順で、速度が上がったときの音量の上がる幅が大きくなります。OFFに設定すると、速度が上がっても音量は変化しません。

画面の設定をする

昼画面と夜画面を切り替える

スモールランプを点灯させせると、自動的に夜画面に切り替わります。
昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。

ここまでの操作

1 昼画面 をタッチする

タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

- 昼画面／夜画面の設定については、「ナビ画面の設定をする」(P.265)をご覧ください。
- 各種設定画面で昼画面と夜画面を切り替えることもできます。

ナビゲーション画面の明るさを調整する

- テレビ／DVD／VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時は、映像の画質を調整する画面が表示されます。(P.294)

ここまでの操作

 ▶ ▶ モニター設定

1 明 または 暗 をタッチして明るさを調整する

映像の画質を調整する

テレビやDVDの画質を調整できます。

- この操作は、テレビ／ DVD ／ VTR視聴時、またはiPodビデオ再生時のみ行えます。
- 走行中は本操作を行えません。

ここまでの操作

 ▶ 各種設定 ▶ モニター設定

1 調整したい項目の調整キーをタッチして、画質を調整する

ブライト：

＋ 、 − で明るさを調整します。

色濃度：

濃 、 薄 で色の濃さを調整します。

色合い：

緑 、 赤 で色味を調整します。

明るさ：

明 、 暗 でディスプレイの明るさを調整します。昼画面／夜画面ごとに調整できます。

スクリーンの設定をする

スクリーンの設定をする

ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザインに設定できます。弊社ホームページからスクリーンデータをダウンロードすれば、新しくスクリーンを追加することもできます。詳しくは、「スクリーンデータの取り込み／削除」(P.318) をご覧ください。

• 走行中は本操作を行えません。

ここまででの操作

▶ 各種設定 ▶ スクリーン選択

1 お好みのスクリーンとメニュータイプ（レイアウト）をタッチして、決定 をタッチする

• レイアウトのみを変更する場合は 決定 は表示されません。レイアウトキーをタッチするだけでレイアウトが設定されます。

2 はい をタッチする

再起動してスクリーンが設定されます。

• レイアウトが適用されるのは、目的地メニューのみです。

オーバル：3個優先

オーバル：8個均等

目的地メニュー画面をカスタマイズする

目的地メニュー画面に表示させるキーの順序を替えられます。
選択した項目を、目的地メニューの「3個優先」(P.295) の大きなキーとして割り当てます。

ここまでの操作

1 入替 をタッチする

- 目的地メニュー画面を「8個均等」にしているときは、入替 は表示されません。

2 大きなキーで表示させたい項目を3つタッチする

- 3項目を選択しないと、決定 キーは表示されません。
- 初期に戻す をタッチすると工場出荷時の表示に戻り、電話 、住所 、名称 が大きなキーで表示されます。

3 決定 をタッチする

選択した項目が、目的地メニュー画面の大きなキーに表示されます。

オープニング画面を設定する

オープニング画面を設定する

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定できます。あらかじめSDカードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおく必要があります。詳しくは、「オープニング画面の取り込み／削除」（P.314）をご覧ください。

ここまででの操作

1 設定したいオープニング画面を選択して、決定 をタッチする

- 初期画像に戻す をタッチすると、初期状態のオープニング画面に戻ります。

2 はい をタッチする

オープニング画面が設定されます。

お車を譲渡・廃棄するときは

お車をお譲りになるとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

データを消去（初期化）する

ナビゲーション内のデータ消去について

お車をお譲りになるとき、または廃棄される場合には以下の内容を消去することをおすすめいたします。詳しくは、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

●お客様のプライバシー保護のために・・・
メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

●著作権保護のために・・・
メモリー内に保存された画像データ、音楽データ（録音データ含む）などを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。
著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま、お車を譲渡（有償および無償）いたしますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

1 項目選択 をタッチする

2 全データの消去 をタッチする

確認画面が表示されます。

- TV・雑誌データは、更新データのみ消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- 盗難防止機能が「する」に設定されている場合は、全データの消去 または 各種設定の初期化 をタッチすると暗証番号入力画面が表示されます。この場合は、設定した暗証番号を入力し、盗難防止機能を解除してから実行してください。

3 はい をタッチする

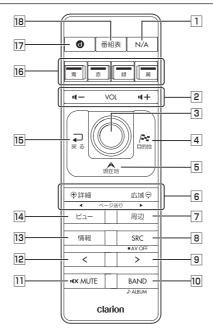
再度確認画面が表示されます。

4 はい をタッチする

本機に保存された全データが消去されます。

別売品を使う

リモコンを使う

各部の名称とはたらき

1 N/A ボタン
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

2 VOL ＋ ボタン／ VOL − ボタン
音量を調節します。

3 ジョイスティック 実行 ボタン
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。

4 目的地 ボタン
行き先を設定するための目的地メニューが表示されます

5 現在地 ボタン
現在地の地図画面を表示します。

6 詳細 ボタン／ 広域 ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。（フリースケール）
リスト画面では、リストを1ページずつ送ります。

7 周辺 ボタン
現在地周辺の施設を探します。

8 SRC ボタン
オーディオモードのソースを切り替えます。押し続けるとオーディオの電源をOFFにします。

⑨ ＞ボタン
テレビ／ラジオ時：
　プリセットチャンネルアップ
　長押し時：
　チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックアップ、トラックのサーチアップ

⑩ BANDボタン
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。テレビ／ラジオ／ iPod以外では、フォルダ／グループなどのUPボタンとして機能します。

⑪ MUTEボタン
消音（MUTE）します。消音を解除する場合は、再度押します。

⑫ ＜ボタン
テレビ／ラジオ時：
　プリセットチャンネルダウン
　長押し時：
　チャンネルのシークダウン
その他のオーディオソース選択時※1：
　トラックダウン、トラックのサーチダウン

⑬ 情報ボタン
VICSなど、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

⑭ ビューボタン
地図の表示方法を変えます。

⑮ 戻るボタン
前の画面に戻ります。

⑯ カラーボタン※2
地上デジタルTV放送のカラーキーを操作するときに押します。

⑰ dボタン※2
地上デジタルTV放送のデータ放送を受信させるときに押します。

⑱ 番組表ボタン※2
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。押し続けるとEPGを更新します。

※1 DVDでは、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください。

※2 地上デジタルTV放送（12セグ）用のボタンです。別売の地上デジタルTVチューナー接続時のみ使用できます。

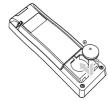
リモコンを操作する

電池を交換する

■電池に関するご注意

- ●指定された電池以外は使用しない
  電池の破裂や液漏れにより、火災やケガ、周囲を汚染する原因となることがあります。
- ●リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる
  指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。
- ●加熱・分解したり、火・水の中に入れない
  電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- ●金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない
  電池の破裂や液漏れにより、火災やケガの原因となることがあります。
- ●使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する

1 電池カバーを開ける

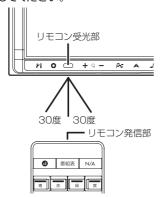
2 リチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める

リモコン操作時の注意

リモコンをお使いになるときは、以下にご注意ください。

●本機のリモコン受信部に直射日光があたっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

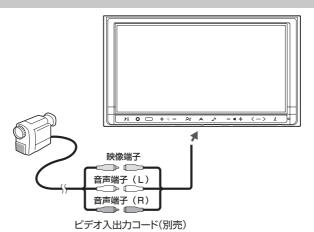
●リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。

●リモコンの発信部は、上下左右30度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

●リモコンを1ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

接続したビデオを観る

VTR機器を接続して使う

警告

- 運転者がテレビやビデオを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- 本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を観ることができます。走行中は、音声だけ聴くことができます。

ビデオ入出力コード(別売)

VTR機器を接続する

1 別売のビデオ入出力コードで、本機とお手持ちのVTR機器を接続する

オーディオ・ビジュアル映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。

- 接続したVTR機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

2 を押し、VTR をタッチする

- iPodの接続方法を「USB+VTR接続（アナログ音声）」（P.262）に設定していると、VTR は表示されません。

3 VTR機器を操作する

VTR映像が再生されます。

VTR画面のサイズを切り替える

再生中のVTR画面の表示サイズを切り替えます。

- 画面サイズを切り替えると、オリジナルの映像と見えかたが異なる場合があります。

ここまでの操作

 ▶ ▶

1 画面の表示サイズをタッチする

ノーマル	映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。
ワイド	映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。
フルワイド	映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。
シネマ	通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

2 戻る をタッチする

選択したサイズで画面が表示されます。

VTR機器接続の設定を切り替える

接続方法を切り替える

ここまででの操作

[🔧i] ▶ 各種設定 ▶ ナビ設定 ▶ 初期設定

1 iPod/VTR接続設定 をタッチする

2 VTRの接続方法を選択してタッチする

VTR機器接続 ：
iPodでオーディオファイルのみお聴きになる場合、VTR機器を接続するときは VTR機器接続 を選択してください。

iPod Video接続 ：
iPodでVideoファイルをご覧になる場合は、 iPod Video接続 を選択します。この設定を行うとソース切り替え画面の VTR は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。

設定を変更し、iPodをご利用になる場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。
工場出荷時は、 VTR機器接続 に設定されています。（この設定は、iPod機能内の接続方法設定と連動しています。）

リヤビューカメラを使う

車の後方をモニターで見ることができます。別売のリヤビューカメラが必要です。
車種によってはリヤビューカメラが接続できない場合があります。詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

警告

- **モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。**

注意

- **リヤビューカメラが映し出す範囲には限界があります。**
- **リヤビューカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

●リヤビューカメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リヤビューカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリヤビューカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リヤビューカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リヤビューカメラの操作

リヤビューカメラの映像を表示する

1 エンジンをかける、またはパワーユニットを起動する

2 セレクターレバーを R（リバース）にする

リヤビューカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リヤビューカメラの映像が優先して表示されます。

- カメラ表示中に操作できるのは、操作パネルの [Yi]、[◀+]、[−◀]、[♪]、[⁄]、別売のリモコンの上記同機能ボタンです。

画質を調整する

1 リヤビューカメラ映像表示中に [Yi] を押す

2 各キーをタッチして、画質を調整する

ブライト：

＋、− で明るさを調整します。

明るさ：

明、暗 で明るさを調整します。

利用可能なSDカード

本機には、SDカードは付属していません。別途ご購入いただく必要があります。ご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
本機でお使いいただけるSDカードは以下のとおりです。
本機ではSDカードと互換のない記録メディアには対応していません。

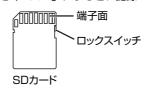
- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- miniSDカード※
- microSDカード※

※専用のアダプターが必要です。

- miniSDアダプター、microSDアダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SDカードに関するご注意

SDカードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

●SDカードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
●SDカードの端子部に、手や金属で触れないでください。
●SDカードの最適化は行わないでください。
●書き込み中や読み込み中にSDカードを抜いたり、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
●SDカード内のデータは圧縮しないでください。
●操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SDカードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
●SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
●SDカードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
●SDカードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。

SDカードのデータを編集する

SDカードのデータは、データ編集メニューから編集できます。
操作はSDカードを本機に挿入した状態で行います。

お願い

- **操作中は電源を切らないでください。**
- **SDカードにアクセスしているときは、本機に関する一切の操作を行わないでください。**

ここまでの操作

設定項目	設定内容	参照ページ
アルバム情報の取り込み／書き出し※1	SDカードから本機にアルバム情報を取り込む ミュージックキャッチャーのアルバム情報をSDカードに書き出す	P.313
オープニング画面の取り込み／削除	SDカード内のオープニング画面用画像データを本機に取り込む 本機に取り込んだ画像を削除する	P.314
登録地点の取り込み／書き出し	SDカード内の登録地点を本機に取り込む 本機からSDカードに登録地点を書き出す SDカード内の登録地点を編集することもできます。	P.316
スクリーンデータの取り込み／削除	SDカードから本機にスクリーンデータを取り込む 本機に取り込んだスクリーンデータを削除する	P.318
走行軌跡の書き出し	本機からSDカードに走行軌跡の情報を書き出す	P.320
MYスポットの取り込み／書き出し	SDカード内のMYスポットを本機に取り込む 本機からSDカードにMYスポットを書き出す	P.322
TV・雑誌情報の取り込み	SDカード内のTV・雑誌情報の更新データを本機に取り込む	P.324

※1 オーディオをミュージックキャッチャーモードにしている時のみ有効です。

■ナビマスター Sについて

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、三菱自動車工業株式会社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要です。
「ナビマスター S」は、以下の三菱自動車工業株式会社ホームページからダウンロードできます。
http://www.mitsubishi-motors.co.jp/support/download/
※「ユーザーサポート」メニューの「ダウンロード」を選択すると、ダウンロードページが表示されます。
「ナビマスター S」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

アルバム情報の取り込み／書き出し

アルバム情報の更新について

SDカードとパソコンを使用してアルバム情報を更新できます。
録音の際に、本機に内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]から取得したアルバム情報をSDカードとパソコンを使用して、インターネットのGracenoteのデータベースから最新の情報に更新できます。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。ナビマスター Sについて詳しくは、「ナビマスター Sについて」(P.313) をご覧ください。

アルバム情報を取り込む

ここまでの操作
▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 ［アルバム情報］の 取り込み をタッチする

2 はい をタッチする
SDカード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

アルバム情報を書き出す

1 ［アルバム情報］の 書き出し をタッチする

2 書き出すアルバムを選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする
選択したアルバム情報がSDカードに書き出されます。

オープニング画面の取り込み／削除

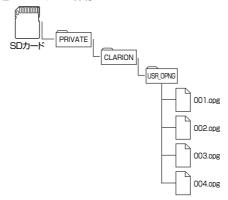
本機を起動したときに表示されるオープニング画面をSDカードから取り込めます。

■オープニング画面とは

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます。
取り込んだオープニング画面を本機で使うには、**「オープニング画面を設定する」**（P.297）をご覧ください。
オープニング画面として取り込んだ画像は他の用途には使えません。

オープニング画面として画像を扱うには

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」で作成した画像データを「OPG」形式で保存したもの。詳しくは**「ナビマスター Sについて」**（P.313）をご覧ください。
- 以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること。

オープニング画面を取り込む

オープニング画面は20個まで取り込めます。

ここまでの操作

▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 [オープニング画面]の 取り込み をタッチする

2 取り込むオープニング画面を選択して 決定 をタッチする

オープニング画面が取り込まれます。

オープニング画面を削除する

ここまでの操作

 ▶ 各種設定 ▶ データ編集

1 [オープニング画面]の 削除 をタッチする

2 削除するオープニング画面を選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

選択したオープニング画面が削除されます。

登録地点の取り込み／書き出し

登録地点を取り込む

SDカード内の登録地点を本機の登録リストに最大400件まで取り込めます。

1 ［登録地点］の 取り込み をタッチする

2 取り込むグループをタッチする

3 取り込む登録地点を選択して 決定 をタッチする

選択した地点が登録リストに取り込まれます。

登録地点を書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SDカードに書き出せます。SDカードに保存できる登録地点の数は、最大4,500件です。最大10グループ、かつ、1グループにつき450件まで登録できます。

- 登録地点の書き出しはバックアップとして保存できます。MYスポットとして書き出す場合は、「MYスポットを書き出す」(P.323)をご覧ください。

1 ［登録地点］の 書き出し をタッチする

2 書き出す登録地点を選択して 決定 をタッチする

3 グループをタッチする

4 はい をタッチする

選択した登録地点がSDカードに書き出されます。

登録地点の編集

SDカード内の登録地点のグループ名を変更したり、登録地点を削除します。

登録地点のグループ名を変更する

SDカード内の登録地点のグループ名を変更します。

ここまでの操作

1 メモリーカード内の登録地編集 をタッチする

2 名称変更 をタッチする

- グループをタッチすると、地点を確認したり、削除できます。

3 名称を変更するグループをタッチする

4 名称を入力して 決定 をタッチする

グループ名が変更されます。

登録地点を削除する

SDカード内の登録地点を削除します。

ここまでの操作

1 メモリーカード内の登録地編集 をタッチする

2 削除する登録地点が所属するグループをタッチする

3 地点削除 をタッチする

- 地点をタッチすると、地点を地図で確認できます。

4 削除する登録地点を選択して 決定 をタッチする

5 はい をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

別売品を使う

スクリーンデータの取り込み／削除

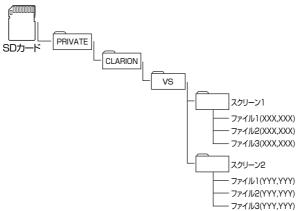
バラエティスクリーンをSDカードから取り込めます。取り込めるスクリーンは2つまでです。

■スクリーンとは

スクリーンとは、ナビゲーションやオーディオのメニュー画面を、お好みのデザイン（メニューのベース色、タッチキーの色合い、イラスト表示、形状など）に設定できるテンプレート（ひな形）です。また、目的地メニューの配置（レイアウト）もお好みのものを設定できます。初期状態では、オーバル、コンフォート、彩ーいろどりーの3つのスクリーンに、それぞれ2つのレイアウトを用意しています。
新しいスクリーンは弊社のホームページからダウンロードできます。
http://www.mitsubishi-motors.co.jp/support/download/

- 取り込んだスクリーンを本機で使用するには、「スクリーンの設定をする」（P.295）をご覧ください。

スクリーンとして画像を扱うには

スクリーンを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

スクリーンデータを取り込む

ここまでの操作

 ▶

データ編集

1 [スクリーンデータ] の 取り込み をタッチする

2 取り込むスクリーンを選択して、決定 をタッチする

本機にスクリーンデータが取り込まれます。

- スクリーン選択画面の4つ目と5つ目の項目に取り込まれます。すでに取り込んだスクリーンは上書きされません。

スクリーンデータを削除する

本機に取り込んだスクリーンデータを削除します。

ここまでの操作

▶

データ編集

1 [スクリーンデータ] の 削除 をタッチする

2 削除するスクリーンを選択して 決定 をタッチする

- あらかじめ本機に設定されている「オーバル」、「コンフォート」、「彩いろどりー」は削除できません。

3 はい をタッチする

選択したスクリーンデータが削除されます。

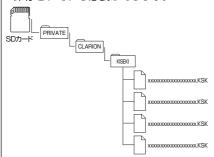
走行軌跡の書き出し

本機に保存された軌跡情報、または表示中の軌跡情報をSDカードに書き出すことができます。

- 走行軌跡について詳しくは、「走行軌跡の設定をする」(P.270)をご覧ください。
- メモリーカードに書き出した軌跡情報をパソコン上で、クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」に取り込んで利用することができます。
  「チズルとススム」のご利用には、会員登録(無料)が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。
  「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
  http://chizu-route-susumu.jp

走行軌跡を取り込むには

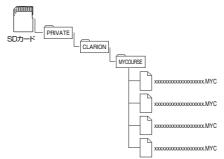
「チズルとススム」に走行軌跡を取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

※ファイル名は、半角全角ともに19文字以内(xxxxxxxxxxxxxxxxxxx.ksk)にしてください。

走行軌跡を書き出す

1. [走行軌跡の書き出し]の 書き出し をタッチする
2. 書き出す軌跡情報を入力し 決定 をタッチする
3. はい をタッチする
   走行軌跡の情報が書き出されます。

MYコースを利用する

MYコースを利用するには

MYコースを利用して、ルートを設定するには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

※ファイル名は、YYMMDD_全角14文字（半角28文字）.MYCにしてください。
YYMMDDには年月日が入ります。P.158の画面を参照してください。

MYスポットの取り込み／書き出し

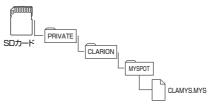
本機では400カ所のMYスポット（地点登録を含む）を保存できますが、SDカードには最大450件までMYスポットを書き出せます。
SDカードに保存したMYスポットを表示させたり、SDカードから本機にMYスポットを取り込むことができます。

- クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」から取得したMYスポットを本機に取り込みます。「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。「チズルとススム」について詳しくは、以下をご覧ください。
  http://chizu-route-susumu.jp

■MYスポットとは

地図上で登録した地点の情報を、本機からSDカードにMYスポットとして書き出せます。また、SDカードに書き出した登録地点情報を、MYスポットとして再度本機に取り込むこともできます。
スクロール画面で登録された地点を、MYスポットとして書き出すことができます。
MYスポット書き出しでは各種検索から登録した地点情報は表示されません。

MYスポットとしてデータを扱うには

「チズルとススム」からMYスポットを取り込むには、以下のフォルダ構造でファイルが保存されている必要があります。

- **1つのSDカードを複数のクラリオン製のナビゲーションで使用した場合、MYスポットデータの取り込み／書き出しができないことがあります。その場合は、SDカード内の「CLAMYS.MYS」を削除してから再度書き出して下さい。**

MYスポットを書き出す

本機からSDカードにMYスポットを書き出します。

ここまでの操作
▶ 各種設定 ▶
データ編集 ▶ 次頁

1 [MYスポット] の 書き出し をタッチする

2 書き出すMYスポットを選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

SDカードにMYスポットが書き出されます。

MYスポットを取り込む

SDカードから本機にMYスポットを取り込みます。

ここまでの操作
▶ 各種設定 ▶
データ編集 ▶ 次頁

1 [MYスポット] の 取り込み をタッチする

2 取り込むMYスポットを選択して 決定 をタッチする

3 はい をタッチする

本機にMYスポットが取り込まれます。

TV・雑誌情報の更新

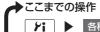
TV･雑誌情報の取り込み

SDカード内のTV・雑誌情報の更新データを、本機に取り込むことができます。

- メモリーカードとパソコンを使用してTV・雑誌情報を更新することができます。
- 本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。ナビマスターSについては、「ナビマスター Sについて」(P.313)をご覧ください。なお、TV・雑誌情報は過去3年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは削除され、過去3年以内の情報のみになります。削除したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

お願い

- データの取り込み中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV・雑誌の情報から探す」機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

ここまでの操作

1 [TV・雑誌情報] の TV･雑誌情報の更新 をタッチする

2 はい をタッチする

本機にデータが取り込まれます。

地上デジタルTVチューナーを使う

地上デジタルTVチューナーを接続して、12セグの地上デジタル放送を楽しめます。

警告

- **運転者がテレビを観るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像を観ることができます。走行中は、音声だけを聴くことができます。**

- 地上デジタルTVチューナーをお使いになるときは、TVチューナーに付属の取付説明書をご覧ください。
- 地上デジタルTVチューナーは、地上デジタル12セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます。（P.330）
- テレビ受信時に（おもに弱電界）画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また、画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

地上デジタル放送とは

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。地上デジタル放送は、関東・中京・関西の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、そのほかの地域でも2006年末までに放送が開始されました。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

12セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行うサービスを12セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
ワンセグは12セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は12セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。

マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1つの放送局が図のように周波数帯域を2～ 5に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6時台は○○○chと△△△chと×××chのすべてを使いプロ野球を放送。7時台は○○○chでプロ野球、△△△chでドラマ、×××chでニュースをそれぞれ放送。8時台は、○○○chと△△△chと×××chのすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○chを**メインチャンネル**、△△△chと×××chを**サブチャンネル**と呼びます。

B-CASカードとは

B-CASカードは、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、このB-CASカードがセットされていないと放送をご覧になれません。
地上デジタル放送を視聴するときは、必ずTVチューナーにB-CASカードを入れてください。

- B-CASカードはお買い求めのTVチューナーに付属のものを使用してください。

B-CASカードについて

●B-CASカードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードのIC（集積回路）部は触らないでください。IC部に触れるとB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温によりB-CASカードが故障する恐れがあります。
●B-CASカードを磁石の近くやテレビの上など、磁気がある場所に放置しないでください。磁気によりB-CASカードが故障する恐れがあります。

B-CASカードを台紙からはがす

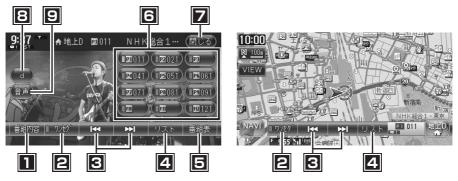
B-CASカードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CASカード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CASカードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CASカスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。
台紙に記述されている内容をご確認の上、ユーザー登録を行ってください。ユーザー登録は無料です。

- B-CASカードに関する内容の問い合わせや、B-CASカードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
  株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
  TEL：0570-000-250（AM10：00～ PM8：00）
- 盗難防止のため、車から離れるときはB-CASカードをTVチューナーから抜いて持ち歩くようにしてください。

操作画面について

テレビの画面は、オーディオ画面を例に説明しています。ナビゲーション画面での操作方法も同じですが、一部操作できないタッチキーもあります。オーディオ画面とナビゲーション画面のタッチキーの違いは以下を参照してください。

ここまでの操作

約５秒間操作しないと、テレビのタッチキーは消えます。再度表示させるには、画面内をタッチします。

■この画面からできる操作

1 受信している放送の番組内容を表示する※1 ……… P.335

2 ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える ……… P.330

3 受信可能なメイン／サブチャンネルを選局する※2 ……… P.332

4 プリセットチャンネルリストを表示する ……… P.329

5 番組表を表示する※1 ……… P.332

6 現在登録されているプリセットチャンネルキーを表示し、タッチすると選択したチャンネルを受信する ……… P.335

7 画面上の操作メニューの表示を消す

8 データ放送を表示する ……… P.336

9 受信中番組の音声を切り替える ……… P.337

※1 走行中は表示されません。

※2 操作パネルの ＜ ＞ を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは「放送局リストから選局する」（P.334）をご覧ください。

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、12セグのメインチャンネルのみです。ワンセグや12セグのサブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。

タッチして自動表示メッセージを消去します。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

■放送局リスト（プリセットチャンネル）を初めてお使いになる場合（12セグ放送／ワンセグ放送）

本機の製品出荷時には、関東地域の放送局が登録されています。
関東地域以外の放送局を放送局リストに登録する場合は、以下のページをご覧になり、お客様がご使用になる地域の放送局を登録してください。

- 「放送局をリストに手動で登録する」（P.334）
- 「放送局をリストに自動で登録する（オートストア）」（P.334）

ワンセグ放送と12セグ放送を切り替える

視聴する放送（12セグ放送／ワンセグ放送）に切り替えられます。

ワンセグ／12セグを切り替える

ここまでの操作

 ▶

TV

1 ワンセグ をタッチする

ワンセグ をタッチするたびに、ワンセグ放送と12セグ放送が切り替わります。

- 12セグ放送のサブチャンネル（P.326）を視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度12セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

■ワンセグ／ 12セグの自動切替機能について

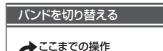
地上デジタルTVチューナーは、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
自動切替機能ON時に、12セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や12セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動切替機能が動作する場合があります。
- 自動切替機能をONに設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても12セグ放送の受信電波が強くなった場合は、12セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能OFF時に、12セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12セグ放送の映像が静止画で表示されます。（「ノイズコンシールメント機能」(P.338)）

バンドを切り替える

地上デジタルTVチューナーには、2つのバンド（ホーム／お出かけ）があります。
地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内のプリセットチャンネルをホーム、お出かけにそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。

バンドを切り替える

1 ホーム または お出かけ をタッチして、観たいバンドを切り替える

- 12セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

別売品を使う

選局する

メイン／サブチャンネルを選局する

3桁チャンネル番号のメインチャンネル、サブチャンネルを自動的に選局します。

1 AVコントロールバーの ⏮ または ⏭ をタッチする

現在受信中のチャンネルを含む次、または前のチャンネルのメイン／サブチャンネルを探して選局します。

- 画面上にSEEKインジケータが表示され、次の放送局が見つかるまで選局を継続します。

番組表(EPG)から選局する

観たい番組を番組表から探して選局します。

ここまでの操作

番組表

1 ▲、▼、▶、◀ で観たい番組を選択し 決定 をタッチする

選択した番組の放送を受信します。

青 赤 緑 黄 ：

画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

更新 ：

番組表の内容が更新されます。

チャンネル番号を入力して選局する

12セグ放送のメイン／サブチャンネル、およびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

ここまでの操作

リスト ▶ 番号入力

1 観たい3桁チャンネル番号を入力し、決定 をタッチする

12セグ放送の3桁チャンネル番号を入力した場合、放送局があるとオーディオ画面に切り替わり選局した放送を受信します。ワンセグ放送の3桁チャンネル番号を入力した場合は、放送局があると選局はされますが画面は切り替わりません。戻る をタッチしてください。放送局がない場合は、入力した番号がキャンセルされるので再入力します。

- 3桁に満たない番号を入力した場合は、エラーとなります。
- プリセットチャンネルリストで観たい番組のチャンネル番号をタッチし、直接選局することもできます。

手動で選局する

ここまでの操作

リスト

1 ⏮ または ⏭ をタッチして、希望のチャンネルに合わせる

- UHF放送の13ch ～ 62chまでを1チャンネルずつ選局できます。
- 受信可能な放送局をあらかじめ本機に登録し、そこから選局することもできます。詳しくは、「放送局リストからチャンネルを選ぶ」（P.335）をご覧ください。

放送局リストから選局する

放送局をリストに手動で登録する

受信可能な放送局をあらかじめプリセットチャンネルとして登録しておくと、簡単に選局できます。

ここまでの操作

リスト

1 ホーム または お出かけ をタッチして、登録したいバンドを選択する

2 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したいチャンネルを選択する

3 登録するプリセットチャンネルキーを、「ピーッ」と音がするまでタッチし続ける

選択したチャンネルがプリセットチャンネルに登録されます。

ここで登録した内容はオーディオ画面のプリセットチャンネルキーにも反映されます。プリセットチャンネルキーには、チャンネル番号が表示されます。

- プリセットチャンネルキーに表示される内容は、12セグの放送局名とチャンネルです。

放送局をリストに自動で登録する(オートストア)

受信可能な放送局を、自動的に12局までチャンネルリストに登録させることができます。(地域によっては12局に満たない場合があります)
お出かけ先で、チャンネルがわからないときに便利です。

- オートストアを実行すると、現在選択している受信バンド（ホーム、お出かけ）別にチャンネルリストが登録できます。

ここまでの操作

リスト

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする

オートストアが開始され、受信可能な放送局が自動的に登録されます。

- 受信状態によっては、約1分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートストア中は、すべてのチャンネル切り替え操作はできません。終了するまでお待ちください。
- リモコンからオートストアを行った場合は手順2の確認画面は表示されず、すぐにオートストアが開始されます。
- オートストアを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書きして登録されます。以前に手動で登録したプリセットチャンネルもクリアされます。
- オートストアを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートストア前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定（P.338）で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートストアしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートストアした結果が全部は登録できない場合があります。

放送局リストからチャンネルを選ぶ

ここまでの操作

リスト ▶ ホーム または

お出かけ で目的のバンドを選択

1 プリセットチャンネルキーをタッチする

選択した放送局が受信されます。

- ＜ 、 ＞ を押して、プリセットチャンネルを前後に切り替えることもできます。また、初期画面のプリセットチャンネルキーから直接選局することもできます。

番組の詳細を表示する

現在観ている番組の詳細内容を表示します。

1 番組内容 をタッチする

番組の詳細内容が表示されます。

別売品を使う

便利な放送を利用する

データ放送を利用する(12セグ放送のみ)

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

- データ放送を利用するには、あらかじめ現在地の郵便番号を設定しておく必要があります。(P.339)
- データ放送がない番組の場合、 d をタッチしても何も表示されません。

1 d をタッチする

データ放送画面が表示されます。

数字 :

数字入力メニューに切り替わります。

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- 画面右下に「⇒⇒⇒データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を観る(12セグ放送のみ)

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送が始まると、画面に「緊急放送」または「EWS」(Emergency Warning System)と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

オーディオ画面

ナビゲーション画面

放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

音声を切り替える

2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりします。

音声を切り替える

1 受信中にオーディオ画面で 音声 をタッチする

現在選択中の音声が表示されます。

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。 音声 をタッチするたびに12セグ放送は最大16音声まで、ワンセグ放送は2音声まで切り替えられます。また、音声多重放送時には各音声の主音声と副音声を切り替えられます。

12セグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→･･･第16音声（主）→第16音声（副）→第1音声（主）・・・

ワンセグ放送の場合

第1音声（主）→第1音声（副）→第2音声（主）→第2音声（副）→第1音声（主）

2ヶ国語放送受信中などで番組に主音声、副音声がある場合は、 音声 をタッチして切り替えることができます。
副音声の状態で他のチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。
副音声の状態で再度 音声 をタッチすると、主音声に切り替わります。

- 音声情報のない箇所は飛ばして切り替わるので、必ずしも上記の動作にはなりません。

別売品を使う

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で12セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ここまでの操作

リスト ▶ 設定

設定メニュー画面が表示されます。
以降の操作については、各説明のページをご覧ください。

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
字幕表示	映画やドラマなど字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定する 表示する場合は「第一」「第二」の各言語から選択します。	第一／ 第二／ 非表示※	—
ワンセグ 自動切替	12セグ受信中に受信感度が悪くなった場合、自動でワンセグモードへ切り替える機能を設定する	する※／ しない	—
遅延補正	12セグ／ワンセグ自動切替時の映像／音声ズレを軽減する ONの場合は 「LO/MID/HI」から選択します。	LO/MID/ HI/OFF※	—
ノイズコンシールメント	受信が困難になったときに、表示可能な最後の画面を静止画として表示する	する／ しない※	—
TVダイバーアンテナ	TVダイバーアンテナの入力本数モードを設定する	２系統／ ４系統※	—
地域設定	オートストア実行時に重複した放送局がある場合の表示優先順位を決定する またデータ放送受信時に、地域情報を取得するために郵便番号を設定する	東京※	P.339
放送メール	放送局から送られてくるメールの内容を表示する	—	P.339
B-CASカード	B-CASカードのID情報を表示する	—	P.340
個人情報初期化	個人情報を初期化する	—	P.340

優先エリアを切り替える

県境などでオートストアを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。

リスト ▶ 設定 ▶ 次頁

1 ［地域設定］の 地域設定 をタッチする

エリア選択画面が表示されます。

2 優先させたい放送局エリアをタッチして、 決定 をタッチする

現在選択中の放送局エリアのランプが点灯します。

3 放送局エリアの郵便番号を入力し、 決定 をタッチする

- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、ランダムな数字を入力してください（ゼロを7桁入力した場合は設定できません）。データ放送は受信できませんが、エリア設定を行うことができます。

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

ここまでの操作

リスト ▶ 設定 ▶ 次頁

1 ［放送メール］の 受信メール表示 をタッチする

放送メール一覧画面が表示されます。

すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

2 表示させたいメールをタッチする

▼

選択した放送メールの内容が表示されます。

別売品を使う

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲、▼で画面をスクロールして表示します。
- 受信した放送メールは最大8個まで保存されます。8個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に削除されます。一番古いメールが未読状態でも削除されます。
- すべての放送メールを削除することもできます。(P.340)

- 放送メールの受信が1通もない場合、はタッチできません。

B-CASカードのID情報を確認する

B-CASカードのID情報などを確認します。

ここまでの操作

リスト ▶ 設定 ▶ 次頁

1 [B-CASカード] の ID番号表示 をタッチする

B-CASカードIDの確認画面が表示されます。

2 ▲、▼でB-CASカードのID情報などを確認する

テスト：

B-CASカードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。

- B-CASカード未挿入時には、B-CASカードID番号表示画面の「グループID」以外に [−−−−] が表示されます。

個人情報を初期化する

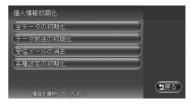
個人情報を初期化します。

ここまでの操作

リスト ▶ 設定 ▶ 次頁

1 [個人情報初期化] の 項目選択 をタッチする

初期化項目選択画面が表示されます。

2 初期化したい個人情報をタッチする

削除の確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

選択した各設定が初期化されます。

- 初期化メッセージ表示中には、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしないでください。初期化中にエンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにした場合、初期化できないことがあります。

リモコンを使う

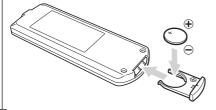
地上デジタルTVチューナーに付属のリモコンの使いかたについて説明します。

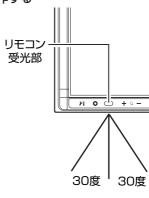
リモコンをセットする

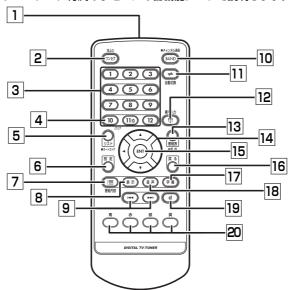
1 電池ホルダー部のフィルムを抜く

リモコンの電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す

2 新しいリチウム電池（CR2025）を電池カバーの⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める

リモコンの使いかた

1 本機のリモコン受光部に向けて操作する

リモコンボタンの名称とはたらき

地上デジタルTVチューナーに付属のリモコンの各機能について説明します。

1 リモコン送信部
リモコンの信号を送信する場所です。

2 ワンセグ ボタン
ワンセグモード、12セグモードを切り替えるときに押します。(P.330)

3 チャンネルボタン
チャンネル番号を入力するときに押します。(P.333) データ放送中は、数字入力できます。(P.336)

4 10 ボタン
入力したチャンネル番号をクリアするときに押します。

5 リスト ボタン
放送局リストを表示するときに押します。表示した放送局リストから選局できます。(P.334) また、押し続けると受信可能な放送局を本機に自動で登録させることもできます。(P.334)

6 設定 ボタン
地上デジタル放送のいろいろな設定を行うときに押します。(P.338)

7 番組内容 ボタン
受信している番組の詳細内容を表示させるときに押します。(P.335)

8 表示 ボタン
受信している番組の放送局名などのチャンネル情報を表示させるときに押します。

9 <<、>> ボタン
メイン／サブチャンネルの選局を行います。(P.332)

10 BAND ボタン
プリセットモード（ホーム/お出かけ）のバンドを切り替えるときに押します。
また、押し続けるとチャンネル選局を切り替えられます。（スタンドアロン接続時のみ）

⑪ 自動切換ボタン
12セグ⇔ワンセグ自動切替機能をON/OFFするときに押します。（P.330）

⑫ 番号入力ボタン
チャンネル番号を入力するときに押します。チャンネル番号を入力して選局できます。（P.333）

⑬ 番組表ボタン
EPG（電子番組ガイド）を表示するときに押します。表示した番組表から選局できます。（P.332）また、押し続けるとEPGを更新します。

⑭ ◄ ► ▼ ▲ボタン
画面に表示されている項目※を選択するときに押します。
（※番組表、番組内容、メール内容、B-CASカードID表示、データ放送、地域設定の画面のみ）

⑮ ENTボタン
画面に 決定 が表示されている項目を確定するときに押します。

⑯ 戻るボタン
データ放送の項目を選択して処理を進めたときに、1つ前の画面に戻ります。（データ放送時のみ）

⑰ 字幕ボタン
字幕表示を切り替えるときに押します。（P.338）

⑱ 音声ボタン
2ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えたり、主音声や副音声に切り替えたりするときに押します。（P.337）

⑲ dボタン
データ放送を受信させるときに押します。（P.336）

⑳ カラーボタン
カラーキーを操作するときに押します。（P.332）

困ったときに…

ナビゲーション･オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
従って、走行状態やGPS衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときなどは、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになりますので、次の方法により短時間で学習をさせることができます。
上空に障害物がない（GPSが受信できる）道で、約5分間、50km/h前後のスピードで定速走行を行う。

- 自車位置マークの精度や誤差について詳しくは、「自車位置の精度について」（P.347）をご覧ください。

3Dセンサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を3Dセンサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

●上下道路判定は、3Dセンサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都･名古屋･阪神･広島･福岡･北九州）、東京外環自動車道などです。

●高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）

自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態やGPS衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況）	━━：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。**「センサーの学習記録を初期化する」(P.286)、「自車位置がずれていたら」(P.346)** をご覧ください。
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	

原因（状況）	――――：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置からはずれていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。**「センサーの学習記録を初期化する」**（P.286）、**「自車位置がずれていたら」**（P.346）をご覧ください。
場所		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
場所		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	
場所		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路からはずれることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路からはずれていることがあります。	
地図データ		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	

原因（状況）		━━━：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
地図データ			詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は自車位置調整を、また必要に応じて方位修正を行ってください。**「センサーの学習記録を初期化する」**(P.286)、**「自車位置がずれていたら」**(P.346)をご覧ください。
車両			タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	しばらく走行しても、なお距離がずれる場合は、**「センサーの学習記録を初期化する」**(P.286)を行ってください。
走りかた	無停止連続走行		長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	1度停止して、自車位置調整の方位修正を行ってください。
			ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路からはずれることがあります。	10km程度走行しても正しい位置に戻らない場合は位置修正を、また必要に応じて自車位置調整の方位修正を行ってください。
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度		位置の設定の精度が悪いと、とくに道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	**お願い** **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位		自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

症　　状		原　　因	処　　置
表示関連	GPS受信の表示がでない。	障害物などにより、GPS衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能なGPS衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに表示される。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	「目的地」メニューの「周辺検索」メニューを開いて「検索アイコン消去」を選ぶと表示を消せます。
	地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する機器（以下）を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
	電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	バックライトが温まれば解消されます。
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい）。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	**「音量を調整する」**（P.276）をご覧になり、音量を調整してください。
	音声案内が出ない。	音声案内が、「しない」に設定されている。	**「音声案内の設定をする」**（P.275）をご覧になり、音声案内の設定を「する」にしてください。
自車位置精度関連	自車位置がずれる。（購入直後）	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性がある。	GPSの受信しやすい場所で、時速50km程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。（タイヤ交換後）	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	**「センサーの学習記録を初期化する」**（P.286）を行ってください。

	症　　状	原　　因	処　　置
VICS関連	ＦＭ多重周波数が自動追尾されない。	周波数を変えると、自動追尾の設定は強制的に「オフ」になる。	**「FM周波数を設定する」（P.279）**をご覧になり、自動追尾の設定を「オン」に設定してください。
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合は追尾しない場合がある。	**「FM周波数を設定する」（P.279）**をご覧になり、手動で放送局を選んでください。
	ビーコンの簡易図形が割込表示されない。	ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
	情報を見るメニューに ビーコン が表示されない。	VICS光・電波ビーコンが接続されていない。	別売のVICS光・電波ビーコンを接続してください。
ETC関連	情報を見るメニューに ETC が表示されない。	ETC車載器が接続されていない。	別売の三菱自動車純正 ETC車載器を接続してください。

オーディオ関連

	症　状	原　因	処　置
表示関連	オーディオ画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する機器（以下）を本機の近くで使用している。 • 高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など • 電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	**「手動で放送局を選ぶ」（P.92）**、**「自動で放送局を選ぶ」（P.92）**をご覧になり、正しい周波数に合わせてください。
	自動で選局できない。	強い電波の放送局がない。	**「手動で放送局を選ぶ」（P.92）**をご覧になり、手動で放送局を選んでください。
	放送局の名前が表示されない。	エリア選択で該当する地域を選択してください。その場合でもすべての放送局の名称が登録されているわけではありません。放送局名が出ないようであればユーザータイトルを入力してください。	**「放送局名を編集する」（P.204）**をご覧になり、ユーザータイトルを入力してください。
CD／DVD／MP3／WMA	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDを使用している。	CD-R/RWで記録されたCDやコピーガード付きのCDは使用できない場合があります。お使いのCDをもう一度ご確認ください。
		ファイナライズされていないディスクをセットしている。	ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CDをセットしている。	MIX MODE CDは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物等の混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	7秒間イジェクトボタンを押してください。それでも取り出せない場合は販売店にご相談ください。

	症　状	原　因	処　置
CD／DVD／MP3／WMA	DVD-VRで記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VRをセットしている。	DVD-VRで記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音飛びする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある。	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	**「メディアの出し入れ」（P.86）**をご覧になり、すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください。
	CD-TEXT・TAG情報が表示できない。	CD-TEXT・TAG情報優先表示になっていない。	**「CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する」（P.240）**をご覧になり、CD-TEXT優先表示に設定してください。
	CDタイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを再生した。	**「アルバム情報の更新について」（P.313）**をご覧になり、最新のアルバム情報を取り込んでください。
	MP3／ WMAの音が飛ぶ。	MP3／ WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3／ WMAの音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3／ WMAの音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をしてみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大255（ルートを含む）、ファイルは最大512（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 また、TAG情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を削除してファイルを作ってください。

	症　　状	原　　因	処　　置
●オーディオ関連			
CD／DVD／MP3／WMA	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1またはLV2に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extraに記録したMP3／ WMAが再生できない。	CD Extraで第1セッション以外にMP3／ WMAファイルが書き込まれている。	CD Extraの第1セッションにMP3／ WMAファイルが書き込まれたCDを再生してください。
	「ディスクを確認してください」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	32,700曲以上のトラックを保存したiPodでトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
ミュージックキャッチャー	タイトルが表示されない。	Gracenoteのデータベースよりも新しいCDを録音したためアルバム情報が古くなっている。	パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使った最新のアルバム情報をSDカードに保存し、**「アルバム情報の更新について」(P.313)** をご覧になり、アルバム情報を最新のものにしてください。 または、**「アルバム情報を編集する」(P.248)**、**「トラック情報を編集する」(P.250)** をご覧になり、ユーザータイトルを入力してください。
	表示されたタイトル(アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル)が間違っている。	GracenoteはTOC情報でタイトルを探すが、あいまいに探してタイトルを割り当てるために、タイトルが合わないことがある。	
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクのキズにより音飛びした可能性があります。 ディスクを確認して、再度録音してください。
	録音ができない。	SDDの容量が不足している。	**「不要なアルバムを削除する」(P.249)**、**「不要なトラックを削除する」(P.250)** をご覧になり、録音済みの曲を消してください。
		コピー禁止ディスクを使っている。	コピー可能ディスクを使って、録音してください。

	症　状	原　因	処　置
ミュージックキャッチャー	録音ができない。	全曲録音済みのディスクを再生している。	別のディスクをセットしてください。
		自動録音モードになっていない。	**「録音設定を変更する」（P.243）**をご覧になり、自動録音モードに設定してください。
		SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）で2世代目のコピーになっている。	コピー可能ディスクを再生してください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「編集」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムが選ばれていない。	**「条件から複数のアルバムを選んで再生する」（P.246）**をご覧ください。
SDカード／USBメモリー	SDカードの音がでない。	未対応のSDカードを使っている。	対応可能なSDカードを使ってください。
	SDカードが挿入できない。	SDカードを表裏逆に挿入している。	SDカードのラベル面を上にして挿入してください。
	USBメモリーから再生できない。	USB取り外し処理を実行した。	一度USBメモリーを取り外して、再生接続してください。
	音が飛ぶ。	MP3／ WMAファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音してみてください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	• SD ３階層目以外のフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大500（ルートを含む）、ファイルは最大4000（1フォルダには最大99ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 • USB ９階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大500（ルートを含む）、ファイルは最大8000（1フォルダには最大255ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。	PCを使用し、制限内に収まるよう再構成してください。

症　状		原　因	処　置
●オーディオ関連			
SDカード／USBメモリー	TAG（曲目）が表示されない。	TAG表示優先になっていない。	**「CD-TEXT・TAG情報を優先して表示する」（P.240）**をご覧になり、ID3タグ表示を優先にしてください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SDカード内のデータ保護のために操作パネルを開くとスロットの電源が切れる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	実際に入れているMP3／ WMAファイルの数が違う。	SDカードまたはUSBメモリーにMP3／ WMA以外のファイルがある。	MP3／ WMA以外のファイルを削除してください。
ワンセグ	放送局名が表示されない。	受信チャンネルのリストが取得できていない。	まず、**「優先エリアを切り替える」（P.214）**をご覧になり、放送局のエリアを設定します。次に**「自動で登録する（オートストア）」（P.211）**をご覧になり、オートストアを実行してください。
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境のよいところに移動してください。
	映りが悪い。	ガラスからアンテナ線がはがれている。	三菱自動車販売会社にご相談ください。

リヤビューカメラ

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	セレクターレバーがRの位置になっていない。	セレクターレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性による。	故障ではありません。

その他

症　　状	原　　因	処　　置
ディスプレイに「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	**「エラーメッセージ一覧」（P.362）**を参照して、内容を確認してください。

よくある質問について（Q&A）

ナビゲーション編

Q: 目的地までの経路計算結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路計算しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり計算条件を変えて計算を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、計算方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをお勧めします。

Q: 複数ルート表示で8ルート表示されません。

A: 必ずしも8ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、他のルートが計算できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート計算をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された計算条件のルートの方の距離が短い場合は、あらかじめ設定された計算条件のルートを優先することがあります。

Q: 条件が「距離優先」なのに、最短距離と思われるルートで案内されません。また、複数ルート表示で、標準2のルートよりも距離優先のルートの方が距離が長いようです。

A: あくまでも距離「優先」であり、距離のみでルートを引いているわけではなく、道路種別なども考慮してルートを引いているためです。また、標準2は「標準」「距離優先」とは別に提示可能なルートを表示しているため、標準2よりも距離優先の方がルートの距離が長くなる場合もあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。（対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金に従ってください。）

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、探せません。

A: 個人宅の電話番号は対象となりません。

Q: ナビ画面（地図画面）のVICS情報表示が実際と違うことがあります。

A: （1）情報は「5分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。

（2）FM多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。

（3）新設された道路、細街路など、VICS情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますすが？

A: 操作できないボタンは消える仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは消えたり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: **「到着予想渋滞考慮」（P.273）**を「する」に設定している場合には、渋滞の統計データを使います（渋滞の統計データとは、過去の１年分のVICS情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです）。

「しない」に設定している場合は、**「到着予想速度設定」（P.274）**を基準に算出します（こちらは、お好みの平均速度を設定することができます）。

Q: ルート誘導中の到着予想時刻は、時速何kmで計算しているのですか？

A: ルート誘導中の到着予想時刻は、「到着予想時間速度設定」から任意に設定が可能です。詳しくは、**「到着予想速度を設定する」（P.274）**をご覧ください。

Q: 一般道優先で計算したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。

Q: 高速道路上で案内終了する経路を案内されました。

A: 原則としては高速道路上で案内終了する経路は案内しませんが、一部の一般有料道路については案内しています。案内が不適切な場合は、目的地の座標を適切な位置に移動してください。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Ｙ字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

Q: ハイウェイモードやシティモードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、計算が終了するまで通常地図に戻ります。計算終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q: 「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。

また、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともございます。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ETCレーン図を表示できますか？
A: 可能です。表示方法について詳しくは、**「ハイウェイモードの表示について-ETCレーン図」（P.82）**をご覧ください。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されますが、仕様ですか？
A: 仕様です。マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地解除や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が「○○円（仮）」と表示されたがどういう意味ですか？
A: 新規に開通した高速道路路線やICの一部について、本機発売時点では正式な通行料金が未決定であったため、このような表示がされる場合があります。実際に適用・請求される通行料金と異なる場合がありますが、その場合は実際に適用・請求される料金をお支払いください。

オーディオ編

■地上デジタル放送

Q: 緊急警報放送は受信しますか？
A: 緊急警報放送は、12セグ放送の場合のみ受信します。

■DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画したDVD-R/RWは再生できますか？
A: 可能です。ただし、VRモードで録画されたCPRM対応のDVD-R/RWに限ります。

■SDカード／USBメモリー

Q: MP3、WMAの作成方法を教えてください。
A: Windows Media Player 11でMP3やWMAを作成する方法の資料をWindows XP版とWindows Vista版で作成しました。下記の場所から作成資料をダウンロードしてお試しください。
http://www.clarion.com/jp/ja/files/support/faq/WMP11_MP3_WMA.pdf

Q: SDカードに音楽を入れる時の注意点を教えてください。
A: 使用できるメモリーカードは、SDメモリーカードとSDHCメモリーカードとなり、対応可能な圧縮オーディオはMP3、WMAのみとなります。
詳しくは**P.236**をご覧ください。
※ iTunesで購入した音楽は再生できません。
※ SDオーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

Q: SDカードから音楽データをコピーしたいのですが。
A: 著作権保護のためできない仕様になっています。

■ミュージックキャッチャー

Q: 「ミュージックキャッチャー」って何ですか？
A: CDに入っている音楽を本機に録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。

Q: 録音できる曲数は？
A: 最大1000曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は200以内、アルバム中の曲数は99曲以内の制限があります。

Q:　気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A:　**「アルバム・トラックを選ぶ」（P.245）**をご覧になり、お好みのアルバムを選んで再生してください。

Q:　録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A:　CD データベースに該当するアルバムの情報がありません。パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使用して最新の情報に更新してください。または、編集メニューの「情報編集」で手動で入力できます。

Q:　実際の曲名と表示される曲名が違う。

A:　SDカードにトラック情報を書き出し、パソコンからGracenoteサーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SDカードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q:　録音中に メモリーカード または M.CATCHER を選択すると、録音を停止してよいか確認するコーションが出る。

A:　録音中に、SDカードまたはミュージックキャッチャーの再生は行えません。録音を停止するか、録音が終了するまでお待ちください。

Q:　ランダムおよびリピート再生は、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしたら解除されますか？

A:　エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしても保持されます。

■iPod

Q:　iPodのバッテリーは充電はできますか？

A:　iPodをUSB端子につなぐと、iPodを再生しながら充電が可能です。バッテリーがなくなることはありません。

その他編

■画面表示

Q:　画面を時計表示にできますか？

A:　画面全体を時計と日付の表示にすることが可能です。詳しくは**「画面の表示を消す」（P.40）**のアドバイスをご覧ください。

■リヤビューカメラ

Q:　リヤビューカメラの明るさを調整できますか？

A:　可能です。詳しくは**「画質を調整する」（P.310）**をご覧ください。

エラーメッセージ一覧

■画面にこんなメッセージが出たら

本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法に従って障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

- **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態では使用しないでください。**

- 以下の処置を行う場合は、車を安全な場所に止めてから行ってください。
- 以下の処置を行ってもまた同様のメッセージが表示されるときには、三菱自動車販売会社にご相談ください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／DVD／MP3／WMA	MECHANISM ERROR	メカニズムに障害が生じている。	三菱自動車販売会社にご相談ください。
	DISC ERROR	ディスクの向きが逆にセットされている。	ディスクを交換してください。または、もう一度ディスクを挿入し直してください。
		再生可能なファイルが存在しない。	
		ブランクCD-R、DVD-Rがセットされている。	
		MIX MODE CDがセットされている。	
		CD-DA以外のCD（オーバーバーンCDなど）がセットされている。	ディスクを取り出してください。
		ディスクが正しくセットされていない。	ディスクを正しく挿入してください。
	FOCUS ERROR ディスクを確認してください。	ディスクの傷などにより、フォーカスが合わない。	ディスクを交換してください。
	FORMAT ERROR このディスクは再生できません。	デッキ内のディスクに傷などがあり、再生できない。	ディスクを交換してください。
		ディスクのデータフォーマットに不正がある。	
		再生できないメディアがセットされている。	
	DSP ERROR	録音が継続できない。	再度録音の操作をしてください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
CD／DVD／MP3／WMA	WRONG REGION このディスクは再生できません。	挿入されたディスクのリージョンが設定と一致しない。	ディスクを交換してください。
	DISABLED FILE	拡張子が「.MP3／.WMA」で、中身が再生できない形式（DRM含む）でファイルが保存されている。	ディスクを交換してください。
	PARENTAL VIOLATION ディスクを抜いてパレンタルレベルを変更してください。	設定されているパレンタルレベルより制限が厳しいコンテンツである。	**「パレンタルレベルを設定する」（P.229）** をご覧になり、パレンタルレベルを変えてください。
SDカード	ACCESS ERROR	以下のいずれかの状態です。 ・SDカードと通信ができない ・SDカードが正しいフォーマットでない ・認識できるSDカードではない	SDカードを交換してください。
	NO FILE	SDカードにMP3／WMAファイルが入っていない。	SDカードにMP3／WMAファイルを入れてください。
	DSP ERROR	再生が継続できない。	他のモードに切り替え再度SDカードを選択してください。
ミュージックキャッチャー	SCMS ERROR このディスクは録音できません 録音をキャンセルします。	コピー不可ディスクを再生している。	コピー可能なディスクを再生してください。
	DSP ERROR	再生が継続できない。	他のモードに切り替え再度ミュージックキャッチャーを選択してください。

	エラー表示	原　　因	処　　置
USBメモリー／iPod	FORMAT ERROR	再生できないメディアを接続している。	再生可能なメディアを使用してください。
	USBを確認してください（E01）	USBハブを接続した。	USBハブは非対応です。使用しないで下さい。
	USBを確認してください（E02）	通信エラーが発生した。	USBメディアの接続を一旦解除してから、再度接続してください。
	USBを確認してください（E03）	iPod認証エラーが発生した。	iPodを接続し直すか、iPodの接続を解除してiPod本体をリセットしてください。 それでも改善されない場合は、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにし、再度ACCまたはONにしてください。
SDD系	ACCESS ERROR SDDに異常がみられます、販売店にご相談ください。	SDDとの通信ができない。	三菱自動車販売会社にご相談ください。
		SDDが壊れている。	

付録

収録データベースについて

■データ取得日について

本機SDD内の情報は、以下を使用しています。

- 道路情報　：2008年10月現在
- ハイウェイ情報　：2008年9月現在
- 交通規制情報　：2008年9月現在
- イラスト情報　：2008年10月現在
- スマートIC情報　：2008年9月現在
- 施設検索情報　：2008年11月現在（一部のジャンルは2007年10月現在のものです。）
- 住所検索情報　：2008年10月現在
- 市区町村合併情報　：2009年4月1日施行分
  （2008年10月時点で取得できた情報に限ります。）
- 郵便番号検索情報　：2008年4月現在
- TV・雑誌　：2009年2月現在（定期的に最新データを提供しています。(P.324)）

※本機SDD内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■地図データについて

● この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（© 2009 財団法人日本デジタル道路地図協会）を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認 90－063）
[2008年3月発行データ使用]

● 新刊地形図更新は2008年9月刊行分を反映しました。

● この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の2500分の1国土基本図を使用しました。（承認番号）小田原市指令第52号　平成10年4月2日承認

● この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1の都市計画基本図を使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認　平成12年度 知都発第170号）

● この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用しました。
（平成12年　養建第1902号）

● この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の2500分の1全図を使用し、調製しました。
（承認番号）平10．近公．第34号

● この地図は大木町の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。
（承認番号）15大木建第734号

● この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。
（承認番号）16堀第5417号

● この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500使用し、調製したものです。
（承認番号　東開第111号　平成18年2月28日承認）

● この地図は、伊香保町長の承認を得て、平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
（承認番号）伊建農発229号　平成17年7月14日承認

● この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものです。
（承認番号:18東デ共041号）

● この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものです。
（承認番号）18都市基交 第478号

● この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画（1/2,500）を使用し調製したものです。
（承認番号 平成17年津山市使用承認第5号）

● この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
（承認番号）指令宇都第13号　平成18年5月15日承認

● この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものです。
（承認番号）指令宇都第14号　平成18年5月31日承認

● この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものです。
（承認番号）周防建設第56号　平成18年5月12日承認

● この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものです。
（承認番号平成18年5月2日18建第107号）

● この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものです。
（承認番号 H18東温都第174号）

● この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
（承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認）

● この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
（承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認）

- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものです。
承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものです。
（長都政第477号 平成18年3月28日承認）
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
（使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号）
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものです。
（承認番号 18森政第5-5号）
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号
- この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものです。
（承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号）
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
（広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認）
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
（承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認）
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものです。
（承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認）
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図（1/5,000）を使用し調製したものです。
承認番号 18林第492号（平成18年10月6日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
（承認番号 森整第993号・平成19年2月14日）
- この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものです。
（承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
（承認番号林18-1 平成18年12月5日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
（承認番号林18-2 平成19年3月7日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
（承認番号 使18-1号 平成18年12月8日）
- この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものです。
（承認番号 使18-3号 平成19年3月8日）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
（承認番号 平18 林振第360号）
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものです。
（承認番号）平成18年5月26日知耕第590号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
（承認番号　平19総使、第24号－11号）
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
（測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認　平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものです。
（承認番号　平19総使、第247号－11号）
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものです。
（承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947）
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものです。
（承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認）
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものです。
（承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認）
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものです。
（承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものです。
（承認番号 平19 林振第404号）

■交通規制データについて

- 本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■検索データについて

- TV・雑誌情報は、株式会社レインボー・ジャパン提供のTeePeeデータを使用しました。
  「TeePeeデータ」の著作権は、株式会社レインボー・ジャパンに帰属します。
  同社の承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。
- 施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
  - NTTタウンページデータ
  - INCREMENT P株式会社提供のデータ
  - 日本観光協会提供のデータ
  - 株式会社昭文社提供のデータ
- NTTタウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
- 施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
- 自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
- 本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
- 本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
- 本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

■ジャンル検索リスト

大分類の項目と、そのジャンルに分類される中・小分類の例です。

大分類	内容・例
交通機関	交通に関する施設です。→駅・空港・フェリー乗り場
カー＆ドライブ	車に関する施設です。→ガソリンスタンド・駐車場・カーディーラー※・カー用品店など
遊ぶ・見る	レジャーに関する施設です。→レジャーランド・観光ポイントなど
食べる・飲む	食事に関する施設です。→おすすめのグルメ情報・ファミリーレストランなど
泊まる	旅行・宿泊に関する施設です。→ホテル・旅館・ペンションなど
お店	各種のお店です。→コンビニ・スーパー・ホームセンターなど
公共施設	公共の施設です。→役所・学校・図書館など
医療	各種病院や薬局です。→総合病院・内科・小児科など
金融機関	お金に関する施設です。→都市銀行・信用金庫など
その他	その他の施設です。→結婚式場・葬儀場など

※「カーディーラー」を選択すると、三菱自動車の販売店リストが表示されます。

市街地図収録エリア一覧

＜95%＞ ………… 全面積の95%以上が収録されている都市
＜80%＞ ………… 全面積の80%以上が収録されている都市
それ以外…………… 市街中心部または一部地域が収録されている都市

• 一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
	北海道・東北地域
北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、新ひだか町、音更町、幕別町、釧路町
青森県	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、藤崎町、田舎館村、野辺地町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、高畠町、川西町、庄内町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、金ケ崎町、大槌町、山田町
宮城県	**<95% >多賀城市、七ヶ浜町** **<80% >塩竈市、利府町** 仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、蔵王町、大河原町、柴田町、亘理町、山元町、松島町、大和町、富谷町、美里町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、鏡石町、会津美里町、矢吹町、石川町、三春町
	関東地域
東京都	**<95% >千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町

付録

収録都道府県	市街地図収録都市
千葉県	**<95%>千葉市、市川市、船橋市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、山武市、酒々井町、印旛村、本埜村、栄町、大網白里町、九十九里町、長生村、白子町** **<80%>木更津市、一宮町、長柄町** 銚子市、館山市、成田市、旭市、勝浦市、市原市、鴨川市、君津市、富津市、南房総市、匝瑳市、香取市、いすみ市、神崎町、多古町、東庄町、芝山町、横芝光町、睦沢町、長南町、御宿町、鋸南町
埼玉県	**<95%>さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ケ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、上里町、騎西町、北川辺町、大利根町、宮代町、白岡町、菖蒲町、栗橋町、鷲宮町、杉戸町、松伏町** 秩父市、飯能市、本庄市、越生町、小川町、ときがわ町、横瀬町、長瀞町、小鹿野町、美里町、神川町、寄居町
茨城県	**<95%>水戸市、土浦市、古河市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、つくばみらい市、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町** 日立市、石岡市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、常陸大宮市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、行方市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、大子町
栃木県	**<80%>野木町** 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、芳賀町、壬生町、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、那須町
群馬県	**<95%>伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、富士見村、吉岡町、吉井町、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、みなかみ町、板倉町
神奈川県	**<95%>横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町** **<80%>相模原市** 秦野市、松田町、山北町、清川村

収録都道府県	市街地図収録都市
	中部地域
静岡県	**<95% >熱海市、焼津市、湖西市、伊豆の国市、函南町、清水町、吉田町、新居町** **<80% >伊東市** 静岡市、浜松市、沼津市、三島市、富士宮市、島田市、富士市、磐田市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、伊豆市、御前崎市、菊川市、牧之原市、東伊豆町、長泉町、小山町、森町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、高森町、豊丘村、池田町、小布施町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、弥彦村、田上町
山梨県	**<95% >昭和町** **<80% >中央市** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、市川三郷町、増穂町、鰍沢町、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町
富山県	**<95% >射水市、舟橋村** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	**<95% >川北町、野々市町、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、宝達志水町、中能登町
岐阜県	**<95% >多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町** **<80% >岐阜市、可児市、養老町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、垂井町、関ケ原町、揖斐川町、池田町、富加町、川辺町、八百津町、御嵩町
愛知県	**<95% >名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、東郷町、長久手町、豊山町、春日町、大口町、扶桑町、七宝町、美和町、甚目寺町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、吉良町、幡豆町、幸田町、三好町、小坂井町** **<80% >一色町** 豊橋市、岡崎市、瀬戸市、豊田市、新城市、田原市
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町

収録都道府県	市街地図収録都市
	近畿地域
大阪府	**<95% >大阪市、堺市、豊中市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町** **<80% >池田市** 岸和田市、高槻市、貝塚市、茨木市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、箕面市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、河南町、千早赤阪村
京都府	**<95% >向日市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町** **<80% >長岡京市** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、京丹後市、南丹市、木津川市、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町
兵庫県	**<95% >神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、高砂市、川西市、稲美町、播磨町、太子町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、小野市、三田市、加西市、篠山市、丹波市、南あわじ市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、福崎町、上郡町
奈良県	**<95% >大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** **<80% >御所市、葛城市、高取町、大淀町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、明日香村、吉野町、下市町、黒滝村
滋賀県	**<95% >彦根市、近江八幡市、草津市、守山市** **<80% >野洲市** 大津市、長浜市、栗東市、甲賀市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、安土町、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、湖北町、高月町
三重県	**<95% >四日市市、木曽岬町、東員町、朝日町、川越町** **<80% >桑名市、鈴鹿市** 津市、伊勢市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、明和町、玉城町、紀宝町
和歌山県	**<80% >和歌山市** 海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、湯浅町、有田川町、美浜町、由良町、白浜町、上富田町、那智勝浦町

収録都道府県	市街地図収録都市
	中国・四国・九州・沖縄地域
岡山県	**<95% >早島町、里庄町** 岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、浅口市
鳥取県	**<95% >境港市、日吉津村** **<80% >米子市** 鳥取市、倉吉市、南部町、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、東出雲町
広島県	**<95% >府中町、海田町、熊野町、坂町** **<80% >広島市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、和木町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町
香川県	**<95% >宇多津町** **<80% >琴平町** 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、多度津町、まんのう町
徳島県	**<95% >松茂町、北島町** 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、美馬市、三好市、石井町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、松前町、砥部町
福岡県	**<95% >北九州市、福岡市、直方市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大木町、糸田町** **<80% >行橋市、大野城市、宗像市、太宰府市、須惠町、新宮町、大刀洗町** 大牟田市、久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、豊前市、筑紫野市、前原市、古賀市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、桂川町、筑前町、二丈町、志摩町、広川町、香春町、川崎町、大任町、福智町、苅田町、みやこ町、吉富町、築上町

市街地図収録エリア一覧

収録都道府県	市街地図収録都市
佐賀県	**<80%>上峰町、みやき町** 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、日出町
熊本県	**<95%>菊陽町、嘉島町** 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、宇城市、天草市、合志市、城南町、長洲町、植木町、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町
長崎県	長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、長与町、時津町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、清武町、三股町、高鍋町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、伊佐市、さつま町、加治木町
沖縄県	<95%>那覇市、宜野湾市、浦添市、豊見城市 <80%>南風原町 石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、うるま市、宮古島市、北谷町、北中城村、中城村、西原町

VICSシステムの問い合わせ先

VICSは、受信した内容をそのまま表示するレベル1（文字情報）、レベル2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル3を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては以下のVICSセンターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、三菱自動車販売会社にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 ／ 問い合わせ項目	三菱自動車販売会社	VICSセンター
VICSの概念、計画	－	○
レベル1（文字情報）の表示内容	－	○
レベル2（図形情報）の表示内容	－	○
レベル3（地図上に表示される情報）の表示内容	－	○
情報のサービスエリア	○	－
受信の可否	○	－
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	－

VICSの概念､計画､または表示された情報内容に関することは（財）VICSセンターにお問い合わせください。

■（財）VICSセンター

電話番号：0570-00-8831

※PHSからはご利用できません。

受付時間：9:30～ 17:45（土曜、日曜、祝祭日を除く）

FAX番号：(03）3592-5494（東京）

受付時間：24時間

●インターネット・ホームページ

http://www.vics.or.jp/

VICSリンクデータベースの著作権について

VICS情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

付録

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総　　　　　則

(約款の適用)
第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
（4）VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契　　　　　約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー１台毎に１のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第12条
1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料　　　　　金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保　　　　　守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第15条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑　　　　　則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第17条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775

国名	国コード	入力番号
MALTA	MT	7784
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

お手入れ

本機や、CD・DVDなどディスク類のお手入れについて説明します。

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

・ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。

・レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。

・DVD/CD専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。

・ディスクは次のような場所には保管しないでください。

　・直射日光のあたる場所

　・湿気やホコリの多い場所

　・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

・本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※ ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

・タッチパネルに保護シートを貼らないでください。誤動作する場合があります。

・液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布でふいてください。

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL

● DVD VIDEO はDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

●「SDHCメモリーカード」「SDメモリーカード」「miniSD™」「microSD™」はSDカードアソシエーションの登録商標です。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

MAPCODE

●GracenoteおよびCDDBは、グレースノート社の登録商標です。Gracenoteロゴ、ロゴ標記、および "Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。

gracenote

●VICSは、(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS

●「マップクリップ」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●「iMapFan」および「ケータイ地図MapFan」はインクリメントP株式会社の登録商標です。

●「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

●「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

●TV・雑誌情報は、(株)レインボー・ジャパンの所有するTeePeeデータを使用しています。

・「TeePee商標」は、株式会社レインボー・ジャパンの登録商標であり、TeePeeデータは(株)レインボー・パートナーズによりライセンス供与されています。

・「TeePeeデータ」の著作権は、株式会社レインボー・ジャパンに帰属します。同社の承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。

TeePee

●「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod および iTunesは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

Gracenote® Music Recognition Service℠について

・音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenoteにより提供されます。
Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
・詳細については、次のWebサイトをご覧ください：www.gracenote.com
・GracenoteからのCDおよび音楽関連データ：Copyright © 2000-2009　Gracenote.
・Gracenote Software：Copyright © 2000-2009 Gracenote.
・この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります：
#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用にOpen Globe, Inc.から提供されました。
・GracenoteおよびCDDBはGracenote社の登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

※Gracenoteはパブリックなデータベースですので、本機内蔵のデータベース、データの内容を100%保証するものではありません。

※本機のデータベースは、2009年2月時点のものです。

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

「チズルとススム」について

「チズルとススム」は、クラリオン株式会社がお届けする新しい地図情報サイトです。
お出かけ前にWeb上で充実したドライブプランを立てることができます。
「チズルとススム」のご利用には、会員登録（無料）が必要です。本機をより便利にお使いいただくために、会員登録をおすすめします。

便利機能で楽しもう

●ドライブルートの下調べに威力を発揮
過去の統計渋滞状況を考慮した、高精度なルートシミュレーションをWebで実現。おおよその所要時間や到着時刻、出発推奨時刻も自宅にいながら分かるので、ドライブ前のプランづくりにもぴったりです。

●楽しく探せる「スポット検索」
お目当てのスポットをジャンルごとに検索したり、各スポットに関する写真・動画といった詳細情報も閲覧が可能。また、目的地周辺の見どころもまとめて探せます。

●会員登録すれば、スポット情報を保存、投稿できる！
「チズルとススム」で検索したスポット情報は、サイト内の自分のページに保存が可能。さらに、訪れたスポットで撮影した写真を地図上に保存、公開（投稿）できるので、お気に入りのスポットをまるごと記録して楽しめます。

●自分が撮った写真を地図上に表示できる
デジカメやカメラ付き携帯電話で撮影した画像を地図上に登録し、表示できます。

●口コミ情報をアップして共有できる
地点情報・コメント・評価・静止画などの投稿を行ったり、それらの情報を仲間などと共有することができます。

- クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」(http://chizu-route-susumu.jp)で会員登録する際は、本機の製品情報が必要になります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、 コード をタッチして表示される2次元バーコード(QRコード)を携帯電話に読み取ってご用意ください。(P.164)コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

暗証番号照会申込書

盗難防止のために、本機に暗証番号を設定しておくことができます。
万が一設定した暗証番号をお忘れになった場合は、コード発行されたSDカード（P.287）と、下記の「暗証番号照会申込書」をクラリオン株式会社お客様相談室宛に郵送でお送りください。
「暗証番号照会申込書」は、クラリオン株式会社ホームページ（http://www.clarion.com）よりダウンロードしてプリントアウトするか、またはお客様相談室に請求してください。

暗証番号照会申込書

盗難防止機能の暗証番号を忘れてしまった場合は、本申込書に必要事項を記入の上、クラリオンお客様相談室宛に暗証番号照会の申し込みをしてください。

申込年月日　平成　　年　　月　　日

クラリオン株式会社 お客様相談室 行

1. 登録情報（本人確認するための情報になります。）

電話番号	セキュリティ機能を設定した際に入力した電話番号を記載してください。
自宅登録	ナビゲーションに自宅登録している場所（住所）をできるだけ詳しく記載してください。

2. お客様の連絡先（暗証番号の発行およびメモリーカードの返送先になります。）

氏 名	フリガナ	
住 所	フリガナ	
	局留め等の住所表記では受け付けることはできません。 〒	
電話番号		

※ 本人確認のため電話連絡させていただく場合があります。

3. 商品情報

機種名	保証書等を参考に記載してください。 例）MAX7700
購入先	☐ カー用品店　☐カーディーラー　☐ その他（　　　　　　　　）

＜申し込み手順＞
① 対応したメモリーカードをカードスロットに挿入します。
メモリーカードを郵送していただきますので余分なデータは消去するようにしてください。
② 暗証番号入力画面から「コード発行」をタッチします。
「コード発行」をタッチするとメモリーカードに解除コード発行に必要な情報が書き込まれます。
③ コード発行されたメモリーカードと本申込書を同封の上、クラリオンお客様相談室 宛に送付してください。

送付先：
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心 7-2
クラリオン株式会社 お客様相談室 宛

【個人情報保護に関して】
本申込書に記入していただいた個人情報は、ご提示した目的の範囲内で利用させていただき、外部への公表、不正アクセス、紛失、漏洩、改竄、窃取、がないよう適切にセキュリティ管理いたします。

索引

あ

い

う

え

お

か

き

く

付録

ひ

ふ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

ろ

わ

A

C

D

E

F

G

I

L

M

N

O

Q

S

T

U

V

W

数字